



2023年度 後期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 看護学部（広尾）

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】	3
2.	【演習】	4
3.	【実習】	5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】	6
5. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】	7
6. 教員からのコメント一覧	【講義】	78
7. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】	85
8. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】	86
9. 教員からのコメント一覧	【演習】	95
10. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】	97
11. 授業改善アンケート結果	【実習－科目別】	98
12. 教員からのコメント一覧	【実習】	118

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

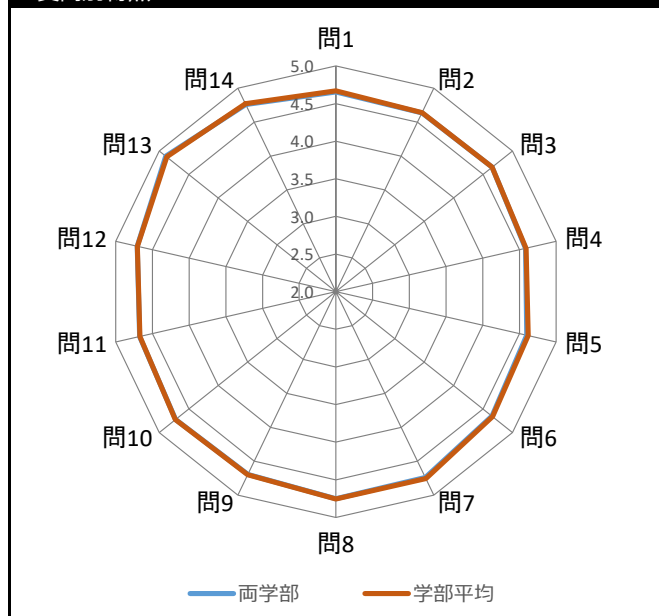
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学部名	看護学部		履修者数	4118	回答率	
			紙	2909	71%	71%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2098 (685, 92)						4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2069 (691, 100)						4.64	4.64
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2106 (645, 108)						4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	2024 (663, 144)						4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	2066 (650, 115)						4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	2129 (626, 103)						4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2301 (527)						4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2290 (543)						4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	2224 (553)						4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	2231 (586)						4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2158 (592, 11)						4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	2213 (564, 96)						4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	2569 (310)						4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2313 (530)						4.77	4.76
問1~14全問平均								4.70	4.69

■ 質問別得点



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	そう思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Red)	1	全くそうは思わない
(Grey)	-	無回答/不明

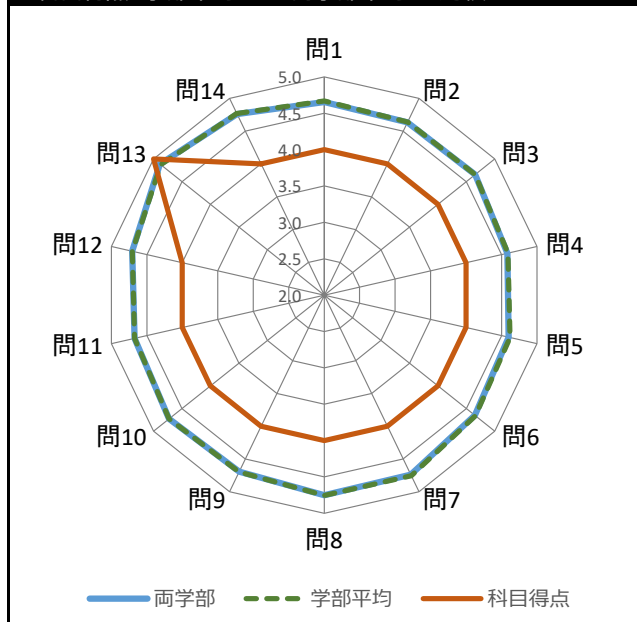
<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

科目名	赤十字国際活動論演習	[1A0300]	履修者数	12	回答率	
教員名	角田 敦彦		回答数	紙 1	8.3%	8.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1						4.00	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1						4.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1						4.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	1						4.00	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1						4.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	1						4.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1						4.00	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1						4.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	1						4.00	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	1						4.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1						4.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1						4.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	1						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1						4.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.07	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

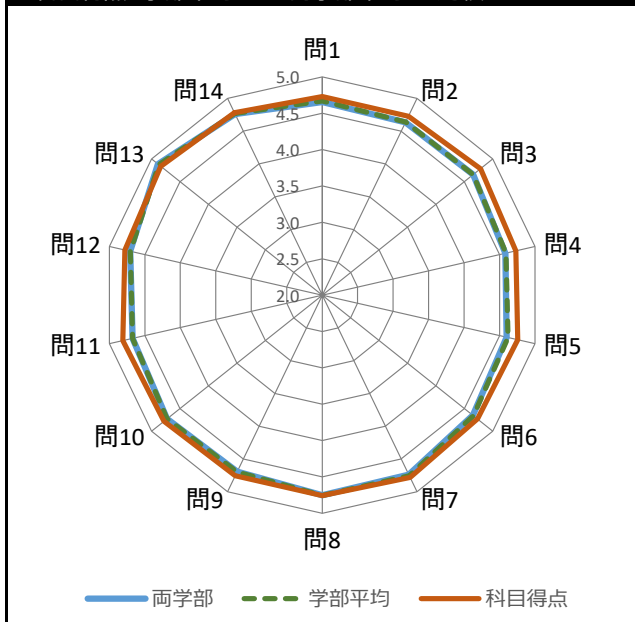
<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは
 科目得点 ≤ 3.5

科目名	生命倫理	[1B0201]	履修者数	79	回答率	
教員名	田村 未希		回答数	37	46.8%	46.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes' and 8 for 'Somewhat']						4.73	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 27 responses for 'Yes' and 10 for 'Somewhat']						4.73	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes' and 8 for 'Somewhat']						4.78	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 27 responses for 'Yes' and 10 for 'Somewhat']						4.73	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes' and 7 for 'Somewhat']						4.76	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes', 6 for 'Somewhat', and 2 for 'No']						4.73	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.78	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes' and 7 for 'Somewhat']						4.76	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes' and 7 for 'Somewhat']						4.76	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.78	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 7 for 'Somewhat']						4.81	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.78	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 31 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.84	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.78	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.77	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

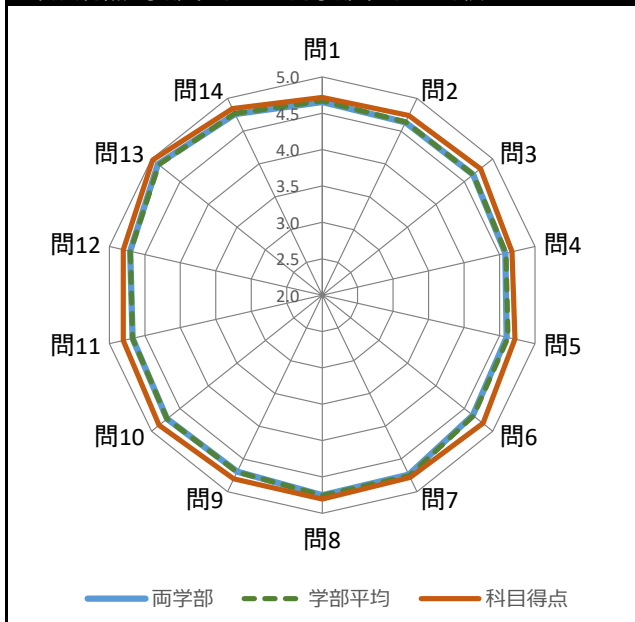
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	生命倫理 [1B0202]		履修者数	67	回答率	
教員名	田村 未希		回答数	46	68.7%	68.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 35 responses for 'Yes' and 9 for 'Somewhat']						2	4.72	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 35 responses for 'Yes' and 10 for 'Somewhat']							4.74	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 36 responses for 'Yes' and 10 for 'Somewhat']							4.78	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 33 responses for 'Yes' and 11 for 'Somewhat']						2	4.67	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 35 responses for 'Yes' and 9 for 'Somewhat']						2	4.72	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']							4.83	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 8 for 'Somewhat']							4.78	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 9 for 'Somewhat']							4.80	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 9 for 'Somewhat']							4.80	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 40 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']							4.87	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 9 for 'Somewhat']							4.80	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 9 for 'Somewhat']							4.80	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 45 responses for 'Yes']							4.98	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 5 for 'Somewhat']							4.84	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.80	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

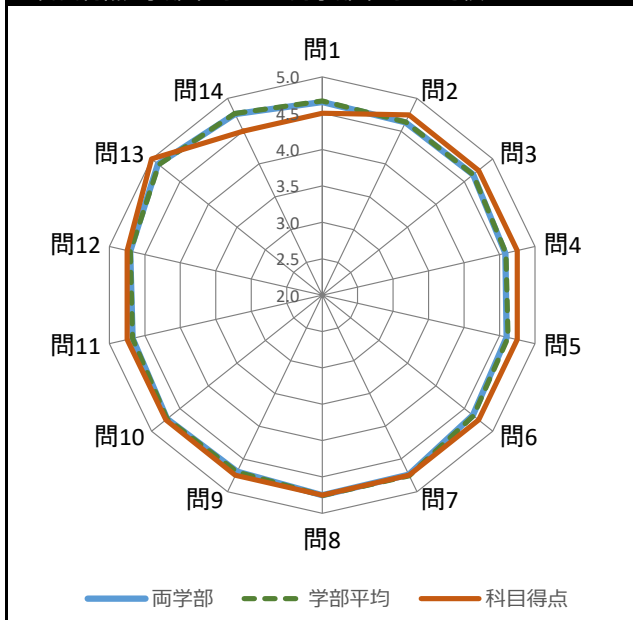
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	心理学Ⅱ	[1B0403]	履修者数	4	回答率	
教員名	遠藤 公久		回答数	4	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0.0%	
				WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2		2				4.50	4.67	4.65	
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3			1				4.75	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3			1				4.75	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	3			1				4.75	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3			1				4.75	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	3			1				4.75	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3			1				4.75	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3			1				4.75	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3			1				4.75	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	3			1				4.75	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3			1				4.75	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	3			1				4.75	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	4						5.00	4.87	4.89	
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2		2				4.50	4.77	4.76	
問1~14全問平均								4.73	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

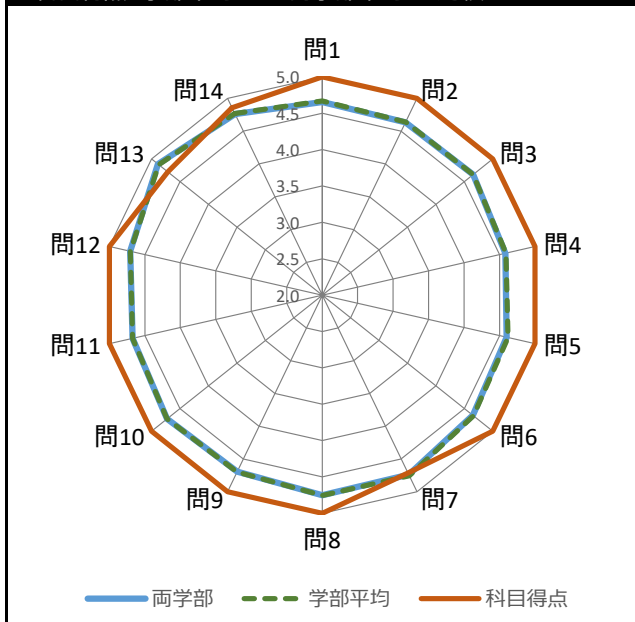
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	現代教育論	[1B0600]	履修者数	9	回答率		
教員名	渋谷 真樹		回答数	紙	7	77.8%	77.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7							5.00	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7							5.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7							5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	7							5.00	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	7							5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	7							5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6						1	4.71	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7							5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	7							5.00	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	7							5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7							5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7							5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	6						1	4.71	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6						1	4.86	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.95	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

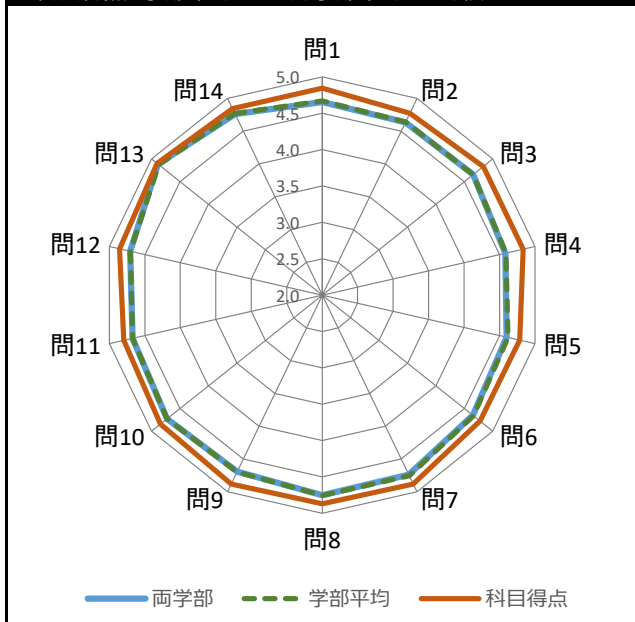
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	身体運動論 I (理論)		[1B0700]	履修者数	91	回答率	
教員名	八十島 崇			回答数	紙 84	92.3%	92.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.85	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.77	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.83	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.83	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.79	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree' and 19% 'Agree']						4.77	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.88	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 73% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.87	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.88	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.85	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 17% 'Agree']						4.80	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.86	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree' and 8% 'Agree']						4.90	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.85	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.84	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

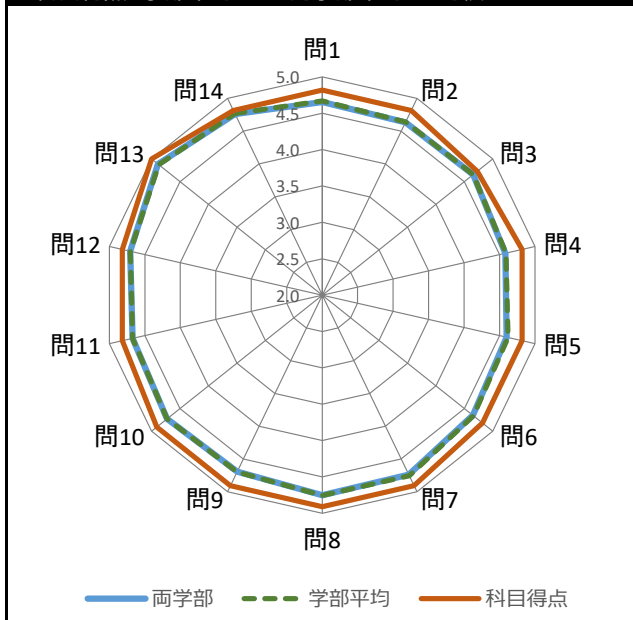
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	障がい論 [1B1000]		履修者数	11	回答率	
教員名	鷹野 朋実		回答数	11	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 11 blue]						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.85	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

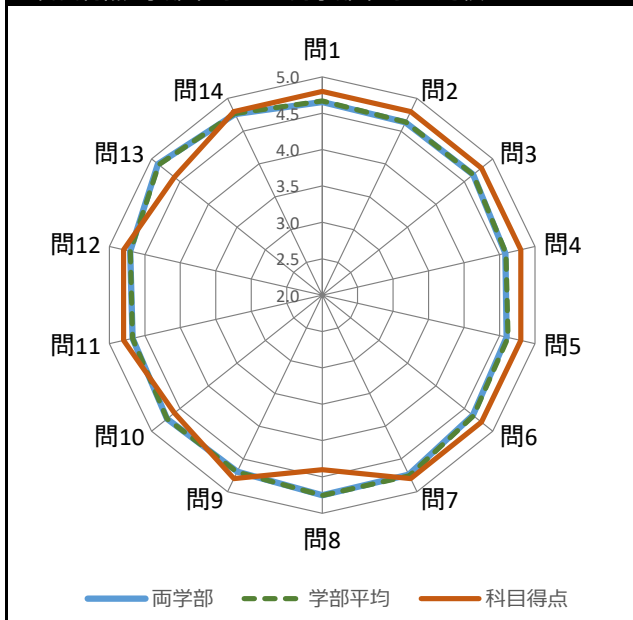
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	臨床心理学	[1B1800]	履修者数	11	回答率	
教員名	遠藤 公久		回答数	5	45.5%	45.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0.0%	
				WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4				1			4.80	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4				1			4.80	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4				1			4.80	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	4				1			4.80	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4				1			4.80	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	4				1			4.80	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4				1			4.80	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2		3					4.40	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	4				1			4.80	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	3			2				4.60	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4				1			4.80	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4				1			4.80	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	3			2				4.60	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4				1			4.80	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.74	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

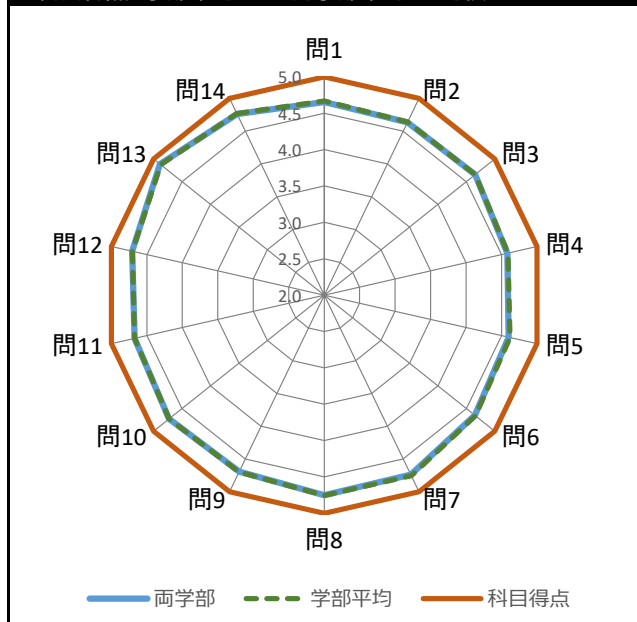
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	人間工学		[1B1900]	履修者数	3	回答率	
教員名	伊藤 潤			回答紙	2	66.7%	66.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								5.00	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

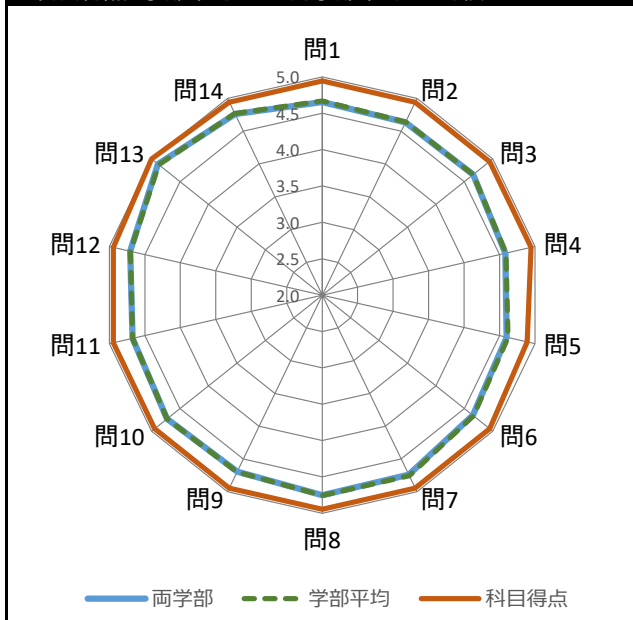
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	家族社会学	[1C0400]	履修者数	18	回答率	
教員名	宮下 阿子		回答数	18	紙	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	WEB	0.0%
					100.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 16 responses for score 2]						2	4.89	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 18 responses for score 5]						5	5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 17 responses for score 1]						1	4.94	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.94	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

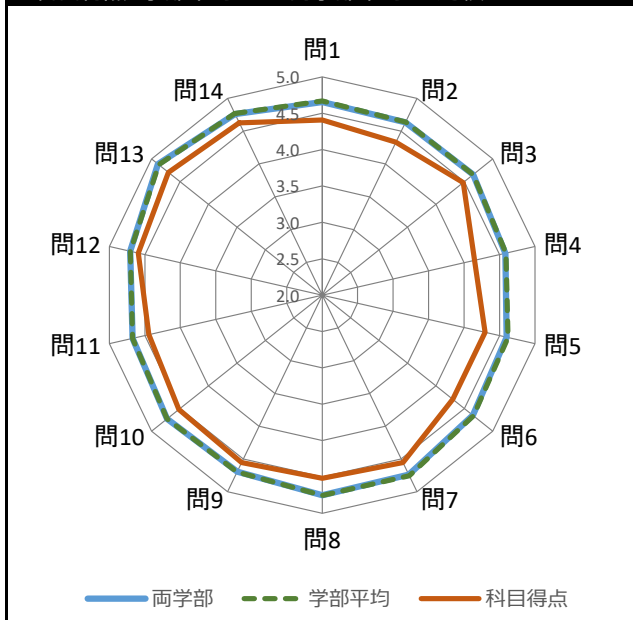
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	国際関係論	[1C0600]	履修者数	42	回答率	
教員名	角田 敦彦		回答紙	27	64.3%	64.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 13 votes for 4 and 13 votes for 5]						1	4.41	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 13 votes for 4 and 12 votes for 5]						2	4.33	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 13 votes for 4 and 14 votes for 5]							4.48	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 11 votes for 4, 12 votes for 5, 1 vote for 3]						3	4.15	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 13 votes for 4, 11 votes for 5, 1 vote for 2]						2	4.30	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 13 votes for 4, 10 votes for 5, 3 votes for 3, 1 vote for 1]						1	4.30	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 16 votes for 4 and 10 votes for 5]						1	4.56	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 14 votes for 4 and 13 votes for 5]							4.52	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 15 votes for 4 and 12 votes for 5]							4.56	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 15 votes for 4, 11 votes for 5, 1 vote for 3]						1	4.52	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 15 votes for 4, 10 votes for 5, 11 votes for 3]						11	4.44	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 16 votes for 4 and 11 votes for 5]							4.59	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 19 votes for 4 and 8 votes for 5]							4.70	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 17 votes for 4 and 10 votes for 5]							4.63	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.46	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

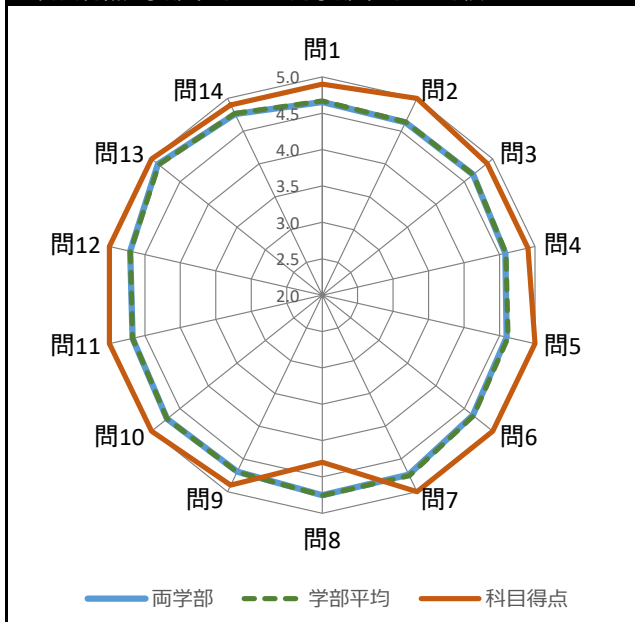
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	医療と文化	[1C0800]	履修者数	11	回答率	
教員名	鈴木 勝己		回答数	10	90.9%	90.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 blue bars and 1 green bar]						4.90	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 10 blue bars]						5.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 9 blue bars and 1 green bar]						4.90	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 9 blue bars and 1 green bar]						4.90	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 10 blue bars]						5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 10 blue bars]						5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 10 blue bars]						5.00	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 7 blue bars, 1 green bar, 1 yellow bar, 1 orange bar]						4.30	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 9 blue bars and 1 green bar]						4.90	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 10 blue bars]						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 10 blue bars]						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 10 blue bars]						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 10 blue bars]						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 9 blue bars and 1 green bar]						4.90	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.91	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

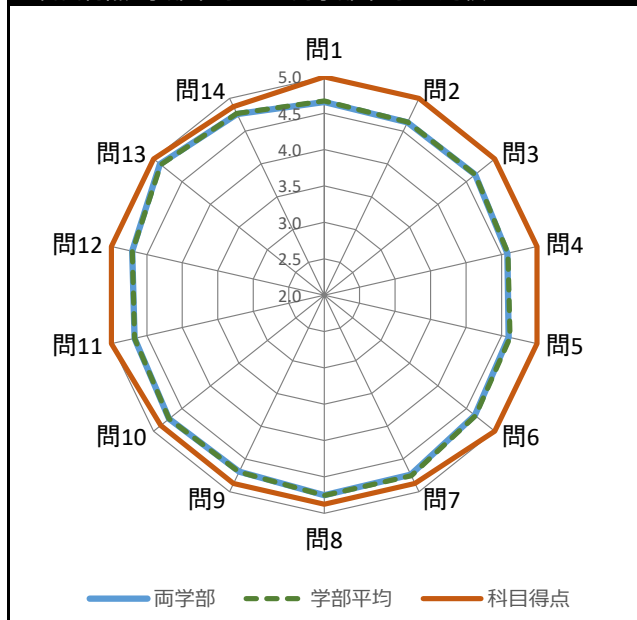
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	現代社会論	[1C1300]	履修者数	8	回答率	
教員名	鷹田 佳典		回答数	8	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 8 responses]						5.00	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 8 responses]						5.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 8 responses]						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 8 responses]						5.00	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 8 responses]						5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 8 responses]						5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 7 responses, 1 green]						4.88	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 7 responses, 1 green]						4.88	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 7 responses, 1 green]						4.88	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 7 responses, 1 green]						4.88	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 8 responses]						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 8 responses]						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 8 responses]						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 7 responses, 1 green]						4.88	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.96	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

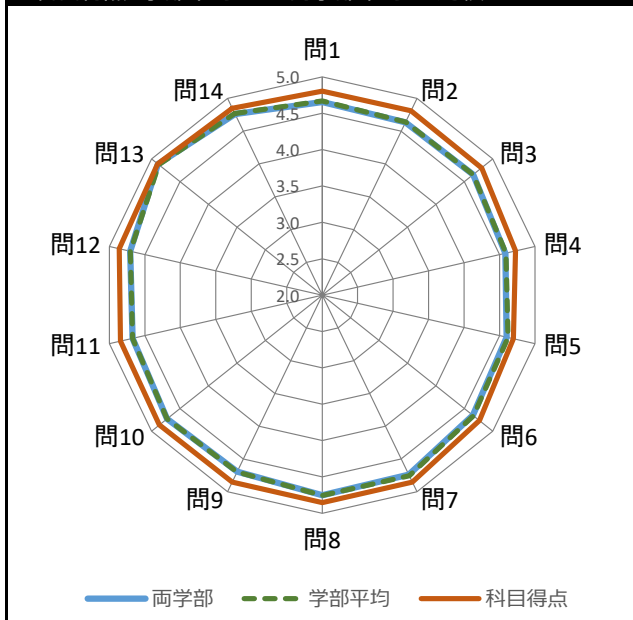
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎統計学 [1D1100]		履修者数	119	回答率	
教員名	山下 龍生		回答数	102	85.7%	85.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 83% for 'Yes' and 18% for 'No']						4.80	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 83% for 'Yes' and 19% for 'No']						4.81	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 83% for 'Yes' and 18% for 'No']						4.80	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 79% for 'Yes', 19% for 'No', and 2% for 'Don't know']						4.73	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 80% for 'Yes', 14% for 'No', and 7% for 'Don't know']						4.70	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 81% for 'Yes' and 19% for 'No']						4.76	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 87% for 'Yes' and 15% for 'No']						4.85	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 87% for 'Yes' and 15% for 'No']						4.85	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 87% for 'Yes' and 15% for 'No']						4.85	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 89% for 'Yes' and 12% for 'No']						4.86	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 86% for 'Yes' and 16% for 'No']						4.84	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 87% for 'Yes' and 14% for 'No']						4.86	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 91% for 'Yes' and 11% for 'No']						4.89	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 86% for 'Yes' and 15% for 'No']						4.85	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.82	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

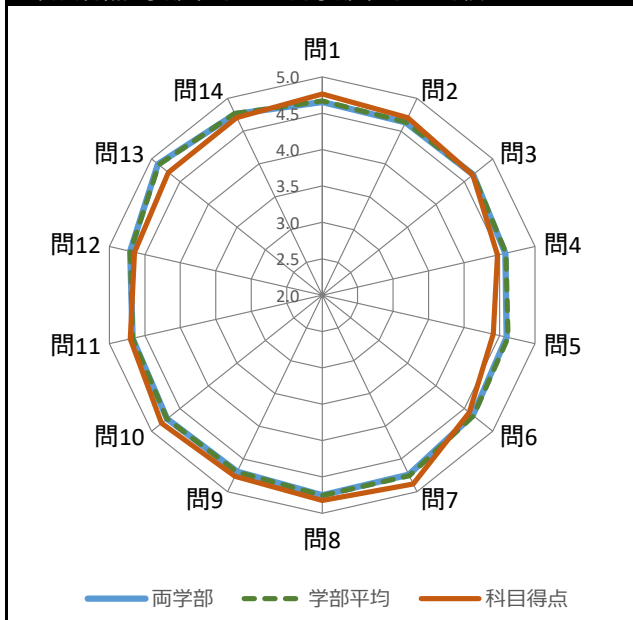
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	生物学	[1D1200]	履修者数	17	回答率		
教員名	新井 健太		回答数	紙	17	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 13 responses for '役に立った' and 4 for '役に立たなかった']						4.76	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 13 responses for '効果的だった' and 3 for '効果的ではなかった' and 1 for '不明']						4.71	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 13 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった' and 2 for '不明']						4.65	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 11 responses for 'わかりやすかった' and 3 for 'わかりやすくない' and 3 for '不明']						4.47	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 11 responses for '興味のあるものだった' and 3 for '興味のないものだった' and 2 for '不明']						4.41	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 12 responses for '価値があった' and 3 for '価値がなかった' and 2 for '不明']						4.59	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 15 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']						4.88	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 14 responses for '適切だった' and 3 for '適切ではなかった']						4.82	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 14 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった' and 1 for '不明']						4.76	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 14 responses for '伝わってきた' and 3 for '伝わってこなかった']						4.82	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 12 responses for '適切だった' and 5 for '適切ではなかった']						4.71	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 12 responses for '適切に回答した' and 4 for '適切に回答しなかった' and 1 for '不明']						4.65	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 12 responses for '出席率が高い' and 5 for '出席率が低い']						4.71	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 13 responses for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 3 for '意欲的・積極的に取り組まなかった' and 1 for '不明']						4.71	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.69	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

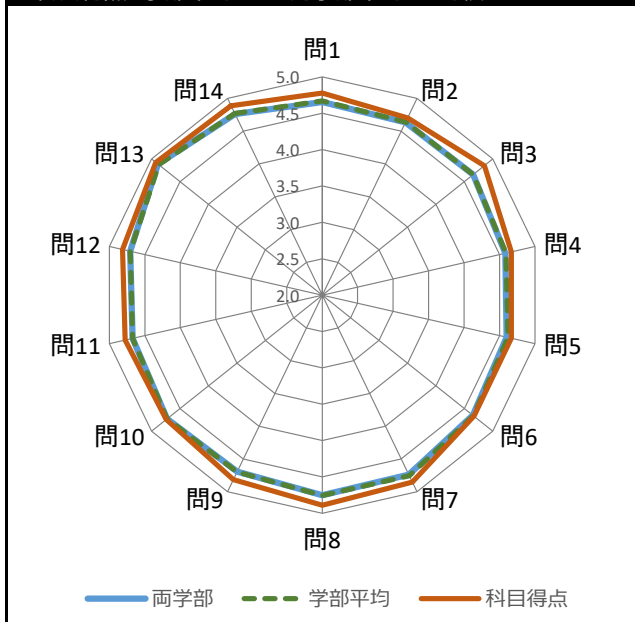
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R1-2	[1F0301]	履修者数	35	回答率	
教員名	遠藤 花子		回答数	紙 27	77.1%	77.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 21 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.78	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 20 responses for 'Yes', 6 for 'No', and 1 for 'Don't know']						4.70	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 23 responses for 'Yes' and 4 for 'No']						4.85	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 21 responses for 'Yes', 4 for 'No', and 11 for 'Don't know']						4.67	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 20 responses for 'Yes', 6 for 'No', and 1 for 'Don't know']						4.67	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 20 responses for 'Yes', 5 for 'No', and 2 for 'Don't know']						4.67	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 23 responses for 'Yes' and 4 for 'No']						4.85	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 24 responses for 'Yes' and 3 for 'No']						4.89	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 22 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.81	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 20 responses for 'Yes' and 7 for 'No']						4.74	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 21 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.78	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 22 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.81	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 2 for 'No']						4.93	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 24 responses for 'Yes' and 3 for 'No']						4.89	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.79	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

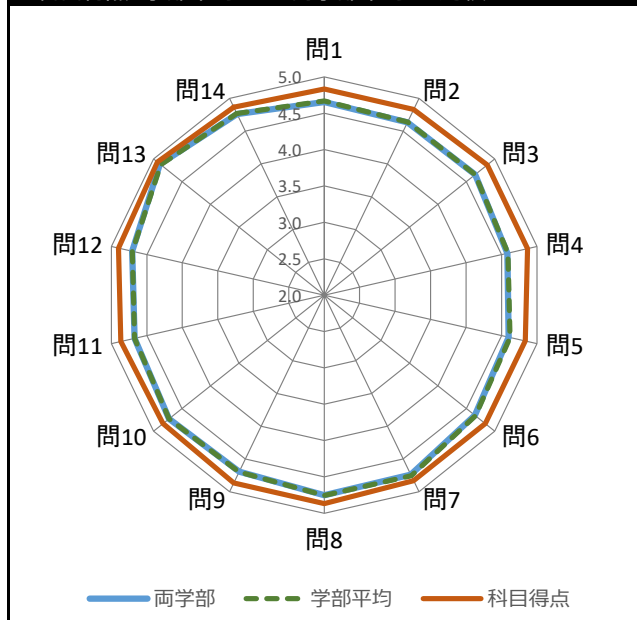
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R1-2	[1F0302]	履修者数	33	回答率	
教員名	川崎 修一		回答数	30	90.9%	90.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0.0%	
				WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 25 responses for score 4 and 5 responses for score 5]						4.83	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 25 responses for score 4 and 5 responses for score 5]						4.83	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 26 responses for score 4 and 4 responses for score 5]						4.87	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 26 responses for score 4 and 4 responses for score 5]						4.87	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 25 responses for score 4 and 5 responses for score 5]						4.83	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 25 responses for score 4 and 5 responses for score 5]						4.83	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 26 responses for score 4, 3 for score 5, and 1 for score 3]						4.83	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 26 responses for score 4 and 4 responses for score 5]						4.87	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 26 responses for score 4 and 4 responses for score 5]						4.87	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 25 responses for score 4 and 5 responses for score 5]						4.83	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 26 responses for score 4 and 4 responses for score 5]						4.87	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 27 responses for score 4 and 3 responses for score 5]						4.90	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 28 responses for score 4 and 2 responses for score 5]						4.93	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 26 responses for score 4 and 4 responses for score 5]						4.87	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.86	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

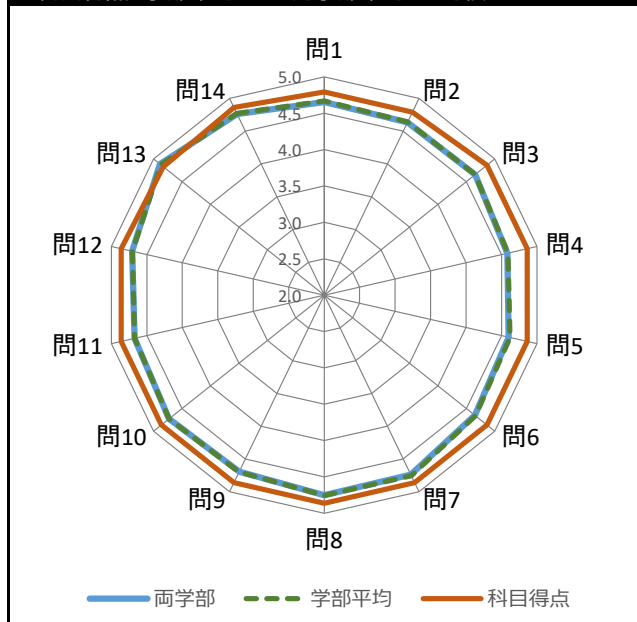
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R1-2	[1F0303]	履修者数	37	回答率		
教員名	遠藤 花子		回答数	29	78.4%	78.4%	
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	29	78.4%	
				WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 23 responses for 'Yes' and 6 for 'No']							4.79	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 23 responses for 'Yes' and 6 for 'No']							4.79	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 24 responses for 'Yes' and 5 for 'No']							4.83	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 4 for 'No']							4.86	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.85	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

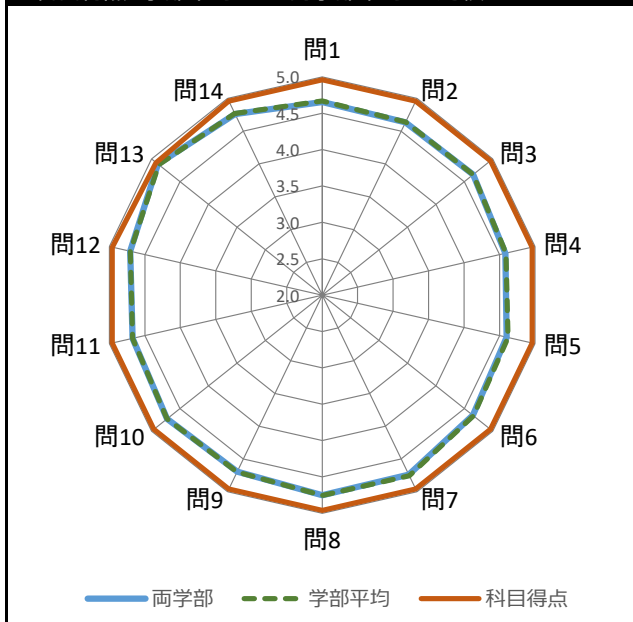
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R1-2	[1F0304]	履修者数	31	回答率		
教員名	川崎 修一		回答数	紙 25	80.6%	80.6%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 23 responses]						2	4.92	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 24 responses]						1	4.96	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.96	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

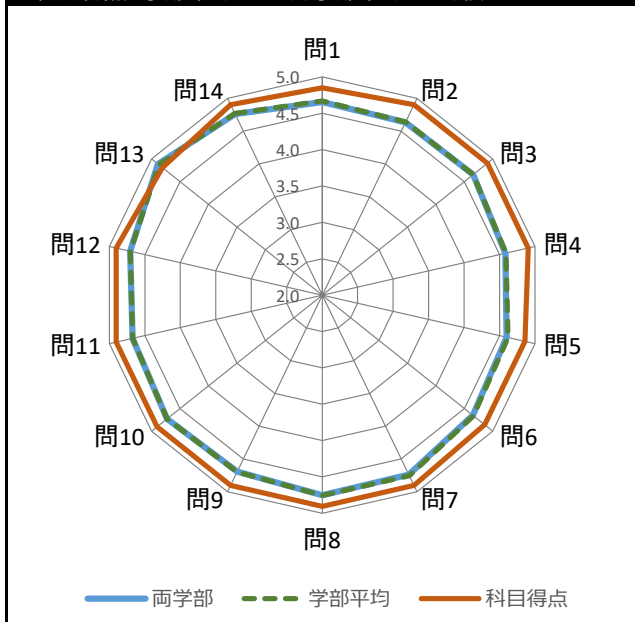
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語W1-2	[1F0501]	履修者数	21	回答率		
教員名	James Stokes		回答数	21	紙	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	WEB	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 17 responses for '3' and 3 for '1']						4.85	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 19 responses for '2']						4.90	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 19 responses for '2']						4.90	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 19 responses for '2']						4.90	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 18 responses for '3']						4.86	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 18 responses for '3']						4.86	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 19 responses for '2']						4.90	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 19 responses for '2']						4.90	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 19 responses for '2']						4.90	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 19 responses for '2']						4.90	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 19 responses for '2']						4.90	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 19 responses for '2']						4.90	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 17 responses for '4' and 4 for '3']						4.81	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 19 responses for '2']						4.90	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.89	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

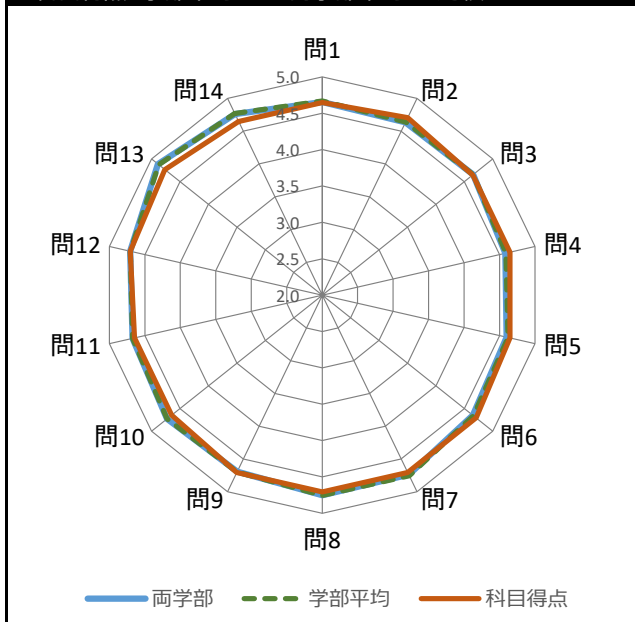
<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは
 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語W1-2	[1F0502]	履修者数	17	回答率		
教員名	Michelle van Bokhorst		回答数	17	100.0%	100.0%	
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 5 'Agree']						4.71	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 5 'Agree']						4.71	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 5 'Agree']						4.71	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 5 'Agree']						4.71	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 5 'Agree']						4.71	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 5 'Agree']						4.71	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 13 'Strongly agree' and 4 'Agree']						4.76	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.68	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

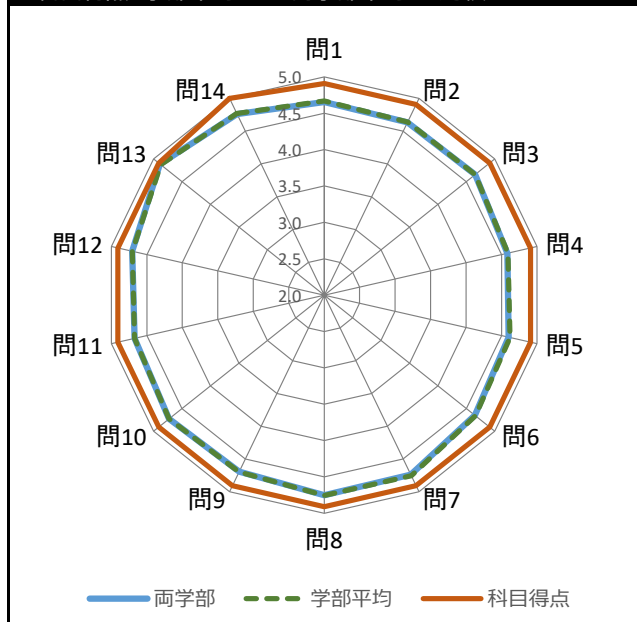
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語W1-2	[1F0503]	履修者数	15	回答率		
教員名	James Stokes		回答数	紙 11	73.3%	73.3%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.92	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

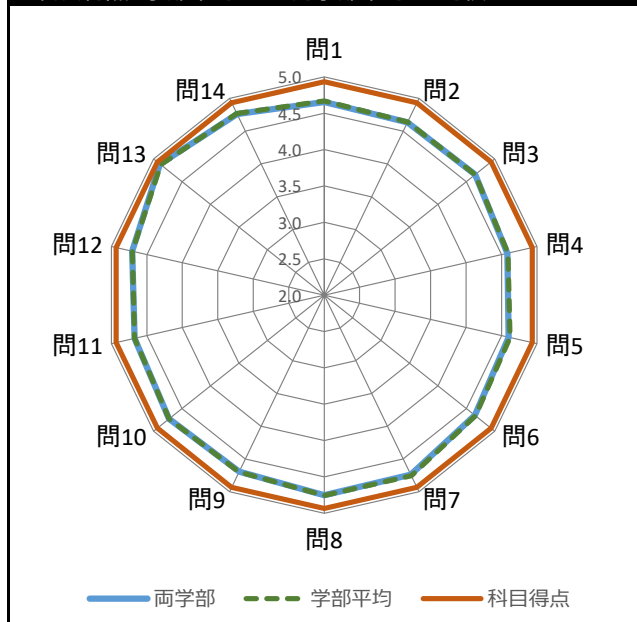
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語W1-2	[1F0504]	履修者数	19	回答率		
教員名	Michelle van Bokhorst		回答数	15	紙	78.9%	78.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	WEB	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 14 responses]						1	4.93	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.93	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

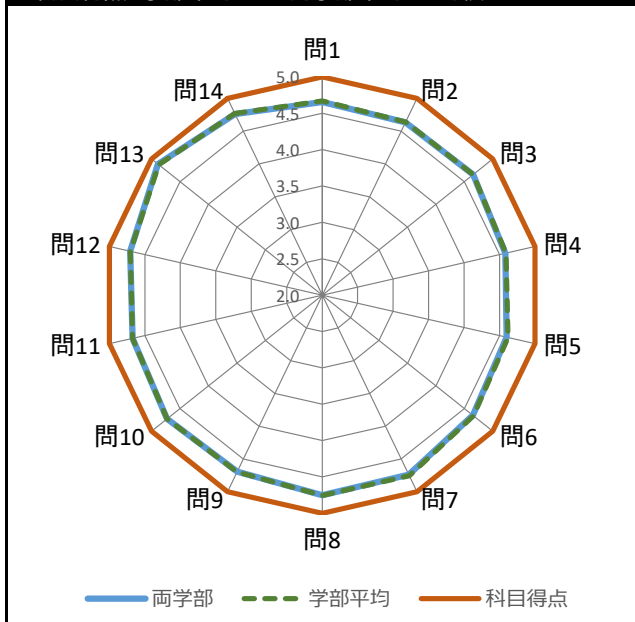
<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは
 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語LS1-2	[1F0702]	履修者数	2	回答率		
教員名	James Stokes		回答数	紙	2	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 2 responses]						5.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								5.00	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

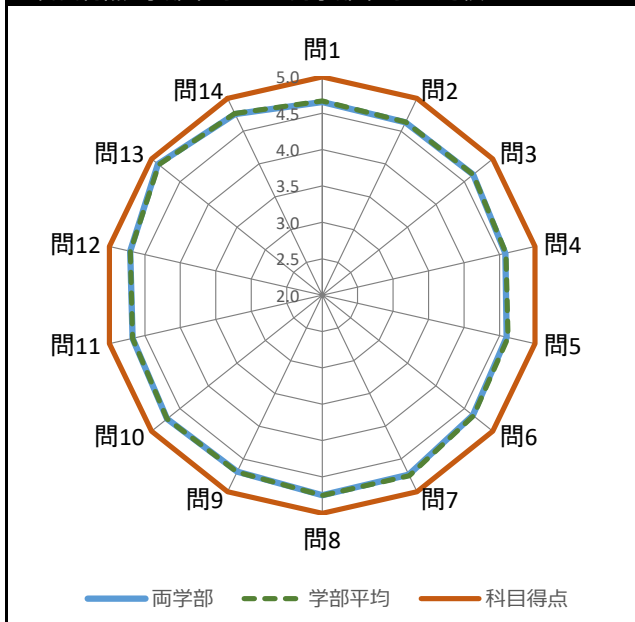
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語LS1-2	[1F0703]	履修者数	4	回答率		
教員名	Michelle van Bokhorst		回答数	紙	4	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								5.00	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

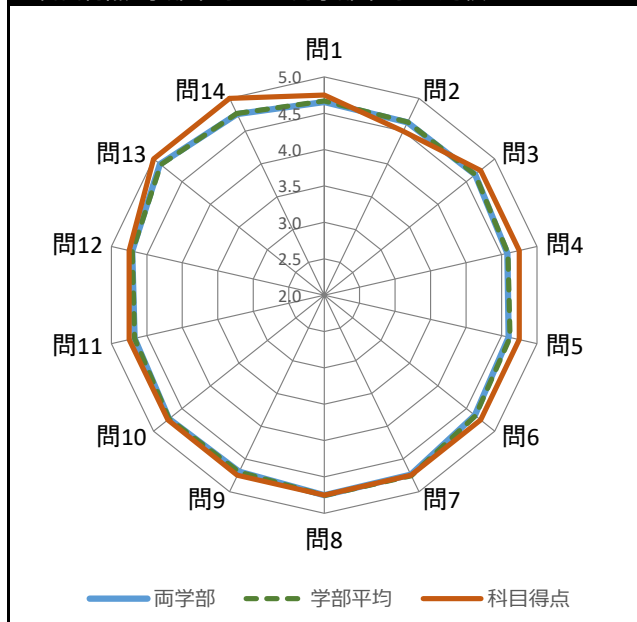
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語LS1-2	[1F0704]	履修者数	6	回答率		
教員名	Benjamin Tutcher		回答数	4	紙	66.7%	66.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	WEB	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 2 blue, 2 green]						4.50	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 3 blue, 1 green]						4.75	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 4 blue]						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 4 blue]						5.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.77	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

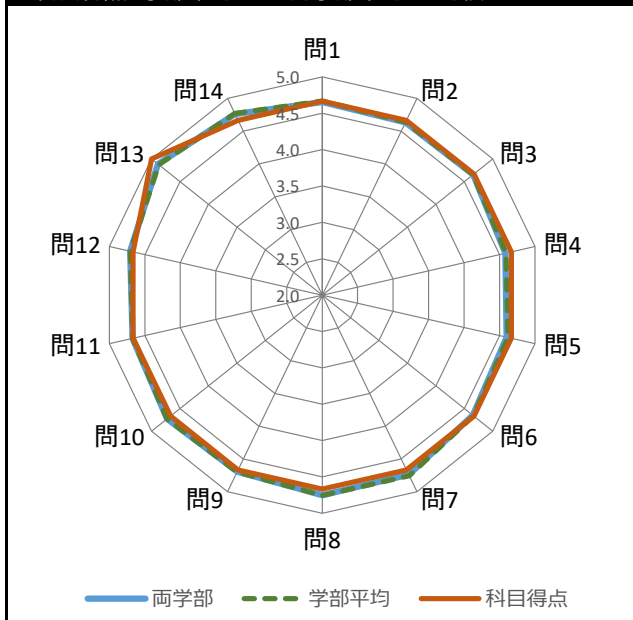
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語LS1-2	[1F0705]	履修者数	8	回答率		
教員名	James Stokes		回答数	紙	3	37.5%	37.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 3 responses for '3']						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 2 responses for '2' and 1 for '1']						4.67	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.69	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

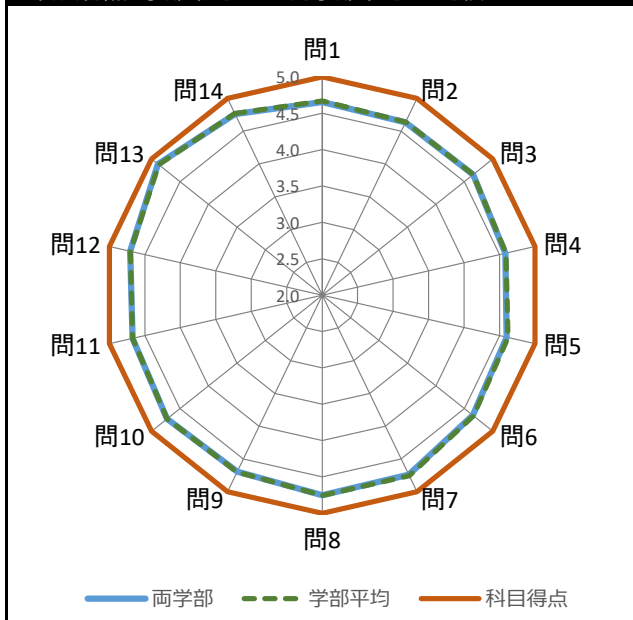
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語LS1-2	[1F0706]	履修者数	4	回答率		
教員名	Michelle van Bokhorst		回答数	紙	4	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 4 responses]						5.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								5.00	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

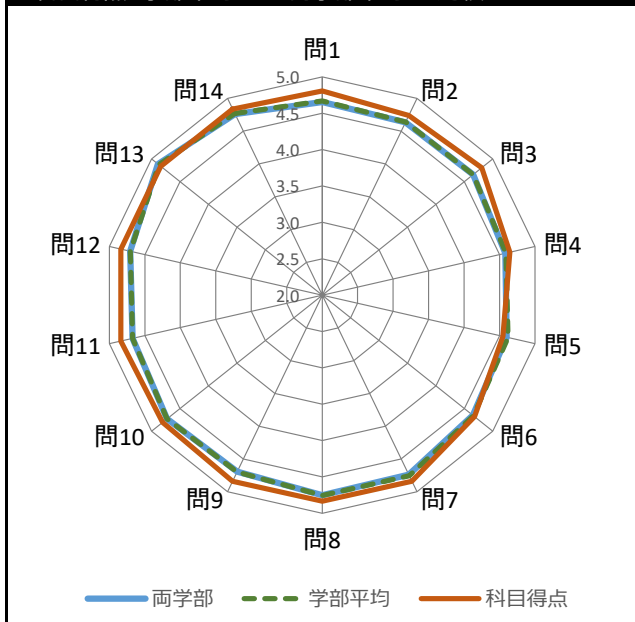
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R2-2	[1F0901]	履修者数	37	回答率		
教員名	齋 孝則		回答数	31	83.8%	83.8%	
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.81	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 23 responses for 'Yes' and 8 for 'Somewhat']						4.74	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.81	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 23 responses for 'Yes', 6 for 'Somewhat', and 11 for 'No']						4.65	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 20 responses for 'Yes', 9 for 'Somewhat', and 11 for 'No']						4.55	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 23 responses for 'Yes', 6 for 'Somewhat', and 2 for 'No']						4.68	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 5 for 'Somewhat']						4.84	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes', 5 for 'Somewhat', and 1 for 'No']						4.83	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 5 for 'Somewhat']						4.84	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.81	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 5 for 'Somewhat']						4.84	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 5 for 'Somewhat']						4.84	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 5 for 'Somewhat']						4.84	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 5 for 'Somewhat']						4.84	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.78	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

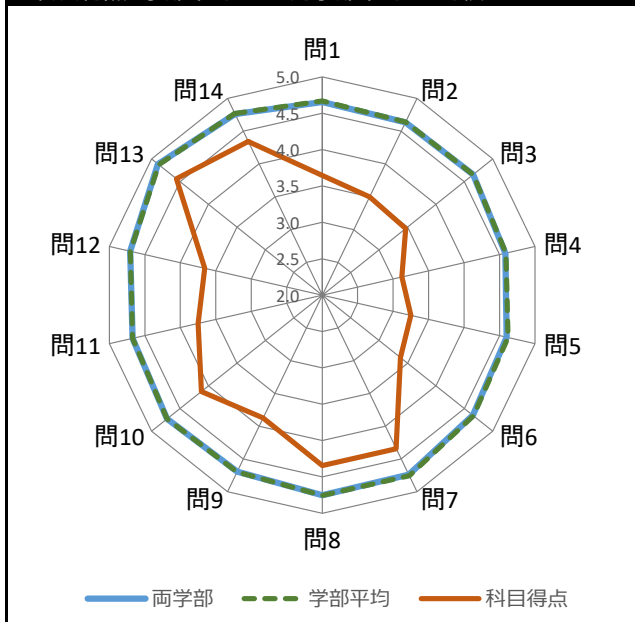
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R2-2	[1F0902]	履修者数	37	回答率		
教員名	久木田 直江		回答紙	32	86.5%	86.5%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部				
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	9	8	10	2	2	1	3.65	4.67	4.65				
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9	6	11	4	2		3.50	4.64	4.64				
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	9	5	6	3		3.47	4.65	4.65				
4	授業の内容はわかりやすかった。	9	3	8	7	5		3.13	4.59	4.58				
5	授業の内容は興味のあるものだった。	9	5	8	5	5		3.25	4.62	4.60				
6	この授業は自分にとって価値があった。	9	7	7	5	4		3.38	4.66	4.65				
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	21						6	2	1	2	4.34	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	19						9	2	2		4.34	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	14						9	3	3	3	3.88	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	14						12	4	2		4.13	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	13						7	5	5	2	3.75	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10						9	8	2	3	3.66	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	21						10	1			4.56	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16						11	5			4.34	4.77	4.76
問1~14全問平均											3.81	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	そう思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Red)	1	全くそうは思わない
(Grey)	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

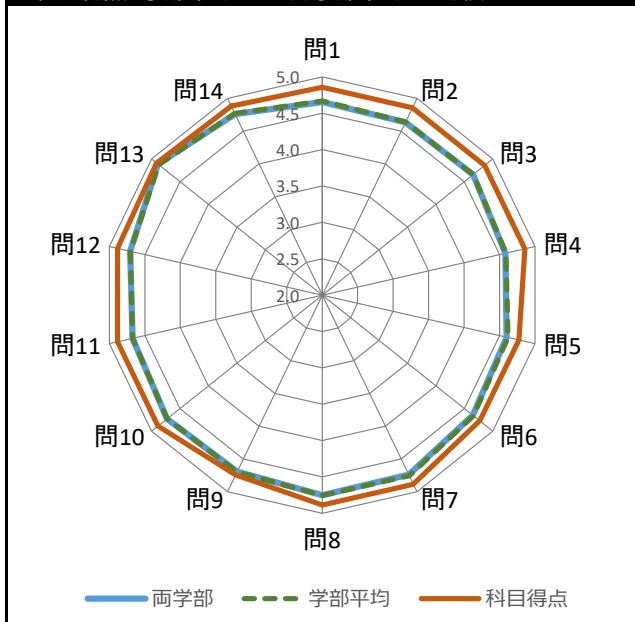
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R2-2	[1F0903]	履修者数	43	回答率		
教員名	齋 孝則		回答数	35	紙	81.4%	81.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	WEB	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.86	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.86	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.86	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.86	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes', 5 for 'No', and 1 for 'Don't know']						4.77	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes', 4 for 'No', and 2 for 'Don't know']						4.77	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 31 responses for 'Yes' and 4 for 'No']						4.89	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 31 responses for 'Yes' and 4 for 'No']						4.89	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes', 6 for 'No', and 1 for 'Don't know']						4.74	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 31 responses for 'Yes' and 4 for 'No']						4.89	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 31 responses for 'Yes' and 4 for 'No']						4.89	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 31 responses for 'Yes' and 4 for 'No']						4.89	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 32 responses for 'Yes' and 3 for 'No']						4.91	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 31 responses for 'Yes' and 4 for 'No']						4.89	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.85	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

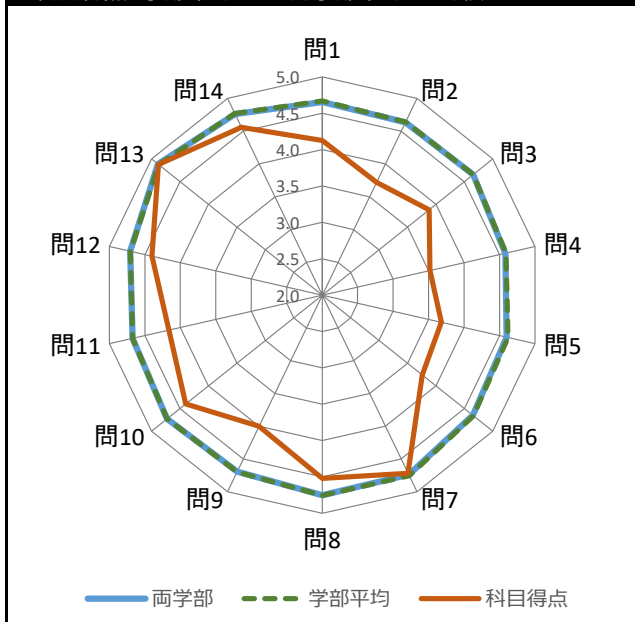
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R2-2	[1F0904]	履修者数	40	回答率		
教員名	久木田 直江		回答紙	25	62.5%	62.5%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	11	6	6	11			4.13	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9	3	11	11			3.72	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	5	7	3			3.88	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	9	3	7	4	2		3.52	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	10	4	6	3	2		3.68	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	10	3	8	4			3.76	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	19	5	1				4.72	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	16	6	3				4.52	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	12	4	7	11			4.00	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	14	7	4				4.40	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	14	3	6	2			4.16	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	16	4	4	1			4.40	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	22	3					4.88	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17	5	3				4.56	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.17	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

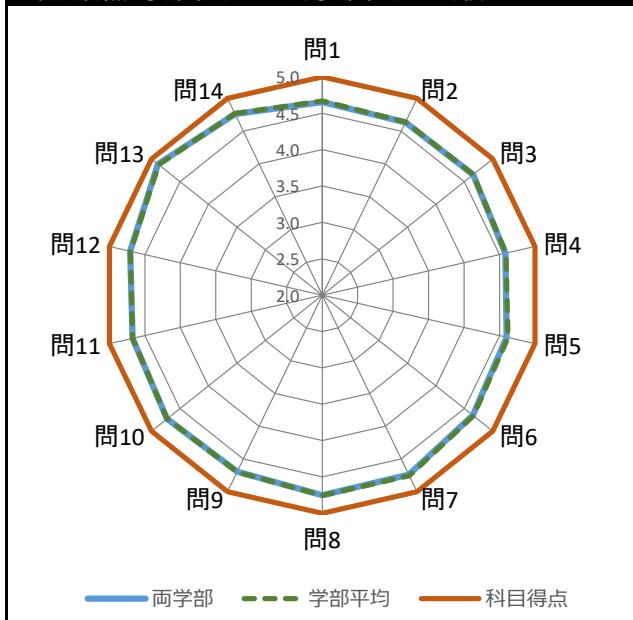
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語W2-2	[1F1100]	履修者数	16	回答率	
教員名	遠藤 花子		回答数	紙 14	87.5%	87.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 14 responses]						5.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								5.00	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

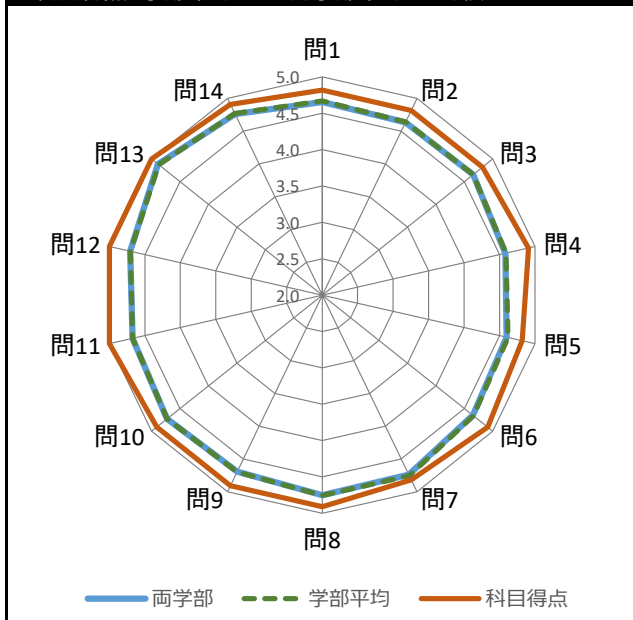
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語W2-2	[1F1103]	履修者数	11	回答率		
教員名	遠藤 花子		回答数	紙	11	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 responses for '役に立った' and 2 for '役に立たなかった']						4.82	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 9 responses for '効果的だった' and 2 for '効果的ではなかった']						4.82	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']						4.82	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 10 responses for 'わかりやすかった' and 1 for 'わかりやすくない']						4.91	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 9 responses for '興味のあるものだった' and 2 for '興味のないものだった']						4.82	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 10 responses for '価値があった' and 1 for '価値がなかった']						4.91	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']						4.82	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 10 responses for '適切だった' and 1 for '適切ではなかった']						4.91	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 10 responses for '適切だった' and 1 for '適切ではなかった']						4.91	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 10 responses for '伝わってきた' and 1 for '伝わってこなかった']						4.91	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 11 responses for '適切だった']						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 11 responses for '適切に回答した']						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 11 responses for '出席率が高い']						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 10 responses for '積極的に取り組んだ' and 1 for '積極的に取り組まなかった']						4.91	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.90	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

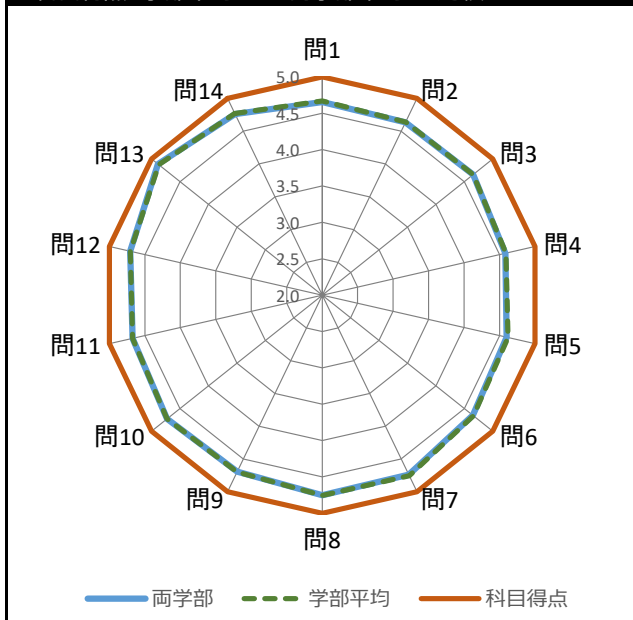
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語文献を読むⅡ	[1F1500]	履修者数	5	回答率	
教員名	遠藤 花子		回答数	6	120.0%	120.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 6 responses]						5.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								5.00	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

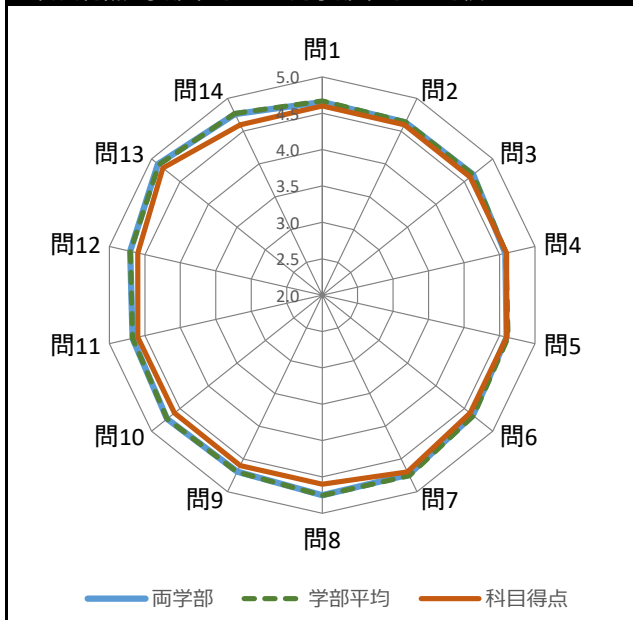
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	フランス語	[1F3001]	履修者数	10	回答率		
教員名	西村 友樹雄		回答数	10	紙	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	WEB	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 8 votes for 4, 1 for 5, 1 for 3]						4.70	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 9 votes for 4, 1 for 5]						4.80	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 7 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.60	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.62	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

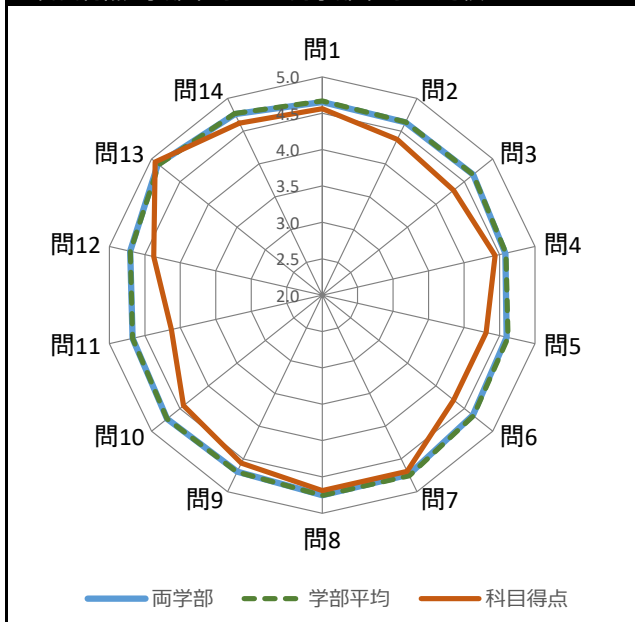
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	フランス語	[1F3002]	履修者数	19	回答率		
教員名	西村 友樹雄		回答数	16	84.2%	84.2%	
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	16	84.2%	
				WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 13 votes for 5, 1 for 4, 1 for 3]						4.56	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 12 votes for 5, 2 for 4, 2 for 3]						4.38	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 12 votes for 5, 1 for 4, 1 for 3, 2 for 2]						4.31	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 12 votes for 5, 2 for 4, 1 for 3, 1 for 2]						4.44	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 11 votes for 5, 2 for 4, 1 for 3, 1 for 2, 1 for 1]						4.31	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 11 votes for 5, 2 for 4, 1 for 3, 1 for 2, 1 for 1]						4.31	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 14 votes for 5, 1 for 4, 1 for 3]						4.69	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 14 votes for 5, 1 for 4, 1 for 3]						4.69	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 13 votes for 5, 1 for 4, 1 for 3, 1 for 2]						4.56	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 12 votes for 5, 2 for 4, 1 for 3, 1 for 2]						4.44	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 10 votes for 5, 2 for 4, 2 for 3, 2 for 2]						4.13	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 12 votes for 5, 2 for 4, 2 for 3]						4.38	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 15 votes for 5, 1 for 4]						4.94	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 13 votes for 5, 2 for 4, 1 for 3]						4.63	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.48	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

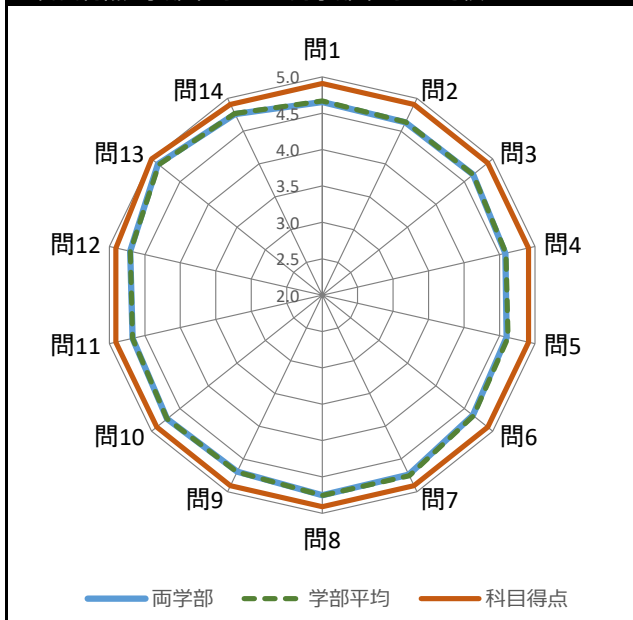
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	基礎ゼミⅡ		[1G0230]	履修者数	11	回答率	
教員名	川崎 修一			回 答 数	紙	11	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	100.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 100% response]						11	5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 100% response]						1	4.91	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.92	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

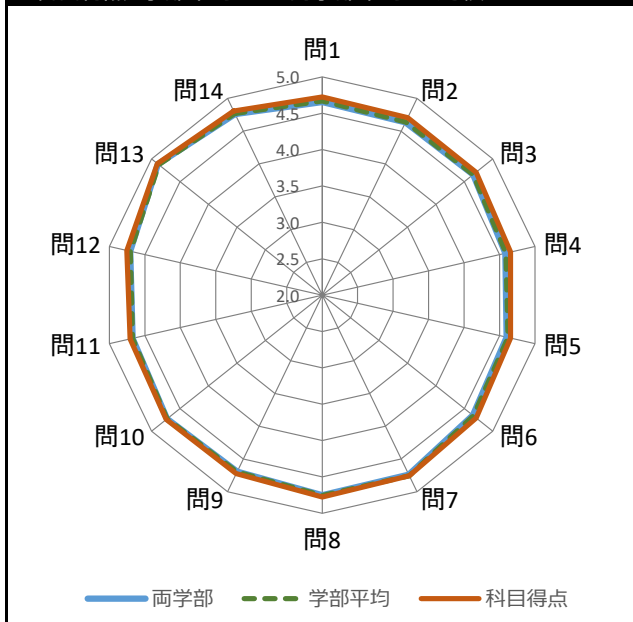
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	人体の構造と機能Ⅲ	[1H0301]	履修者数	68	回答率		
教員名	菅田 晴夫		回答紙	58	85.3%	85.3%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.72	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.71	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.71	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.66	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.66	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.71	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.76	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.78	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.72	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.74	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.71	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 10% for 'Agree']						4.75	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 52% for 'Strongly agree' and 6% for 'Agree']						4.90	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.81	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.74	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

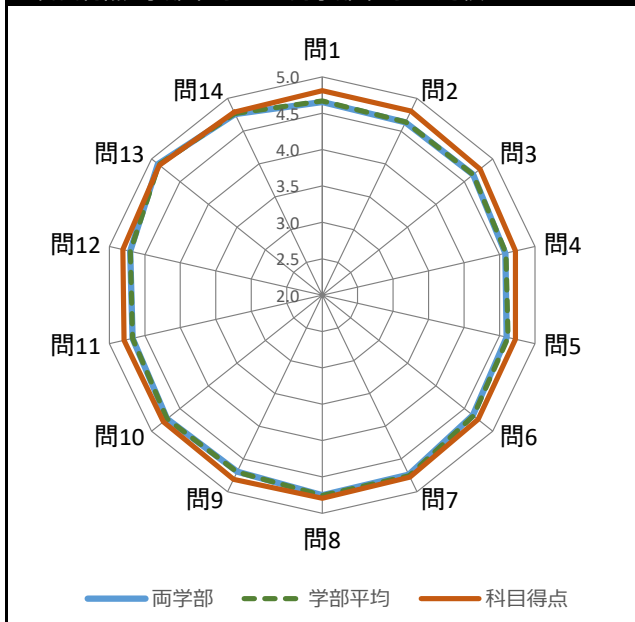
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	人体の構造と機能Ⅲ		[1H0302]	履修者数	68	回答率	
教員名	菅田 晴夫			回答紙	58	85.3%	85.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 49 responses for '役に立った' and 7 for '役に立たなかった']						4.81	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 49 responses for '効果的だった' and 7 for '効果的ではなかった']						4.81	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 47 responses for '適切だった' and 9 for '適切ではなかった']						4.78	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 44 responses for 'わかりやすかった' and 12 for 'わかりやすくない']						4.72	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 43 responses for '興味のあるもの' and 14 for '興味のないもの']						4.72	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 45 responses for '価値があった' and 11 for '価値がなかった']						4.74	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 46 responses for '適切だった' and 11 for '適切ではなかった']						4.78	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 47 responses for '適切だった' and 10 for '適切ではなかった']						4.79	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 48 responses for '適切だった' and 9 for '適切ではなかった']						4.81	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 47 responses for '伝わってきた' and 10 for '伝わってこなかった']						4.79	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 47 responses for '適切だった' and 10 for '適切ではなかった']						4.79	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 48 responses for '適切に回答した' and 9 for '適切に回答しなかった']						4.81	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 51 responses for '出席率が高い' and 6 for '出席率が低い']						4.86	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 46 responses for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 10 for '意欲的・積極的に取り組まなかった']						4.79	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.79	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

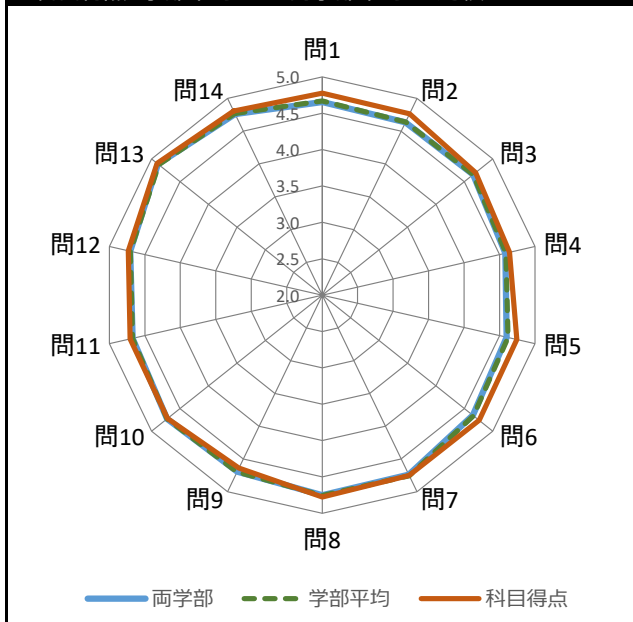
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I	[1H0400]	履修者数	139	回答率		
教員名	井上 明宏		回答紙	125	89.9%	89.9%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 98% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.78	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 97% 'Strongly agree' and 27% 'Agree']						4.77	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 93% 'Strongly agree' and 26% 'Agree' and 6% 'Disagree']						4.70	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 91% 'Strongly agree' and 26% 'Agree' and 5% 'Disagree']						4.64	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 96% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.74	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 97% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.76	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 99% 'Strongly agree' and 22% 'Agree']						4.75	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 100% 'Strongly agree' and 23% 'Agree']						4.78	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 93% 'Strongly agree' and 23% 'Agree' and 5% 'Disagree' and 4% 'Strongly disagree']						4.64	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 95% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.72	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 94% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.71	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 95% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.73	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 112% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.90	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 101% 'Strongly agree' and 22% 'Agree']						4.81	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.74	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

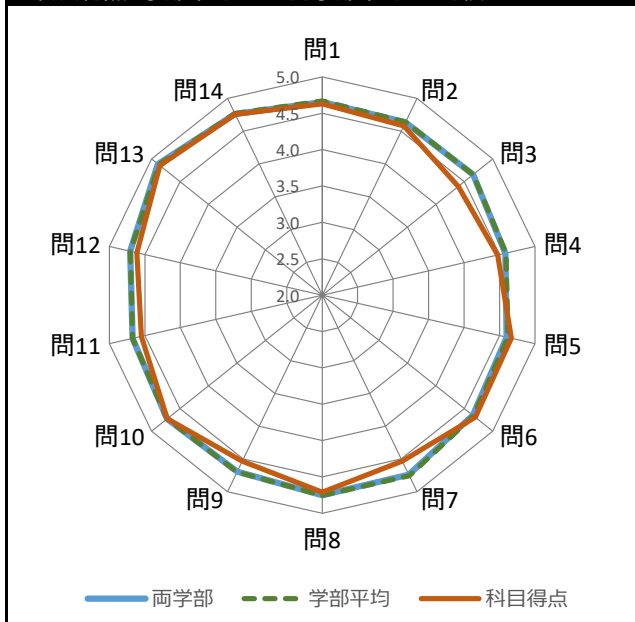
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ		[1H0501]	履修者数	72	回答率	
教員名	井上 明宏			回答紙	62	86.1%	86.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 43 (blue), 15 (green), 4 (yellow)]						4.63	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked bar chart showing 42 (blue), 15 (green), 4 (yellow)]						4.58	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked bar chart showing 38 (blue), 11 (green), 10 (yellow), 2 (orange)]						4.39	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked bar chart showing 39 (blue), 14 (green), 6 (yellow), 2 (orange)]						4.48	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked bar chart showing 42 (blue), 16 (green), 2 (yellow), 2 (orange)]						4.67	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked bar chart showing 46 (blue), 13 (green), 3 (yellow)]						4.69	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked bar chart showing 43 (blue), 13 (green), 2 (yellow), 4 (orange)]						4.53	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked bar chart showing 46 (blue), 14 (green), 2 (yellow)]						4.71	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked bar chart showing 43 (blue), 12 (green), 4 (yellow), 3 (orange)]						4.53	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 47 (blue), 13 (green), 2 (yellow)]						4.73	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked bar chart showing 44 (blue), 10 (green), 6 (yellow), 2 (orange)]						4.55	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked bar chart showing 44 (blue), 12 (green), 6 (yellow)]						4.61	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked bar chart showing 54 (blue), 7 (green)]						4.85	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing 47 (blue), 15 (green)]						4.76	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.62	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

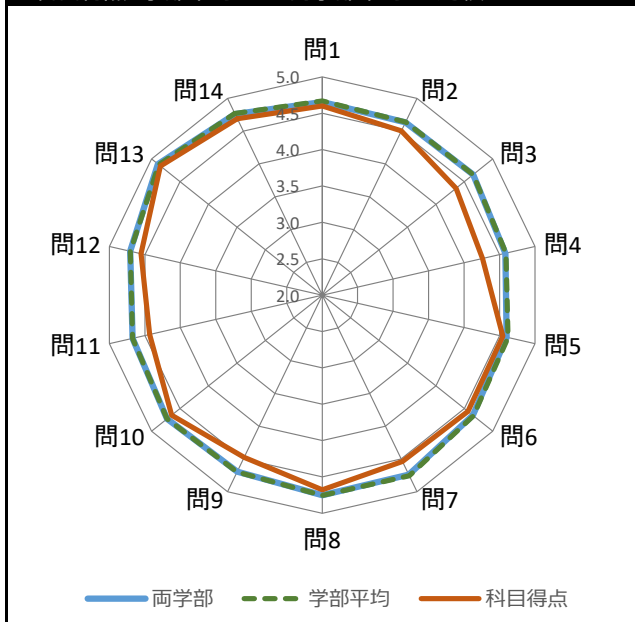
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ		[1H0502]	履修者数	71	回答率	
教員名	井上 明宏			回答紙	65	91.5%	91.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 46% for 4, 13% for 5, 5% for 3]						4.60	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 41% for 4, 19% for 5, 2% for 3, 3% for 2]						4.51	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 38% for 4, 16% for 5, 7% for 3, 4% for 2]						4.35	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 35% for 4, 16% for 5, 11% for 3, 2% for 2]						4.26	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 40% for 4, 20% for 5, 3% for 3, 1% for 2]						4.55	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 40% for 4, 20% for 5, 4% for 3]						4.56	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 43% for 4, 15% for 5, 6% for 3]						4.54	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 45% for 4, 19% for 5]						4.68	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 40% for 4, 18% for 5, 5% for 3, 2% for 2]						4.48	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 45% for 4, 17% for 5, 3% for 3]						4.65	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 41% for 4, 15% for 5, 6% for 3, 2% for 2]						4.43	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 43% for 4, 18% for 5, 2% for 3]						4.55	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 56% for 4, 8% for 5]						4.85	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 47% for 4, 16% for 5, 2% for 3]						4.69	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.55	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

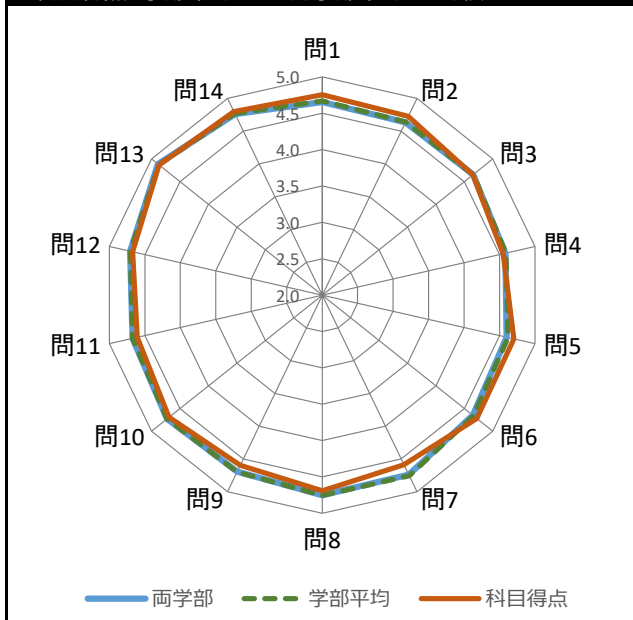
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ		[1H0600]	履修者数	140	回答率	
教員名	井上 明宏			回答紙	114	81.4%	81.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 87% for 'Yes' and 13% for 'No']						4.75	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 83% for 'Yes' and 17% for 'No']						4.73	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 79% for 'Yes', 20% for 'No', and 1% for 'Don't know']						4.65	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 73% for 'Yes', 26% for 'No', and 1% for 'Don't know']						4.55	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 82% for 'Yes' and 18% for 'No']						4.70	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 84% for 'Yes' and 16% for 'No']						4.72	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 81% for 'Yes', 18% for 'No', and 1% for 'Don't know']						4.59	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 83% for 'Yes' and 17% for 'No']						4.69	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 78% for 'Yes', 21% for 'No', and 1% for 'Don't know']						4.60	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 82% for 'Yes' and 18% for 'No']						4.69	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 76% for 'Yes', 23% for 'No', and 1% for 'Don't know']						4.61	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 80% for 'Yes' and 20% for 'No']						4.67	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 99% for 'Yes' and 1% for 'No']						4.87	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 92% for 'Yes' and 8% for 'No']						4.80	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.69	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

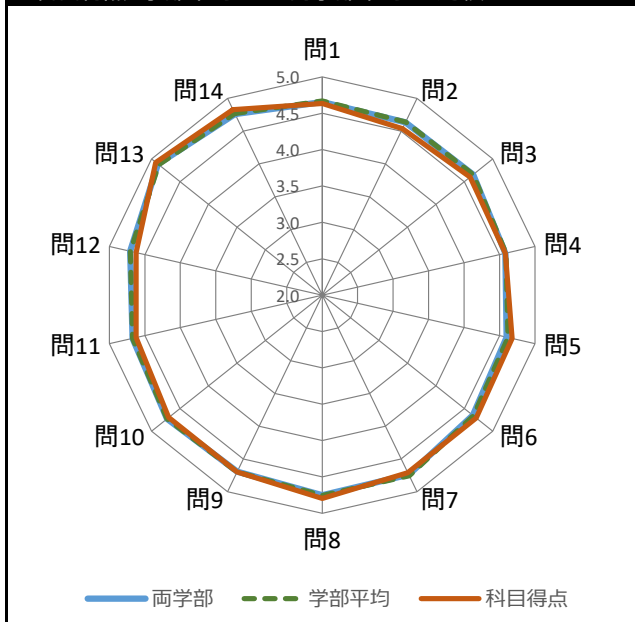
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ		[1H0700]	履修者数	149	回答率	
教員名	井上 明宏			回答紙	93	62.4%	62.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	回答数	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.63	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.54	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.60	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 8% 'Disagree']						4.58	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.68	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.71	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.71	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.80	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 73% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.70	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.70	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.62	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.62	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 86% 'Strongly agree', 7% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.92	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 78% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.83	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.69	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

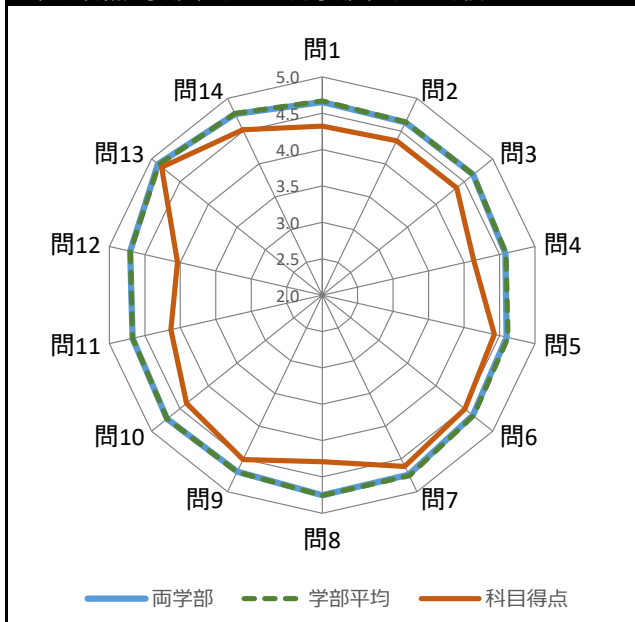
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ		[1H0800]	履修者数	124	回答率	
教員名	井上 明宏			回答紙	96	77.4%	77.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 40% 'Strongly agree', 48% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.32	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked bar chart showing 43% 'Strongly agree', 45% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.35	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked bar chart showing 44% 'Strongly agree', 44% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.36	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked bar chart showing 37% 'Strongly agree', 41% 'Agree', 13% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.14	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked bar chart showing 51% 'Strongly agree', 38% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.43	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked bar chart showing 54% 'Strongly agree', 38% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.51	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked bar chart showing 60% 'Strongly agree', 35% 'Agree']						4.61	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked bar chart showing 49% 'Strongly agree', 32% 'Agree', 11% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.29	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked bar chart showing 55% 'Strongly agree', 36% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.51	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 50% 'Strongly agree', 35% 'Agree', 9% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.39	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked bar chart showing 43% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 18% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.14	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked bar chart showing 42% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 19% 'Disagree', 5% 'Strongly disagree', 3% 'No answer/unknown']						4.04	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked bar chart showing 81% 'Strongly agree', 14% 'Agree']						4.82	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing 57% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 5% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree', 3% 'No answer/unknown']						4.52	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.39	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

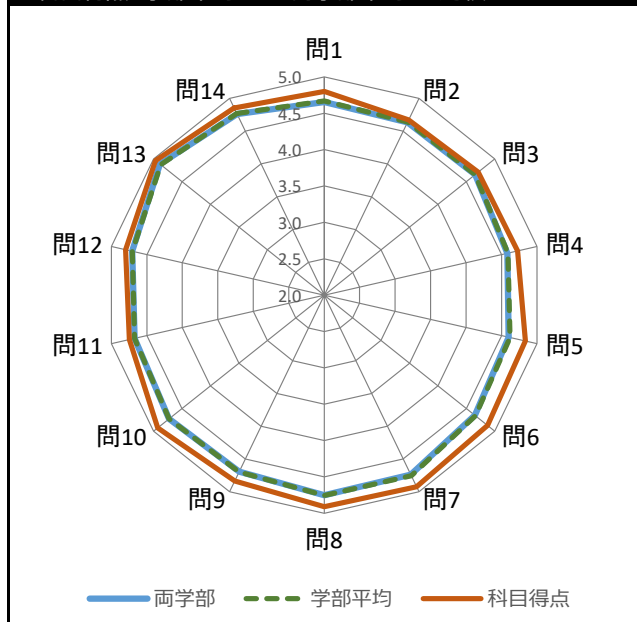
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	薬理学	[1H1000]	履修者数	122	回答率	
教員名	吉見 猛		回答数	55	45.1%	45.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 47 responses for '役に立った' and 7 for '役に立たなかった']						4.80	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 44 responses for '効果的だった' and 8 for '効果的ではなかった']						4.67	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 44 responses for '適切だった' and 8 for '適切ではなかった']						4.71	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 43 responses for 'わかりやすかった' and 10 for 'わかりやすくない']						4.73	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 47 responses for '興味のあるものだった' and 7 for '興味のないものだった']						4.84	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 49 responses for '価値があった' and 5 for '価値がなかった']						4.87	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 50 responses for '適切だった' and 4 for '適切ではなかった']						4.93	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 50 responses for '適切だった' and 5 for '適切ではなかった']						4.91	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 49 responses for '適切だった' and 5 for '適切ではなかった']						4.84	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 51 responses for '伝わってきた' and 4 for '伝わってこなかった']						4.93	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 48 responses for '適切だった' and 4 for '適切ではなかった']						4.75	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 49 responses for '適切に回答した' and 3 for '適切に回答しなかった']						4.80	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 53 responses for '出席率が高い' and 2 for '出席率が低い']						4.96	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 50 responses for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 4 for '意欲的・積極的に取り組まなかった']						4.85	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.83	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

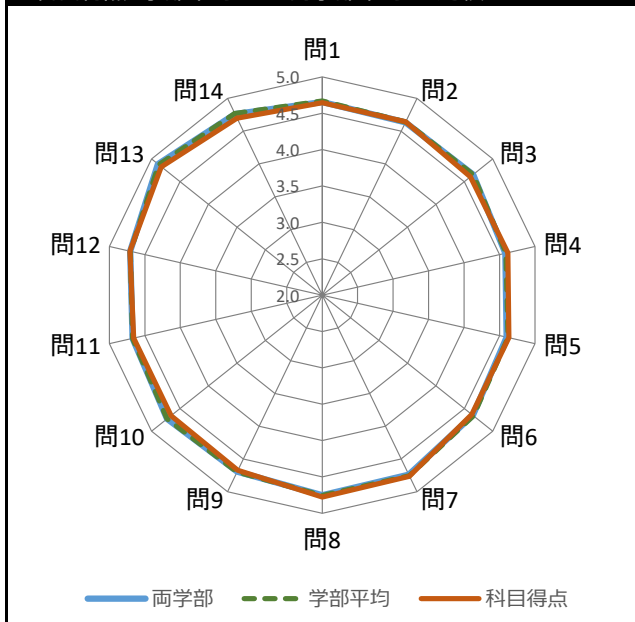
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	栄養学	[1H1300]	履修者数	135	回答率		
教員名	塩原 由香		回答紙	76	56.3%	56.3%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 4% 'Disagree', 1% 'Strongly disagree']						4.64	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 5% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.64	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 6% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.61	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 6% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.62	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 5% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.63	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 4% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.63	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 3% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.76	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 2% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.78	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 4% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.67	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 3% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.66	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 6% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.66	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 5% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.71	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 7% 'Agree', 3% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.83	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 4% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.70	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.68	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

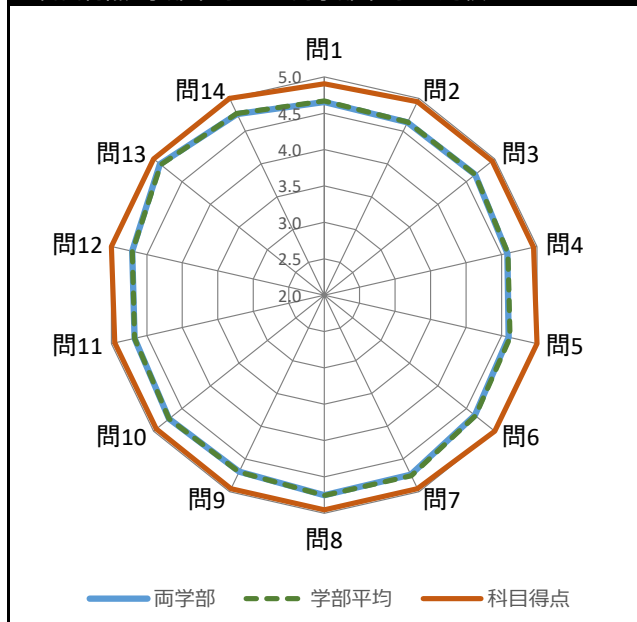
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	ラボラトリー・プラクティス	[1H1400]	履修者数	22	回答率		
教員名	壹岐 聖子		回答数	21	95.5%	95.5%	
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	21	0.0%	
				WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 19 responses for score 2]						2	4.90	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 20 responses for score 1]						1	4.95	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 20 responses for score 1]						1	4.95	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 20 responses for score 1]						1	4.95	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 21 responses for score 1]							5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 21 responses for score 1]							5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 20 responses for score 1]						1	4.95	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 20 responses for score 1]						1	4.95	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 20 responses for score 1]						1	4.95	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 20 responses for score 1]						1	4.95	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 20 responses for score 1]						1	4.95	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 21 responses for score 1]							5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 21 responses for score 1]							5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 21 responses for score 1]							5.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.97	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

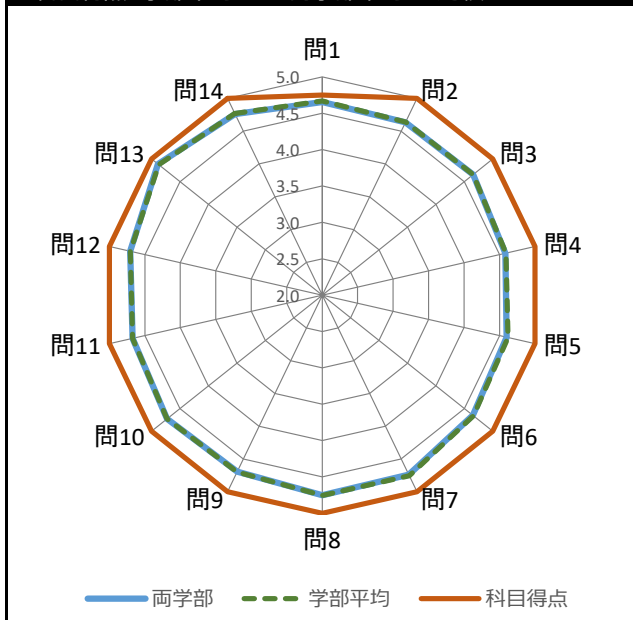
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護の歴史	[110400]	履修者数	4	回答率	
教員名	川原 由佳里		回答紙	4	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 response for '4']						4.75	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.98	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

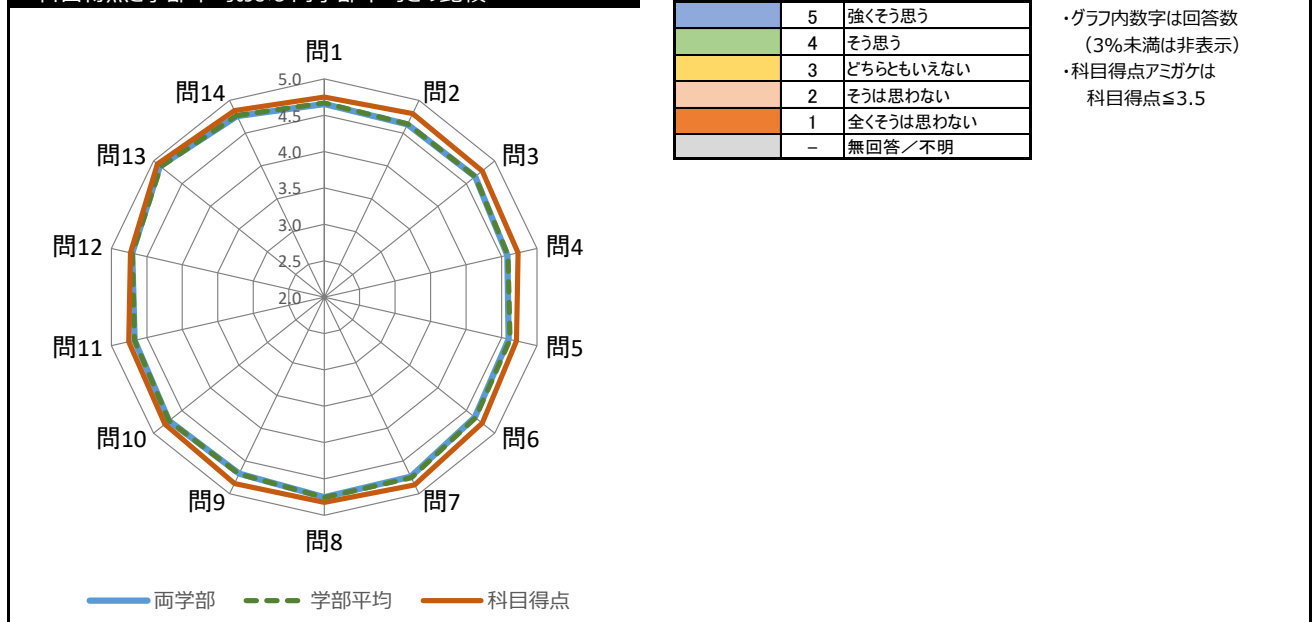
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	精神保健看護学・理論 [1L0301]		履修者数	87	回答率	
教員名	鷹野 朋実		回答数	45	51.7%	51.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 33% 'Yes' and 11% 'Somewhat Yes']						4.75	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 36% 'Yes' and 9% 'Somewhat Yes']						4.80	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 35% 'Yes' and 10% 'Somewhat Yes']						4.78	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 34% 'Yes' and 10% 'Somewhat Yes']						4.73	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 32% 'Yes' and 13% 'Somewhat Yes']						4.71	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 35% 'Yes' and 10% 'Somewhat Yes']						4.78	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 39% 'Yes' and 6% 'Somewhat Yes']						4.87	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 37% 'Yes' and 8% 'Somewhat Yes']						4.82	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 38% 'Yes' and 7% 'Somewhat Yes']						4.84	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 36% 'Yes' and 9% 'Somewhat Yes']						4.80	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 34% 'Yes' and 11% 'Somewhat Yes']						4.76	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 34% 'Yes' and 10% 'Somewhat Yes']						4.73	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 42% 'Yes' and 3% 'Somewhat Yes']						4.93	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 38% 'Yes' and 7% 'Somewhat Yes']						4.84	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.80	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較

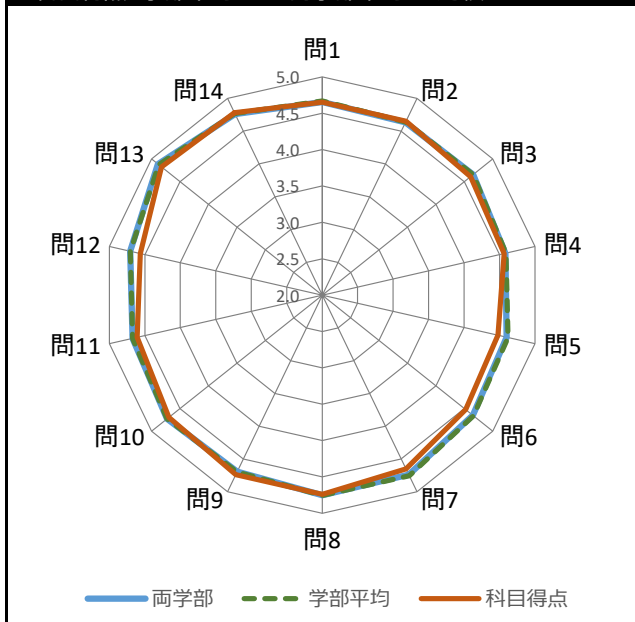


科目名	精神保健看護学・理論	[1L0302]	履修者数	76	回答率	
教員名	鷹野 朋実		回答数	23	30.3%	30.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 15 blue, 8 green]						4.65	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 15 blue, 8 green]						4.65	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 14 blue, 9 green]						4.61	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 14 blue, 8 green, 1 yellow]						4.57	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 13 blue, 9 green, 1 yellow]						4.48	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 13 blue, 9 green, 1 yellow]						4.52	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 15 blue, 8 green]						4.65	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 17 blue, 6 green]						4.74	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 17 blue, 6 green]						4.74	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 16 blue, 7 green]						4.70	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 15 blue, 7 green, 1 yellow]						4.61	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 14 blue, 8 green, 1 yellow]						4.57	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 19 blue, 4 green]						4.83	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 18 blue, 5 green]						4.78	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.65	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

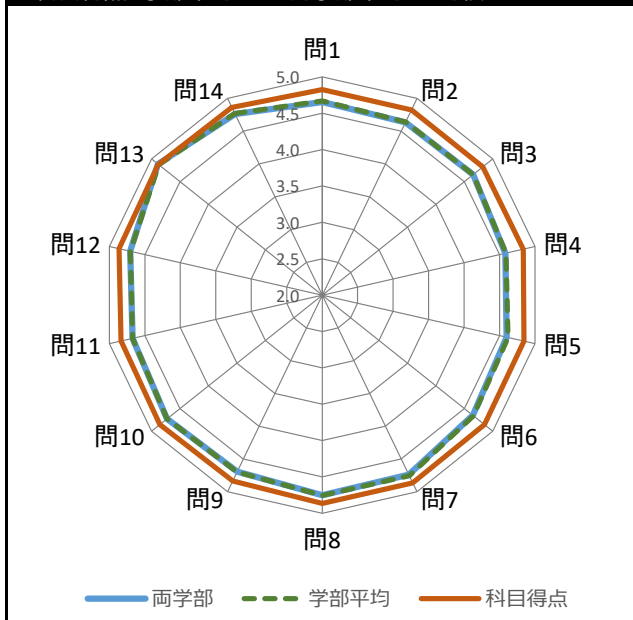
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学 I ①		[1M0300]	履修者数	147	回答率	
教員名	新田 真弓			回答数	103	70.1%	70.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 86% blue, 16% green]						4.83	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 86% blue, 16% green]						4.83	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 86% blue, 16% green]						4.83	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 87% blue, 15% green]						4.83	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 88% blue, 14% green]						4.84	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 89% blue, 13% green]						4.85	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 90% blue, 12% green]						4.86	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 90% blue, 12% green]						4.86	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 88% blue, 13% green]						4.83	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 89% blue, 13% green]						4.85	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 87% blue, 15% green]						4.83	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 90% blue, 12% green]						4.86	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 92% blue, 10% green]						4.88	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 89% blue, 12% green]						4.86	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.85	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

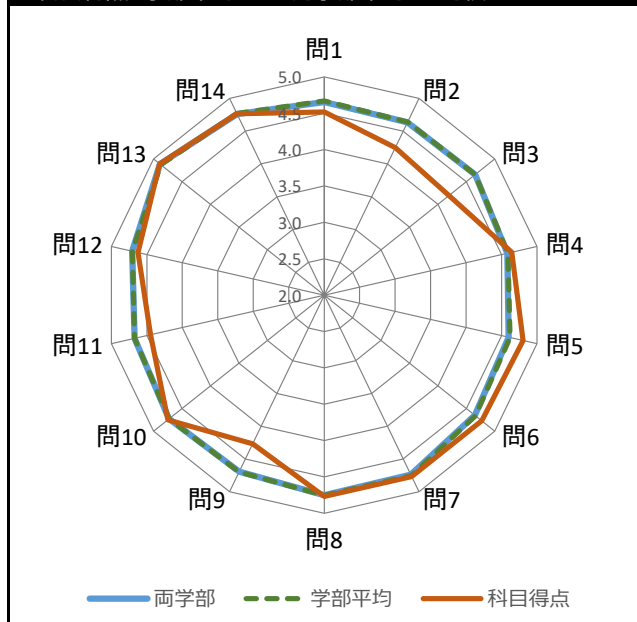
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学Ⅱ①	[1M0501]	履修者数	76	回答率	
教員名	江本 リナ		回答数	紙 56	73.7%	73.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 35% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.52	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 30% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 5% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.25	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 27% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 3% 'Disagree', 5% 'Strongly disagree']						4.20	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 40% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 2% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.64	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 11% 'Agree']						4.80	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 10% 'Agree']						4.77	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 44% 'Strongly agree', 11% 'Agree']						4.77	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 10% 'Agree']						4.77	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 33% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 5% 'Disagree', 5% 'Strongly disagree']						4.27	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 43% 'Strongly agree', 12% 'Agree']						4.75	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 34% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 5% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.45	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 39% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.63	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 50% 'Strongly agree', 6% 'Agree']						4.89	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 44% 'Strongly agree', 11% 'Agree']						4.77	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.60	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

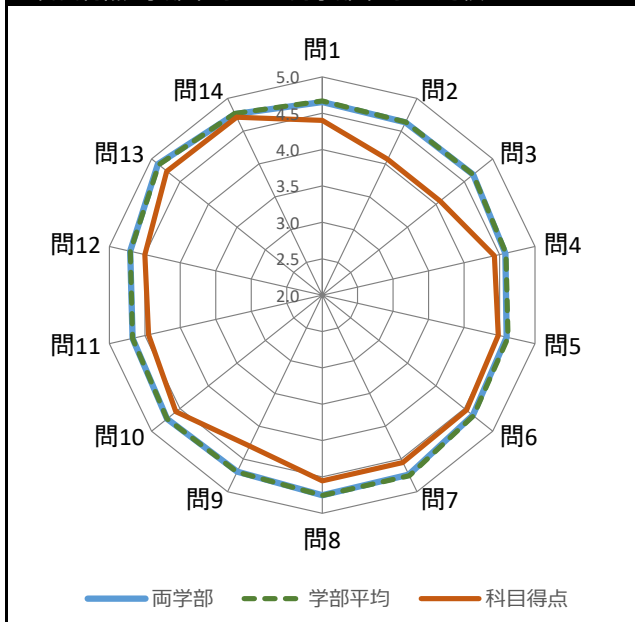
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学Ⅱ①	[1M0502]	履修者数	75	回答率	
教員名	江本 リナ		回答数	紙 56	74.7%	74.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 30% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 3% for 'Disagree', 3% for 'Strongly disagree']						4.40	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 23% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 6% for 'Disagree', 5% for 'Strongly disagree']						4.07	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 25% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 3% for 'Disagree', 6% for 'Strongly disagree', 2% for 'No answer']						4.07	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 29% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 2% for 'Strongly disagree']						4.43	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 34% for 'Strongly agree', 18% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 2% for 'Strongly disagree']						4.48	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 34% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 2% for 'Strongly disagree']						4.54	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 35% for 'Strongly agree', 19% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 2% for 'Strongly disagree']						4.55	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 35% for 'Strongly agree', 19% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 2% for 'Strongly disagree']						4.55	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 32% for 'Strongly agree', 16% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 3% for 'Strongly disagree', 3% for 'No answer']						4.30	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 36% for 'Strongly agree', 18% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 2% for 'Strongly disagree']						4.57	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 34% for 'Strongly agree', 16% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 2% for 'Strongly disagree', 2% for 'No answer']						4.45	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 34% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 2% for 'Strongly disagree', 2% for 'No answer']						4.50	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree', 9% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 2% for 'Strongly disagree', 2% for 'No answer']						4.73	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree', 12% for 'Agree', 2% for 'Disagree', 2% for 'Strongly disagree', 2% for 'No answer']						4.71	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.45	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

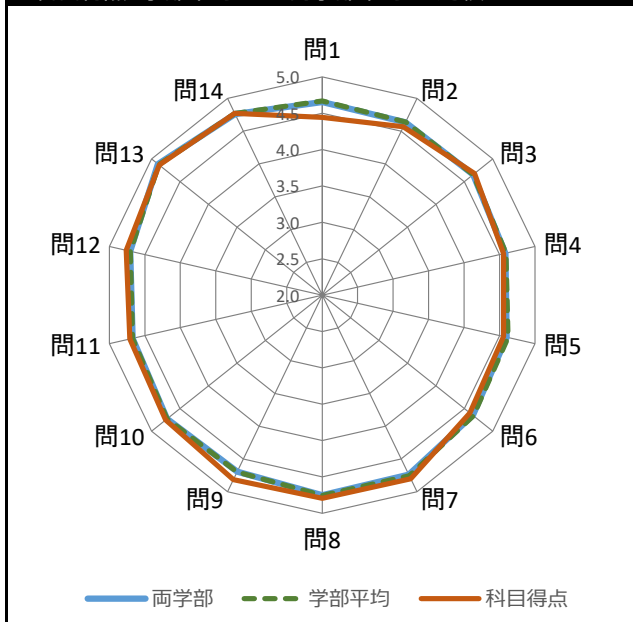
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学Ⅲ①		[1M0700]	履修者数	147	回答率	
教員名	坂口 千鶴			回答数	97	66.0%	66.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 57% 'Strongly agree', 29% 'Agree', 8% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.44	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked bar chart showing 60% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 3% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.57	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked bar chart showing 68% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 3% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.68	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked bar chart showing 60% 'Strongly agree', 32% 'Agree', 4% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.56	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked bar chart showing 63% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 5% 'Disagree', 5% 'Strongly disagree']						4.56	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked bar chart showing 64% 'Strongly agree', 29% 'Agree', 3% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.60	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked bar chart showing 78% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 3% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.80	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked bar chart showing 78% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 4% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.79	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked bar chart showing 79% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 3% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.81	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 73% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 3% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.75	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked bar chart showing 72% 'Strongly agree', 22% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.71	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked bar chart showing 75% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 4% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.76	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked bar chart showing 84% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 3% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.87	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing 76% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 4% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.77	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.69	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

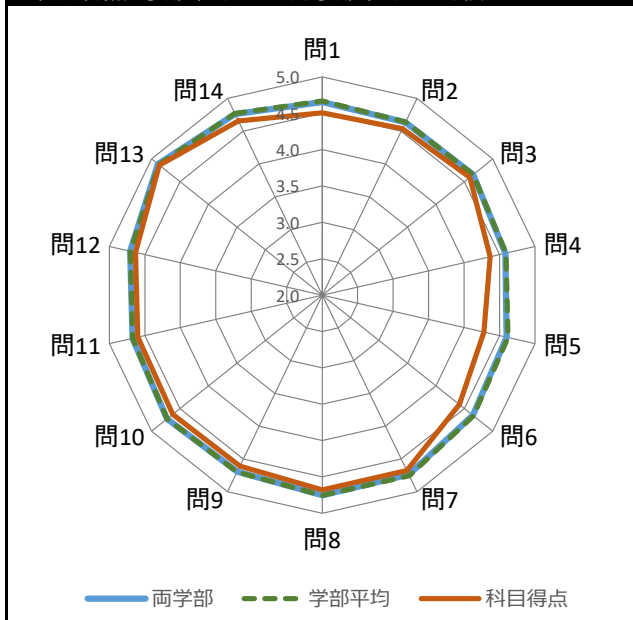
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	プライマリーヘルスケア	[1N0100]	履修者数	156	回答率		
教員名	井口 理		回答数	87	55.8%	55.8%	
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 53% for 'Strongly agree', 28% for 'Agree', 19% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.51	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked bar chart showing 54% for 'Strongly agree', 28% for 'Agree', 18% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.54	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked bar chart showing 56% for 'Strongly agree', 27% for 'Agree', 17% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.60	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked bar chart showing 48% for 'Strongly agree', 28% for 'Agree', 24% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.37	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked bar chart showing 45% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree', 29% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.28	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked bar chart showing 52% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree', 22% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.41	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked bar chart showing 63% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 17% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.68	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked bar chart showing 64% for 'Strongly agree', 19% for 'Agree', 17% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.68	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked bar chart showing 60% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 19% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.61	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 59% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 18% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.63	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked bar chart showing 57% for 'Strongly agree', 25% for 'Agree', 18% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.60	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked bar chart showing 59% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 17% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.63	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked bar chart showing 75% for 'Strongly agree', 12% for 'Agree', 13% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.86	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing 62% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 17% for 'Disagree', and 0% for 'Strongly disagree']						4.66	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.57	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

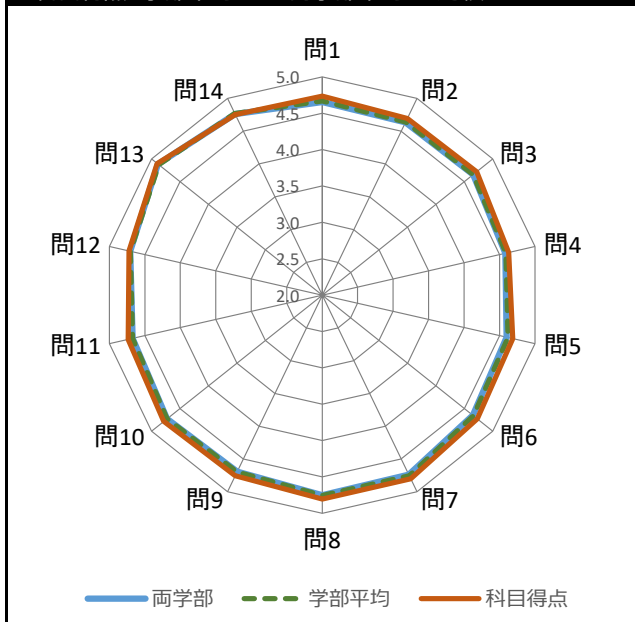
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	地域看護学	[100100]	履修者数	150	回答率	
教員名	石田 千絵		回答数	102	68.0%	68.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree' and 25% 'Agree']						4.74	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 73% 'Strongly agree' and 27% 'Agree']						4.70	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 75% 'Strongly agree' and 25% 'Agree']						4.72	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree' and 31% 'Agree']						4.63	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree' and 25% 'Agree']						4.69	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 77% 'Strongly agree' and 23% 'Agree']						4.73	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 82% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.80	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 82% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.80	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 79% 'Strongly agree' and 21% 'Agree']						4.75	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 81% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.78	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 77% 'Strongly agree' and 23% 'Agree']						4.74	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree' and 24% 'Agree']						4.73	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 93% 'Strongly agree' and 8% 'Agree']						4.90	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 78% 'Strongly agree' and 23% 'Agree']						4.75	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.75	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

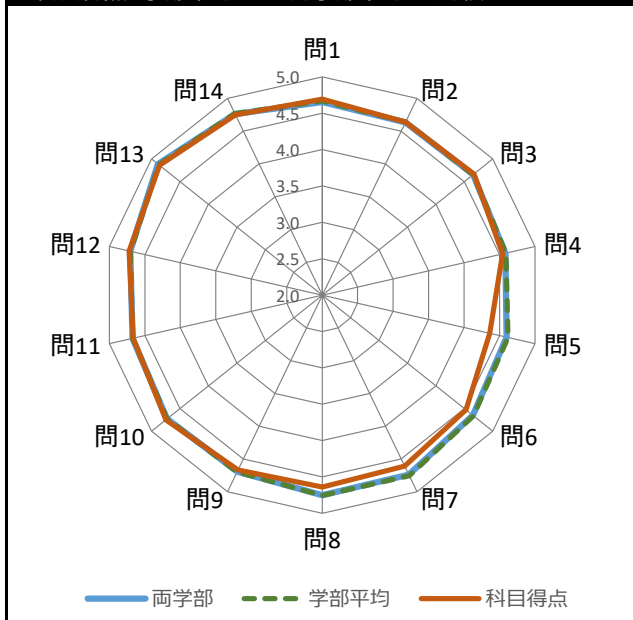
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	公衆衛生看護活動論	[100200]	履修者数	42	回答率		
教員名	吉川 悦子		回答紙	36	85.7%	85.7%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 9 for 'Somewhat']						4.69	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 24 responses for 'Yes' and 11 for 'Somewhat']						4.64	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 10 for 'Somewhat']						4.67	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 21 responses for 'Yes', 12 for 'Somewhat', and 2 for 'No']						4.54	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 22 responses for 'Yes', 7 for 'Somewhat', 5 for 'No', and 2 for 'Don't know']						4.36	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 22 responses for 'Yes', 11 for 'Somewhat', and 3 for 'No']						4.53	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes', 7 for 'Somewhat', and 2 for 'No']						4.61	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes', 7 for 'Somewhat', and 3 for 'No']						4.64	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 27 responses for 'Yes', 7 for 'Somewhat', and 1 for 'No']						4.67	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes', 7 for 'Somewhat', and 1 for 'No']						4.75	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 27 responses for 'Yes', 7 for 'Somewhat', and 1 for 'No']						4.67	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 27 responses for 'Yes', 8 for 'Somewhat', and 1 for 'No']						4.72	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 32 responses for 'Yes' and 3 for 'Somewhat']						4.86	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes' and 7 for 'Somewhat']						4.75	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.65	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

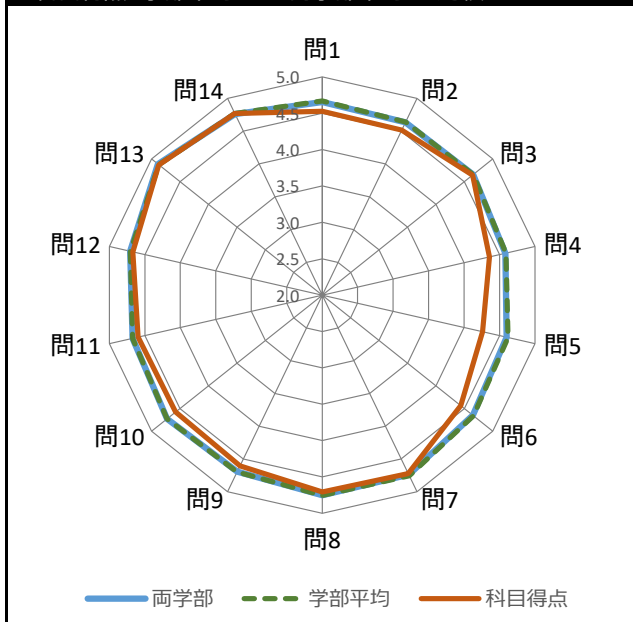
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	コミュニティヘルスアセスメント論	[100600]	履修者数	156	回答率		
教員名	石田 千絵		回答紙	110	70.5%	70.5%	
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree', 42% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.53	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.52	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 77% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.65	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree', 39% 'Agree', 8% 'Disagree', 5% 'No answer']						4.36	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree', 39% 'Agree', 11% 'Disagree', 5% 'No answer']						4.26	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 38% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.44	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 80% 'Strongly agree', 28% 'Agree']						4.72	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 80% 'Strongly agree', 26% 'Agree']						4.71	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree', 27% 'Agree']						4.61	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 73% 'Strongly agree', 30% 'Agree']						4.58	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.60	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 79% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.67	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 96% 'Strongly agree', 12% 'Disagree']						4.87	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 86% 'Strongly agree', 21% 'Agree']						4.77	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.59	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

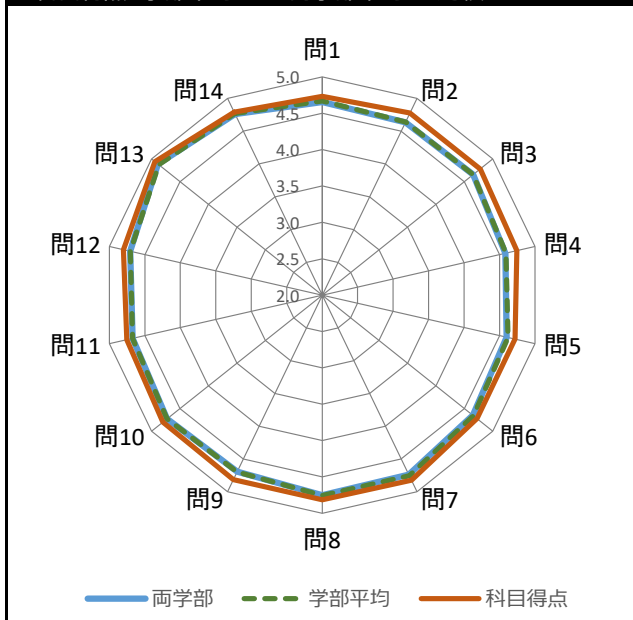
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	在宅看護概論 I		[100700]	履修者数	142	回答率	
教員名	石田 千絵			回答数	86	60.6%	60.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 65% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.73	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 68% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.78	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 68% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.78	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 65% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.74	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 64% for 'Strongly agree', 18% for 'Agree', and 3% for 'Disagree']						4.72	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 64% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.72	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 72% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.83	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 72% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.81	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 71% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.81	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 71% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.80	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 67% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.76	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 69% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.80	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 81% for 'Strongly agree' and 5% for 'Disagree']						4.94	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 69% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.79	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.79	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

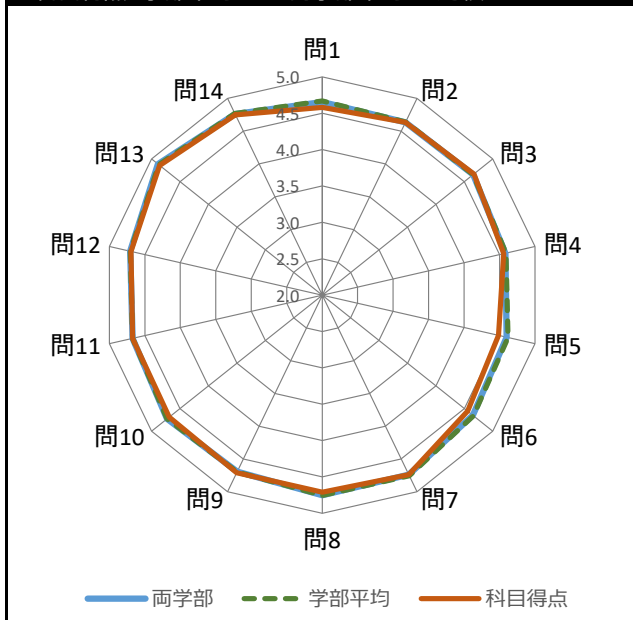
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	在宅看護概論Ⅱ		[100800]	履修者数	142	回答率	
教員名	西田 志穂			回答紙	93	65.5%	65.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 59% for 'Strongly agree' and 30% for 'Agree']						4.58	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 61% for 'Strongly agree' and 30% for 'Agree']						4.63	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 64% for 'Strongly agree' and 27% for 'Agree']						4.67	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 60% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree', 6% for 'Disagree']						4.56	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 57% for 'Strongly agree' and 29% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.48	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 62% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.56	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 71% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.74	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 70% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.71	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 69% for 'Strongly agree' and 21% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.71	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 67% for 'Strongly agree' and 23% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.69	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 65% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.67	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 66% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree']						4.70	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 80% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree']						4.86	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 71% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.75	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.67	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

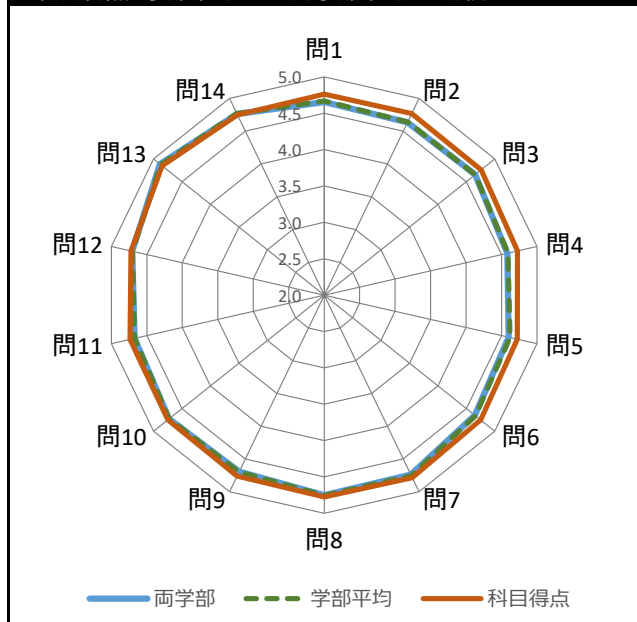
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護管理学 I	[1P0100]	履修者数	147	回答率	
教員名	安部 陽子		回答数	80	54.4%	54.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 62% blue, 17% green]						4.76	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 62% blue, 16% green]						4.77	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 62% blue, 17% green]						4.76	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 60% blue, 18% green]						4.73	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 58% blue, 20% green]						4.72	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 61% blue, 18% green]						4.75	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 64% blue, 15% green]						4.79	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 63% blue, 16% green]						4.78	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 62% blue, 17% green]						4.76	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 61% blue, 18% green]						4.75	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 60% blue, 19% green]						4.74	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 59% blue, 20% green]						4.73	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart showing 68% blue, 10% green]						4.85	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 61% blue, 18% green]						4.75	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.76	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

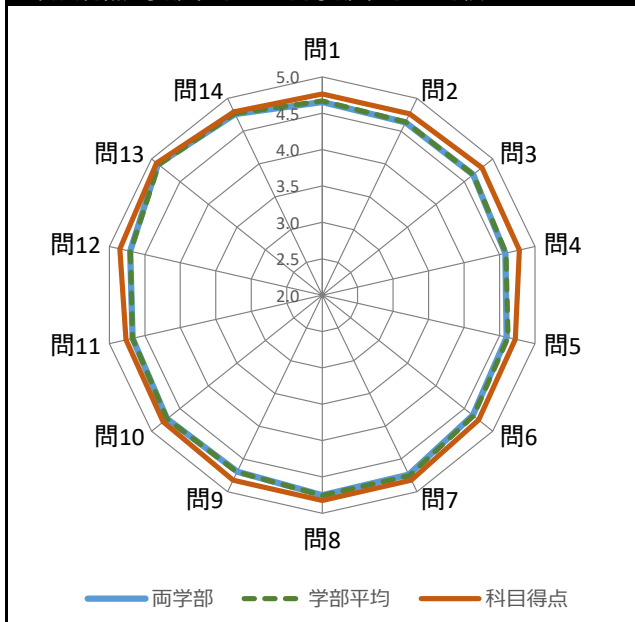
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護教育学 I		[1P0300]	履修者数	146	回答率	
教員名	佐々木 幾美			回答数	68	46.6%	46.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.76	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.76	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.81	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.78	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.72	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.75	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.82	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.82	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.82	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.79	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.76	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.85	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 6% 'Agree']						4.91	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 55% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.79	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.80	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

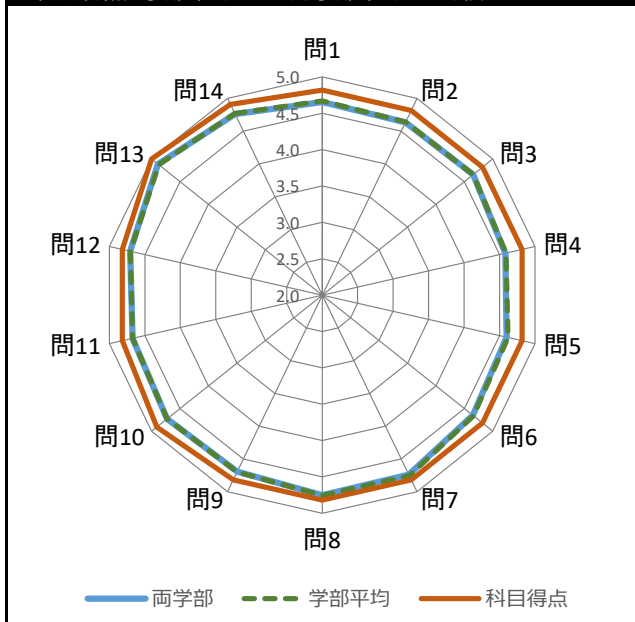
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	国際看護学Ⅱ	[1R0200]	履修者数	18	回答率	
教員名	織方 愛		回答数	11	61.1%	61.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0.0%	
				WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 responses for '役に立った' and 2 for '役に立たなかった']							4.82	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 9 responses for '効果的だった' and 2 for '効果的ではなかった']							4.82	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']							4.82	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 9 responses for 'わかりやすかった' and 2 for 'わかりやすくない']							4.82	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 9 responses for '興味のあるものだった' and 2 for '興味のないものだった']							4.82	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 9 responses for '価値があった' and 2 for '価値がなかった']							4.82	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']							4.82	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']							4.82	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']							4.82	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 10 responses for '伝わってきた' and 1 for '伝わってこなかった']							4.91	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 9 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']							4.82	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 9 responses for '適切に回答した' and 2 for '適切に回答しなかった']							4.82	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 11 responses for '出席率が高い']							5.00	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 10 responses for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 1 for '意欲的・積極的に取り組まなかった']							4.91	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.84	4.70	4.69	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

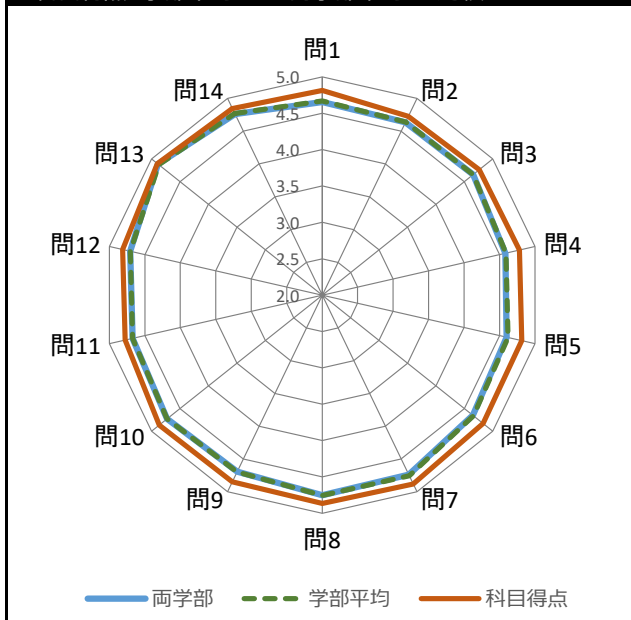
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	災害看護学 I		[1R1101]	履修者数	68	回答率	
教員名	橋爪 朋子			回答数	59	86.8%	86.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	紙	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 48% for 'Yes' and 11% for 'Somewhat Yes']						4.81	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 44% for 'Yes' and 14% for 'Somewhat Yes']						4.73	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 46% for 'Yes' and 12% for 'Somewhat Yes']						4.76	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 46% for 'Yes' and 13% for 'Somewhat Yes']						4.78	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 48% for 'Yes' and 11% for 'Somewhat Yes']						4.81	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 49% for 'Yes' and 10% for 'Somewhat Yes']						4.83	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 52% for 'Yes' and 7% for 'Somewhat Yes']						4.88	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 51% for 'Yes' and 8% for 'Somewhat Yes']						4.86	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 50% for 'Yes' and 9% for 'Somewhat Yes']						4.85	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 51% for 'Yes' and 8% for 'Somewhat Yes']						4.86	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 47% for 'Yes' and 11% for 'Somewhat Yes']						4.78	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 48% for 'Yes' and 11% for 'Somewhat Yes']						4.81	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 53% for 'Yes' and 6% for 'Somewhat Yes']						4.90	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 50% for 'Yes' and 9% for 'Somewhat Yes']						4.85	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.82	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

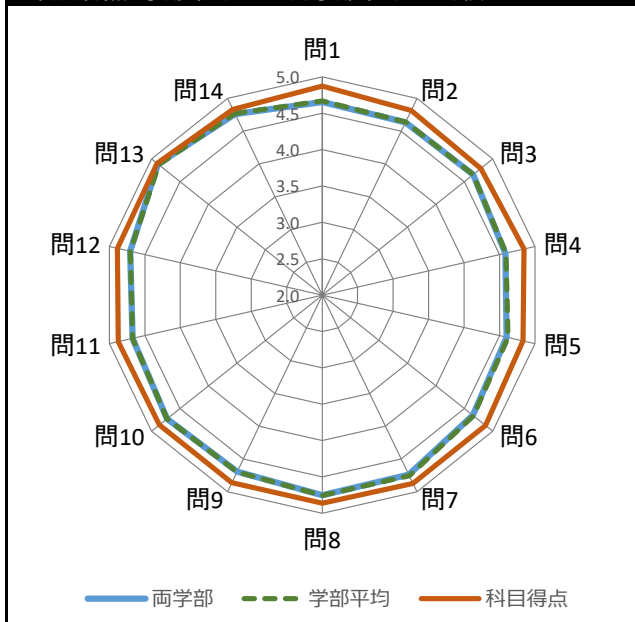
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	災害看護学 I		[1R1102]	履修者数	79	回答率	
教員名	橋爪 朋子			回 答 数	紙	73	92.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	92.4%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 63% for '役に立った' and 7% for '役に立たなかった']						4.87	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 60% for '効果的だった' and 9% for '効果的ではなかった']						4.82	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 60% for '適切だった' and 8% for '適切ではなかった']						4.79	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 62% for 'わかりやすかった' and 7% for 'わかりやすくなかった']						4.85	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 60% for '興味のあるものだった' and 10% for '興味のないものだった']						4.83	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 63% for '価値があった' and 7% for '価値がなかった']						4.87	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 64% for '適切だった' and 7% for '適切ではなかった']						4.88	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 63% for '適切だった' and 8% for '適切ではなかった']						4.86	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 64% for '適切だった' and 8% for '適切ではなかった']						4.86	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 64% for '伝わってきた' and 8% for '伝わってこなかった']						4.86	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 64% for '適切だった' and 7% for '適切ではなかった']						4.88	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 64% for '適切に回答した' and 6% for '適切に回答しなかった']						4.89	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 66% for '出席率が高い' and 5% for '出席率が低い']						4.90	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 61% for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 10% for '意欲的・積極的に取り組まなかった']						4.83	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.86	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

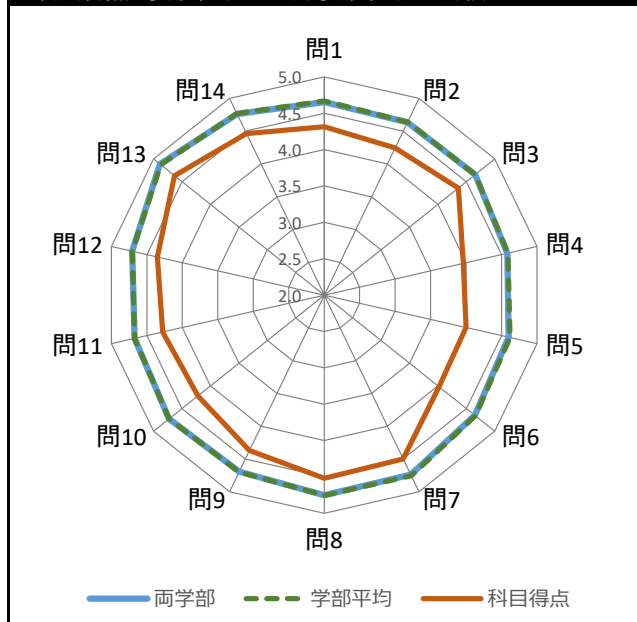
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	研究方法論Ⅱ	[1T0201]	履修者数	68	回答率	
教員名	江本 リナ		回答紙	54	79.4%	79.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing distribution: 27 (blue), 21 (green), 4 (yellow), 2 (orange)]						4.31	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing distribution: 29 (blue), 15 (green), 4 (yellow), 3 (orange), 2 (red)]						4.25	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing distribution: 31 (blue), 14 (green), 6 (yellow), 2 (orange)]						4.36	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing distribution: 27 (blue), 11 (green), 8 (yellow), 3 (orange), 5 (red)]						3.96	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing distribution: 27 (blue), 12 (green), 6 (yellow), 3 (orange), 5 (red)]						4.00	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing distribution: 28 (blue), 10 (green), 8 (yellow), 5 (orange), 3 (red)]						4.02	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing distribution: 36 (blue), 13 (green), 3 (yellow), 2 (orange)]						4.50	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing distribution: 36 (blue), 14 (green), 2 (yellow), 2 (orange)]						4.52	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing distribution: 32 (blue), 14 (green), 6 (yellow), 2 (orange)]						4.37	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing distribution: 30 (blue), 14 (green), 5 (yellow), 2 (orange), 3 (red)]						4.22	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing distribution: 29 (blue), 16 (green), 6 (yellow), 2 (orange)]						4.28	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing distribution: 31 (blue), 15 (green), 6 (yellow), 2 (orange)]						4.35	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing distribution: 41 (blue), 10 (green), 2 (yellow), 2 (orange)]						4.63	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing distribution: 34 (blue), 15 (green), 3 (yellow), 2 (orange)]						4.46	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.30	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

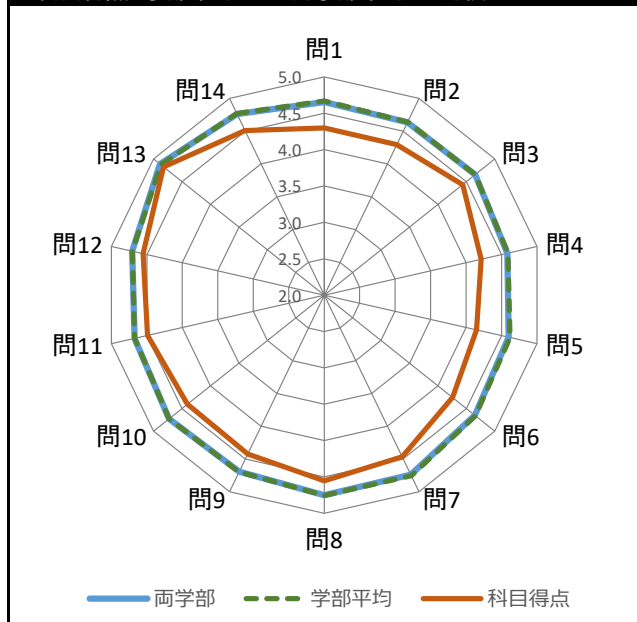
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	研究方法論Ⅱ	[1T0202]	履修者数	79	回答率	
教員名	江本 リナ		回答紙	47	59.5%	59.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing distribution: 25 (blue), 16 (green), 2 (yellow), 3 (orange)]						4.30	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing distribution: 26 (blue), 14 (green), 3 (yellow), 3 (orange)]						4.30	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing distribution: 26 (blue), 16 (green), 2 (yellow), 2 (orange)]						4.43	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing distribution: 25 (blue), 13 (green), 3 (yellow), 6 (orange)]						4.21	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing distribution: 25 (blue), 13 (green), 2 (yellow), 5 (orange), 2 (red)]						4.15	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing distribution: 26 (blue), 13 (green), 4 (yellow), 2 (orange), 2 (red)]						4.26	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing distribution: 30 (blue), 12 (green), 2 (yellow), 3 (orange)]						4.47	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing distribution: 31 (blue), 12 (green), 3 (orange)]						4.55	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing distribution: 28 (blue), 13 (green), 4 (yellow), 2 (orange)]						4.43	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing distribution: 27 (blue), 14 (green), 5 (orange)]						4.40	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing distribution: 28 (blue), 15 (green), 3 (orange)]						4.49	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing distribution: 30 (blue), 14 (green), 2 (orange)]						4.55	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing distribution: 39 (blue), 6 (orange)]						4.83	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing distribution: 30 (blue), 13 (green), 3 (orange)]						4.51	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.42	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

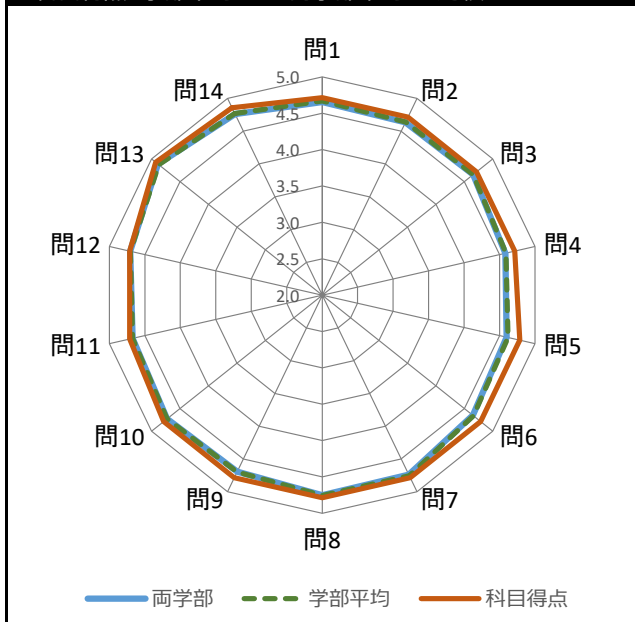
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	公衆衛生看護活動展開論	[1U0100]	履修者数	20	回答率		
教員名	吉川 悦子		回答数	紙	14	70.0%	70.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 11 blue, 3 green]						4.79	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 11 blue, 3 green]						4.79	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 11 blue, 3 green]						4.79	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 11 blue, 3 green]						4.79	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 11 blue, 3 green]						4.79	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 11 blue, 3 green]						4.79	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 13 blue, 1 green]						4.93	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 12 blue, 2 green]						4.86	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.77	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

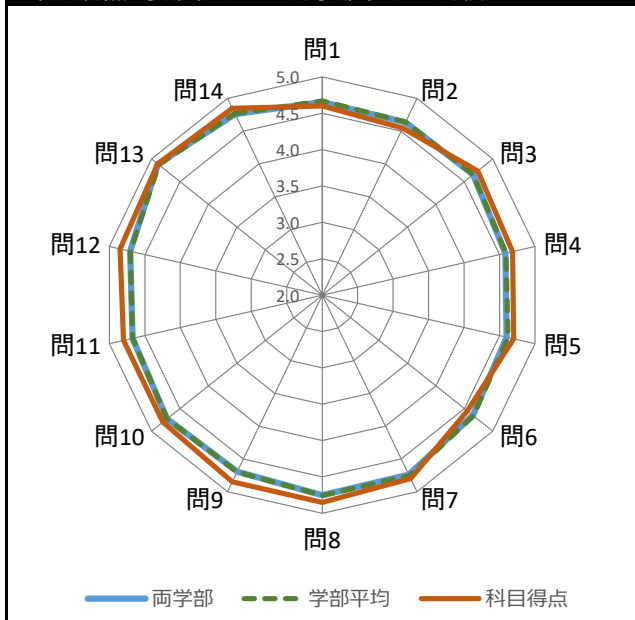
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	公衆衛生看護方法論 [1U0300]		履修者数	20	回答率	
教員名	吉川 悦子		回答紙	20	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 13 votes for 4, 6 for 5, 1 for 3]						4.60	4.67	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 13 votes for 4, 5 for 5, 2 for 3]						4.55	4.64	4.64
3	教員の話方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 14 votes for 4, 5 for 5, 1 for 3]						4.74	4.65	4.65
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 14 votes for 4, 4 for 5, 1 for 3]						4.68	4.59	4.58
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 15 votes for 4, 4 for 5, 1 for 3]						4.70	4.62	4.60
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 14 votes for 4, 3 for 5, 3 for 3]						4.55	4.66	4.65
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 16 votes for 4, 4 for 5]						4.80	4.76	4.74
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 17 votes for 4, 3 for 5]						4.85	4.75	4.75
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 17 votes for 4, 3 for 5]						4.85	4.70	4.69
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 16 votes for 4, 4 for 5]						4.80	4.73	4.73
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 17 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.80	4.67	4.67
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 17 votes for 4, 3 for 5]						4.85	4.71	4.71
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 17 votes for 4, 2 for 5, 1 for 3]						4.89	4.87	4.89
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 17 votes for 4, 3 for 5]						4.85	4.77	4.76
問1~14全問平均								4.75	4.70	4.69

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
1A0300	赤十字国際活動論演習	角田敦彦	本科目は演習科目であり、アンケートの内容が回答に不向きだったのかもしれませんが。回答者も1名のみとなり、授業に対する受講者の反応を反映したものとは言い難い状況ですので、具体的なコメントは差し控えたいと思います。 ただし、参加した学生のみなさんは、積極的に学習する姿勢がみられ、最終レポートもしっかりとしたものが提出されました。このことから、授業として一定の成果を挙げられたものと推察します。
1B0201	生命倫理	田村未希	概ね問題なさそうでホッとしました。難しい内容もあったと思うのですが、頑張って授業に参加してくれた学生さんたちに感謝しています。
1B0202	生命倫理	田村未希	多くの学生さんがとても熱心に授業に参加してくれて感謝しています。資料やスライドがよりわかりやすくなるように工夫していきます。
1B0403	心理学Ⅱ	遠藤公久	受講生が4名と少なく残念でしたが、対話形式の授業が展開できて、私としても得ることが多い授業でした。
1B0600	現代教育論	渋谷真樹	肯定的な評価で嬉しく思っています。 「知らないことが多く興味深かった」とのこと、受講生の皆さんの視野を広げ、複眼的に思考していく糧になればありがたいです。 毎回のリフレクションにコメントをつけてフィードバックした点がよかったとのこと、双方向的に議論を深めていくことを意図していましたので、今後も続けたいと思います。 授業資料のアップロードをもう少し早くしてほしいとの要望を受けましたので、善処していきます。
1B1800	臨床心理学	遠藤公久	高い評価をいただきました。 授業も多面的に臨床的な心理学について考えていけました。自己理解、他者理解、そして援助的人間関係などについて、私も学ぶことが多くありました。ありがとうございました。
1B1900	人間工学	伊藤潤	初年度3名の履修者のうち2名からの回答を得た。全般的に好意的な内容であったが、残念ながら都合により今年度は他の教員に担当していただくことになった。
1C0400	家族社会学	宮下阿子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございます。今後も、良い評価をいただいた点を維持するとともに、グループワークを活用しながら、みんなで楽しく学べる授業を目指したいと思います。
1C0600	国際関係論	角田敦彦	今年度の開講に関しては、例年に比べて受講生のみなさんに理解しいとの反応でした。本科目は、一部専門的な内容も含まれますので、各講義回ごとのリフレクションペーパーに寄せられた質問やコメントにできるだけ応えることにより、皆さんの理解を深める工夫をしてきました。他方、内容自体に関心が持てない学生もいたということがアンケートから見受けられましたので、次年度の開講にあたっては、コースガイダンスにおいて科目の特性や進め方を丁寧に説明し、共通認識が得られるよう工夫していきたいと思います。
1C0800	医療と文化	鈴木勝己	アンケート回答から少数であればかなりの学習効果が期待できることがわかります。 「医療と文化」は、文化的背景を質的に探求する必要から、特定の事例や事象を深く掘り下げ、全員で考える必要があります。人数があまりにも多いと、参加する人とならない人の間で差が出てしまい、授業全体の充実度が下がるのであろうと思います。今後、授業参加者が10名以下の場合とそれ以上の場合で、授業方式を使い分けていこうと思います。また、例年、授業シラバスに記載した内容が100%のレベルで実施できているわけではなく、およそ8割程度になることが多いです。その理由はクラス討論を重視し、時間が足りなくなることで、参加者の興味関心に合わせて多少アレンジするためです。これは今後も同じスタイルで授業を子なう予定です。
1C1300	現代社会論	鷹田佳典	現代社会論では、毎回、時事的な問題も含め、現代社会を理解するうえで重要と思われるトピックを取り上げ、それについて受講者でグループディスカッションを行いました。毎回、自由で活発な議論が行われ、それが今回の評価につながったと思います。引き続き、一方通行の授業にならないような工夫をしていきたいと思っています。

1D1100	基礎統計学	山下龍生	授業お疲れ様でした。皆さんよく勉強されていたと思います。統計的なものの見方や統計的手法については、看護師になられたあとも役に立つと思うので、今後も勉強を続けてもらえればと思います。
1D1200	生物学	新井健太	<p>本科目は生命に関する広い教養を身につけてもらうための新設科目で、2023年度から開講されました。手探りな部分がある中、履修してくださったみなさん、ありがとうございます。今回のアンケートでは比較的ポジティブな評価が得られ、ひと安心しました。授業後の休み時間に要望を寄せてくださった方々のおかげで、早い段階から当大学向けに調整できた事も、良い方向に働いたかと思います。</p> <p>本科目は看護学部の2年生後期を対象としています。大学生活も折り返し地点にさしかかり、専門性が身につくあるみなさんだからこそ吸収できる教養とは何でしょうか。それは高校生物の復習ではないはずです。本科目では、遺伝・発生・進化・分類・生態の5分野にわたるマクロ生物学を扱いました。生理学や解剖学などヒトの健康に関連する分野は他科目で学修済みと想定し、これらを避けた構成にしました。生物学を広く浅く知っておくことは、観察力や想像力の源になり、仕事や生活の中で役立ちます。</p> <p>授業で扱う内容は受講生の意見を取り入れて年々調整する予定でしたが、2023年度は具体的な要望がありませんでした。引続きご意見を募集します。アンケートの質問#5「授業の内容は興味のあるものだった」は4.41点で、受講生の専門外である科目としては、健闘したかもしれません。また、質問#15「この授業でよいと思った点」では5件の温かいコメントをいただきました。来年度もがんばります。</p> <p>以下、アンケートに寄せられたコメントへの返答になります。入力にご協力いただき、感謝いたします。</p> <p>①「1回の授業の情報量が少し多い」 受講生の半数は生物学の初心者ということで、基礎的なことからしっかり解説し、それを積み上げて大きな話につなげる内容にしました。実際に授業を担当してみると、受講生はしっかり自習し、資料を読み込んで情報を整理する力を持っている様子でした。みなさんは一般的な大学生より、ずっと力がついているので自信を持ってください。そうしますと、基礎を確認する部分は、もっとスッキリさせても良さそうですね。授業内容を微調整のうえ、様子を見たいと思います。</p> <p>②「小テストはその日中に公開してほしい。土日だと忘れる」 重要なことへ早めに対処するのは良い習慣ですね。授業ごとの宿題（ラーニングシステム上の小テスト形式）は、基本的に授業日〔木曜日〕の翌日〔金曜日〕から解答可能となり、翌週の授業前日〔水曜日〕が締め切りでした。後日復習していただき、授業内容の定着をはかる目的で用意された教材になります。また、一部は自分で調べ、考える力をつけてもらうための問題になっています。授業中の反応を見て題材を考えたり、注意深く作問すると、どうしても完成するのは翌日となります。都合の良い曜日と時間帯を決めておき、毎週そこで宿題に取り組むことにすれば、忘れることも減らせるかもしれません。</p>
1F0301	英語R1-2	遠藤花子	アンケートから、授業の分かりやすさに若干の課題を感じましたが、概ね良好な回答をありがとうございました。これからも頑張ってください。
1F0302	英語R1-2	川崎修一	過大な評価をありがとうございます。いただいた意見は授業改善に活かします。
1F0303	英語R1-2	遠藤花子	アンケートから、板書の仕方に若干の課題を感じましたが、概ね良好な回答をありがとうございました。これからも頑張ってください。
1F0304	英語R1-2	川崎修一	過大な評価をありがとうございます。いただいた意見は授業改善に活かします。
1F0501	英語W1-2	James Stokes	Well done, everyone! I was really impressed with the progress you made throughout your semester. My aim as a teacher is to keep creating a learning environment that's enjoyable yet challenging. Let's keep pushing forward and continue building on the great work you've started!

1F0503	英語W1-2	James Stokes	Fantastic effort, everyone! I'm so proud of the growth I saw in your writing. My role is to help you learn in a way that keeps things engaging but also challenges you to improve. Keep up the amazing work, and let's keep moving forward together!
1F0702	英語LS1-2	James Stokes	Excellent work, class! After reviewing your feedback, I'm really happy to hear about the progress you're making. My goal is to provide a balance of fun and challenge in your learning experience. Let's keep strengthening these foundations and continue to achieve more together!
1F0705	英語LS1-2	James Stokes	Awesome job, everyone! Going through your feedback, I can agree with how much progress you've made, and I'm really proud of you. My goal is to make sure learning stays enjoyable while pushing you to reach new heights. Keep up the hard work, and let's continue building on the strong foundation we've created!
1F0901	英語R2-2	斎 孝則	<p>14ある問いに対する回答（得点）のほとんどが学部や両学部の平均より高めだった。それには恐らく理由があって、最後の14番目の項目「私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ」に対し「強くそう思う」人の割合が高かった、それが関わっているのでしょうか。皆さんの意欲的な取り組みがあったからこそ、満足度も高くなったのだと思います。</p> <p>「授業中に大切な構文を自分で訳す機会が毎回あったため、内容が効率的に理解することができた」とのコメントがありました。教員から全部意味を教えてしまうよりは、その方が理解が深まるだろうと思ってこのやり方をとっています。ご理解ありがとうございます。</p> <p>改善点として「小テストの難易度を前期と変えないでいただきたい」というコメントがありました。小テストは毎回平均点が8割前後でしたから、難易度が前期（もう一つのクラス?）より易くなったのでしょうか。「公平さを求めます」とも書かれていました。教員が前後期で交代していますから、結果的にはむしろ公平になったと思うのですが、いかがでしょう。私も専任の先生と相談し、改善すべき点は改めたいと思います。</p>
1F0902	英語R2-2	久木田直江	<p>受講生のみなさま、アンケートにお応えいただきありがとうございました。多くの方が授業に意欲的に取り組んでくださったことは私にも伝わっていました。2年生になって、一段と難しい教材が与えられ、予習・復習も大変だったと思います。</p> <p>頂いたコメントを今後の授業の進め方の参考にしたいと思います。</p>
1F0903	英語R2-2	斎 孝則	<p>14ある問いのほとんどで科目得点が「両学部」ないし「学部平均」より高かった点は嬉しく思います。恐らくそれは理由のないことではなく、質問13「私の授業への出席率」や質問14「私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ」への回答が極めて高いことの裏返しなのでしょう。</p> <p>この授業で良いと思った点として、「先生がすごくやさしい。資料が分かりやすい」「毎回小テストがあったこと」「説明が分かりやすく丁寧だったので、楽しく英語の勉強ができました」「先生が優しい」など、いずれもありがたく思います。特に資料や小テストの作成には多くの時間を割いたので、それに言及してくれて嬉しいです。</p> <p>改善した方が良い点として、「2つのクラスで、授業のやり方が違いすぎる点が疑問でした」とありました。分かりやすい丁寧な指導という点では同じだと思いますが、やり方が違いすぎると何か不都合でしょうか。前期後期で教員も交代しますので、違いを楽しんでいただければと思います。しかし、ご指摘ですので専任の先生とも相談し、確認してみます。</p>

1F0904	英語R2-2	久木田直江	受講生のみなさま、 アンケートにお応えいただきありがとうございました。多くの方が授業に意欲的に取り組んでくださったことは私にも伝わっていました。2年生になって、一段と難しい教材が与えられ、予習・復習も大変だったと思います。頂いたコメントを今後の授業の進め方の参考にしたいと思います。
1F1100	英語W2-2	遠藤花子	アンケートの回答をありがとうございました。みなさんに満足して頂けたのは何よりです。授業の内容は今後も工夫していきたいと思います。これからも頑張ってください。
1F1103	英語W2-2	遠藤花子	良好な回答をありがとうございました。授業の内容は今後も工夫していきたいと思います。これからも頑張ってください。
1F1500	英語文献を読むⅡ	遠藤花子	アンケートの回答をありがとうございました。みなさんに満足して頂けたのは何よりです。授業の内容は今後も工夫していきたいと思います。これからも頑張ってください。
1F3001	フランス語	西村友樹雄	アンケートへの回答をありがとうございました。おおむね満足いただけたようで安心いたしました。もう1つの授業(1F3002)の方にも書きました、「より質問しやすく、より授業に参加しやすい雰囲気」の構築を目指し、満足度の高い授業を実現したいと思います。皆さんが本授業を通して、フランス語やフランス文化を以前よりも(たとえ少しであっても)身近に感じられるようになっていればとても嬉しいです。
1F3002	フランス語	西村友樹雄	アンケートへの回答をありがとうございました。おおむね良い評価をいただきましたが、いくつかの項目、特に「質問しやすい状況」については改善の余地があり、今後の授業の課題といたします。授業の進行やGlexaの活用方法を考えなおし、より質問しやすく、より授業に参加しやすい雰囲気を作りたいと考えております。また自由記述で、参考になる貴重なコメントを寄せてくださった皆さんには改めて感謝申し上げます。時間の配分や取り上げる材料に留意し、今後の授業にその結果を反映させていきたいと思います。皆さんが本授業を通して、フランス語やフランス文化を以前よりも(たとえ少しであっても)身近に感じられるようになっていればとても嬉しいです。
1G0230	基礎ゼミⅡ	川崎修一	過分な評価をありがとうございます。いただいた意見は授業改善に活かします。
1H0301	人体の構造と機能Ⅲ	誉田晴夫	1983年の日赤武蔵野看護専門学校から始まった日赤看護学生と私の関りは、昨年(1923年)最終回を迎えました。この間、私は「授業の内容に興味を持ってもらうこと」を心がけて授業を進めてきました。すぐには理解できない内容でも、興味が湧けば自分で勉強し理解が進む、と考えたからです。そのために授業では、教科書の図をスクリーンに投影し同じ内容のプリントを配り、前回の復習から始め、余談を入れるなど、皆さんが授業に飽きないように工夫してきました。 とはいえ、科学の進歩に伴って教科書の内容も高度になり、皆さんが興味を持ってくれるかどうか、最近、不安を感じつつの半年間の講義でした。しかし授業評価を見ると、皆さんの理解力は私の不安を軽減してくれたようです。皆さんの能力の高さを感じます。今度皆さんと会うのは、どこかの病院の病室かも知れませんね。その時はよろしく!
1H0302	人体の構造と機能Ⅲ	誉田晴夫	1983年の日赤武蔵野看護専門学校から始まった日赤看護学生と私の関りは、昨年(1923年)最終回を迎えました。この間、私は「授業の内容に興味を持ってもらうこと」を心がけて授業を進めてきました。すぐには理解できない内容でも、興味が湧けば自分で勉強し理解が進む、と考えたからです。そのために授業では、教科書の図をスクリーンに投影し同じ内容のプリントを配り、前回の復習から始め、余談を入れるなど、皆さんが授業に飽きないように工夫してきました。 とはいえ、科学の進歩に伴って教科書の内容も高度になり、皆さんが興味を持ってくれるかどうか、最近、不安を感じつつの半年間の講義でした。しかし授業評価を見ると、皆さんの理解力は私の不安を軽減してくれたようです。皆さんの能力の高さを感じます。今度皆さんと会うのは、どこかの病院の病室かも知れませんね。その時はよろしく!

1H0400	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	井上明宏	オムニバス形式ですが、各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評をいただき、ありがとうございます。医師の外部講師によってわかりやすい人とそうでない人がいたとのことで、フィードバックします。 席によってスクリーンの見やすさが変わるのは大教室の場合やむを得ないかと思いますが、公平になるように定期的に席替えをしています。 内容に対して授業回数が足りないのは致し方ありません。かといって内容を削るわけにもいきませんので、自主学習で補うなどで対応してください。
1H0501	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	井上明宏	オムニバス形式ですが、実際の現場で臨床に携わる各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評をいただき、ありがとうございます。ペワワーク演習で事前学習をしてこない人がいる点に不満をもつ学生もいるようですが、そこは自分が教えてあげる良い機会だという考え方もあるかもしれません。授業にして欲しいというコメントもありますが、大学としてはアクティブラーニングを推進していますので、その一環です。 大教室でのスライド映写や音響の不具合については、改善をするようにしていきます。
1H0502	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	井上明宏	オムニバス形式ですが、実際の現場で臨床に携わる各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評をいただき、ありがとうございます。ペワワーク演習で事前学習をしてこない人がいる点に不満をもつ学生もいるようですが、そこは自分が教えてあげる良い機会だという考え方もあるかもしれません。授業にして欲しいというコメントもありますが、大学としてはアクティブラーニングを推進していますので、その一環です。 大教室でのスライド映写や音響の不具合については、改善をするようにしていきます。
1H0600	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	井上明宏	脳・神経系の講義を3人の先生で一般・内科・外科と分担していただき、バラエティーもあった点を評価していただきました。手術動画などが好評のようなので、今後も講師の先生にお伝えしておきます。資料が多過ぎて何が大切かわからないというコメントがありましたが、大事でないことについては授業で言及されていると思います。それ以外は、基本的には大事だということです。ただ、全てを1年次に覚える必要はありません。 時間割の急遽の変更については、外部講師との連絡不具合等の改善をしていきます。
1H0700	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	井上明宏	オムニバス形式ということで、各専門の先生の話の聞いたことを評価していただきました。リフレクションに質問を書いても回答がなかったということですが、回答をどうしても欲しい質問は、メールで直接聞いていただく方が確実です。 スライドで配布されていないものがあるのはそれなりの理由がある場合もあります。基本的には余剰的な情報として捉えてください。原則として試験勉強の対象とはならないと考えてください。
1H0800	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ	井上明宏	数か月後には臨床現場に出ることになる4年生に向けて意識された講義であることが評価されてよかったと思います。 スケジュール変更や評価基準などの連絡が不十分だった点については、改善していきます。
1H1000	薬理学	吉見 猛	薬理学の授業を90分×8回で終わらすためにはどうすればいいのか毎年考えています。教科書以外にプリントを配布することも検討しましたが、教科書の内容で十分であること、プリントの説明をすると時間が足らなくなる可能性があることからプリントは配布しませんでした。今後は必要に応じて教科書以外の資料が活用できないか検討します。また、プリントを使用しない場合はあらかじめ使用しないことをアナウンスしたいと思います。
1H1300	栄養学	塩原由香	9割以上の方が主体的な授業への取り組み、授業の理解、物事を深く捉えることについて「強くそう思う・そう思う」と回答されていました。しっかりと授業や個人レポートにも取り組んでいただけたと感じています。また、授業資料の「誤字があり見えにくい」「穴埋めが多い」、「文字が小さい」という声もありましたので、そのあたりは皆さんに伺いながら、スピード感や大きさ等を修正していきますので、授業中に遠慮せず、お声がけいただければと思います。
1H1400	ラボラトリー・プラクティス	壹岐聖子	評価が高いことをうれしく思います。学生時に病院検査室で実際の検査工程を見て体験することは、看護師の仕事がいかに検査と深くかかわっているかを知るきっかけとなり、将来に生かされると信じています。

1I0400	看護の歴史	川原由佳里	授業では、一次史料や画像に触れる機会を多くすることで、歴史を身近に感じてもらうように工夫しています。興味関心を高めること、自分で考えて意見を言えるような授業としたいと考えています。
1L0301	精神保健看護学・理論	鷹野朋実	アンケートに協力いただきありがとうございました。 次年度以降の授業にこの結果をいかしていきます。 出席管理（遅刻を含む）については、大学の方針に沿って行きます。ご意見ありがとうございました。
1L0302	精神保健看護学・理論	鷹野朋実	アンケートに協力いただきありがとうございました。 次年度以降の授業にこの結果をいかしていきます。
1M0501	発達看護学Ⅱ①	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。 コメントいただいた授業スピードについて、十分な板書時間を確保するなど授業内容を検討します。 皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い授業にしていきます。
1M0502	発達看護学Ⅱ①	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。 コメントいただいた授業スピードについて、十分な板書時間を確保するなど授業内容を検討します。 皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い授業にしていきます。
1M0700	発達看護学Ⅲ①	坂口千鶴	発達看護学Ⅲ①の授業改善アンケートに回答頂き、ありがとうございます。多くの貴重なご意見、ご提案を頂き、感謝申し上げます。 ご意見の多くが授業資料の配布に関するもので、中には事前・事後シート提出期限に関する内容もありました。今後、皆様からのご意見やご提案の内容を、老年看護学教員間で共有、検討し、2024年度後期の授業に反映できるようにしたいと思います。 これからも何かお気づき点等ございましたら、いつでもお知らせください。どうぞよろしくお願い致します。
1N0100	プライマリーヘルスケア	井口 理	試験で記述問題のボリュームが大きかったことを負担に感じた方もいたようです。事前に対策についてお話していたのですが、今後は授業の中でも解説を重ねるように努めます。 授業の内容に興味をもっていただけない方もいたようなのと、その気持ちを開講期間中の質問や相談ではなく、このアンケートのみで記述されたことは残念に感じています。 今後に向けて、わかりやすい説明を心がけようと考えています。
1O0200	公衆衛生看護活動論	吉川悦子	アンケートにご回答いただきありがとうございます。とても良い評価をいただき、皆さんが熱心にこの講義に参加下さったことが伝わりました。いただいたご意見を今後の授業改善に活かしていきたいと思います。
1O0800	在宅看護学論Ⅱ	西田志穂	1. シラバスに記載されている授業日程と時間割を一致させて欲しいという意見について外部講師にご担当いただく日程調整により、予定していた授業内容の順番を入れ替えたことによる不一致についての意見だと考えられる。 授業1回目のオリエンテーションにて日程を提示して修正し、予習のための資料は1週間前にはグレксаにアップするようにしている。引き続きオリエンテーションでの説明を丁寧に行っていく。 2. 資料を印刷した際の見にくさについては、配慮していく。 3. 在宅看護学への興味は学生によってさまざまだと考えられるが、4年生の実習に向けて必要な知識である。実践経験を生かした方法をさらに検討していきたい。
1P0300	看護教育学Ⅰ	佐々木幾美・西田朋子	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。 事後学修のリフレクションペーパーでの質問に対して、次回の授業で説明していますが、よい評価をいただきましたので、時間を考慮しつつ、今後も継続していきます。 また、キャリアを考える機会についてもよい評価をいただいたので、次年度も同様の内容で展開していく予定です。レジュメについてはもう少し工夫をしていきます。
1R0200	国際看護学Ⅱ	織方 愛	アンケートの回答を有難うございました。 拝見し、教員の熱意やご自身の意欲的積極的な取り組みが満足度につながったことが読み取れました。 今後も改善を続けます。

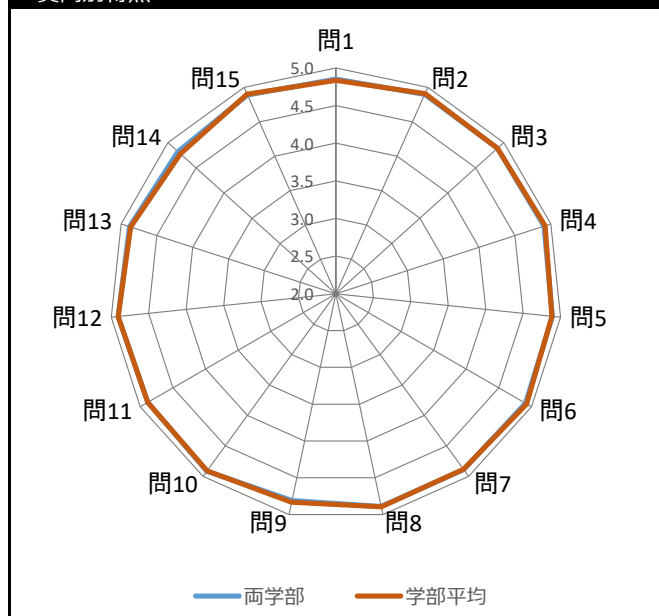
1R1101	災害看護学Ⅰ	橋爪朋子	<p>授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。</p> <p>自由記載では、良い点として、わかりやすかった、災害看護の基礎についてとても楽しく学べた、被災の具体的事例が挙げられており勉強になった、教員の熱意が伝わったなど、たくさん挙げていただきました。</p> <p>改善点としてのコメントはありませんでしたが、皆さんにもっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をしております。貴重な意見をありがとうございました。次年度に活かしてまいります。</p>
1R1102	災害看護学Ⅰ	橋爪朋子	<p>授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。</p> <p>自由記載では、良い点として、わかりやすかった、災害看護の基礎についてとても楽しく学べた、被災の具体的事例が挙げられており勉強になった、教員の熱意が伝わったなど、たくさん挙げていただきました。</p> <p>改善点としてのコメントは、先生にあてられるのがドキドキしてしまうので、事前に伝えてほしい、リフレクションのリマインドは未提出者のみにしてほしいなどのご意見がありました。発言しやすい環境を整え、リマインドに関しては、Glexaの新しい機能が使えるようになりましたので、未提出者のみのリマインダーの設定をしたいと思います。貴重な意見をありがとうございました。次年度に活かしてまいります。</p>
1U0100	公衆衛生看護活動展開論	吉川悦子	<p>アンケートにご回答いただきありがとうございます。全項目学部平均を上回る結果で、授業の内容が皆様にとって有用なものであったことがわかり、教員一同とても嬉しく思います。学生の皆さんも熱心にこの講義に参加下さったこと重ねて感謝申し上げます。</p>
1U0300	公衆衛生看護方法論	吉川悦子	<p>アンケートにご回答いただきありがとうございます。まず、回収率が100%であったことにも御礼申し上げます。机上の学習よりも、皆さん自身がグループワークを進める本講義スタイルでしたが、熱心に授業に取り組んでいただき、とても良い成果を出せたと思います。頂いたご意見は今後の授業改善に役立ててまいります。</p>

学部名	看護学部		履修者数	608	回答率	
			紙	523	86%	86%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 445 responses for '役に立った' and 71 for '役に立たなかった']						4.84	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 379 responses for '適切だった' and 104 for '適切ではなかった']						4.91	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 466 responses for '適切だった' and 50 for '適切ではなかった']						4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 377 responses for '適切だった' and 104 for '適切ではなかった']						4.92	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 466 responses for '興味をもち、深く学びたい' and 53 for '興味をもち、深く学びたいと感じることができなかった']						4.88	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 384 responses for '実践的なレベルで学ぶことができた' and 100 for '実践的なレベルで学ぶことができなかった']						4.93	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 467 responses for '適切だった' and 50 for '適切ではなかった']						4.89	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 472 responses for '適切だった' and 44 for '適切ではなかった']						4.89	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 453 responses for '適切だった' and 55 for '適切ではなかった']						4.83	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 478 responses for '熱意が伝わってきた' and 41 for '熱意が伝わってこなかった']						4.91	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 466 responses for '理解や反応を見ながら進め、質問しやすい' and 51 for '理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況がなかった']						4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 475 responses for '適切に回答した' and 46 for '適切に回答しなかった']						4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 463 responses for '事前学習をして臨んだ' and 49 for '事前学習をせずに臨んだ']						4.87	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 443 responses for '授業後に復習した' and 55 for '授業後に復習しなかった']						4.78	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 370 responses for 'プロセスを理解し、技術を行なえるようになった' and 103 for 'プロセスを理解し、技術を行なえるようになったことができなかった']						4.90	4.89
問1～15全問平均								4.88	4.88

■ 質問別得点



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答／不明

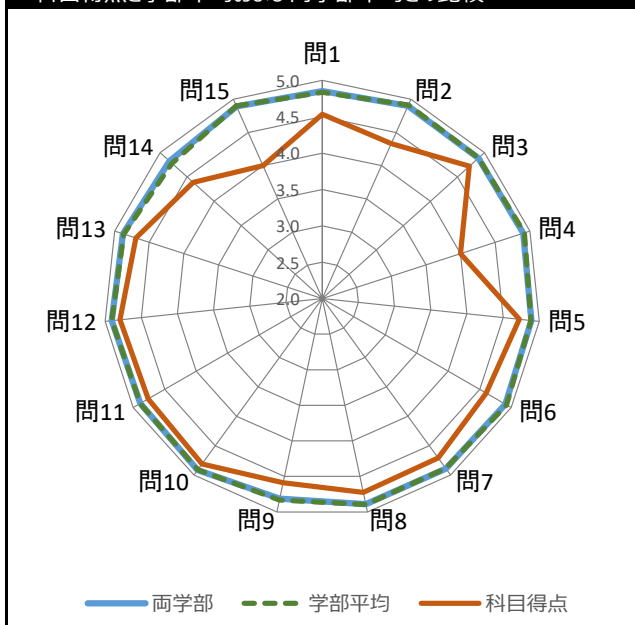
<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

科目名	看護学概論Ⅱ	[110200]	履修者数	149	回答率		
教員名	吉田 みつ子		回答紙	118	79.2%	79.2%	
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart: 71 (blue), 40 (green), 6 (yellow)]						4.53	4.84	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Stacked bar chart: 104 (white), 11 (grey)]						4.33	4.91	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Stacked bar chart: 86 (blue), 26 (green), 2 (yellow)]						4.72	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Stacked bar chart: 104 (white), 12 (grey)]						4.00	4.92	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Stacked bar chart: 87 (blue), 28 (green)]						4.72	4.88	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Stacked bar chart: 4 (blue), 100 (white), 13 (grey)]						4.60	4.93	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Stacked bar chart: 88 (blue), 24 (green), 5 (yellow)]						4.71	4.89	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Stacked bar chart: 89 (blue), 23 (green), 2 (yellow)]						4.72	4.89	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Stacked bar chart: 83 (blue), 23 (green), 8 (yellow)]						4.59	4.83	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart: 97 (blue), 18 (green)]						4.81	4.91	4.91
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Stacked bar chart: 91 (blue), 24 (green), 2 (yellow)]						4.76	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked bar chart: 93 (blue), 24 (green)]						4.79	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Stacked bar chart: 85 (blue), 28 (green), 4 (yellow)]						4.69	4.87	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	[Stacked bar chart: 72 (blue), 27 (green), 11 (yellow), 5 (orange)]						4.38	4.78	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Stacked bar chart: 103 (white), 13 (grey)]						4.00	4.90	4.89
問1～15全問平均								4.56	4.88	4.88

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

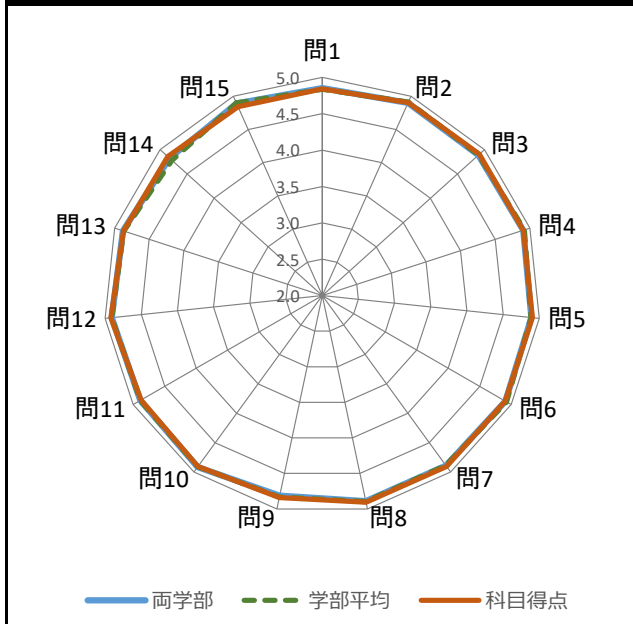
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護技術論Ⅱ①	[1J0201]	履修者数	68	回答率	
教員名	鬼頭 幸子		回答紙	63	92.6%	92.6%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 53 blue, 10 green]						4.84	4.84	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 57 blue, 6 green]						4.90	4.91	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 57 blue, 6 green]						4.90	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 57 blue, 6 green]						4.90	4.92	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 57 blue, 6 green]						4.90	4.88	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 57 blue, 6 green]						4.90	4.93	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 57 blue, 6 green]						4.90	4.89	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart: 57 blue, 6 green]						4.90	4.89	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 53 blue, 10 green]						4.84	4.83	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 57 blue, 6 green]						4.90	4.91	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 55 blue, 8 green]						4.87	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 58 blue, 5 green]						4.92	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 56 blue, 6 green]						4.87	4.87	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart: 56 blue, 6 green]						4.86	4.78	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 54 blue, 8 green]						4.84	4.90	4.89
問1～15全問平均								4.89	4.88	4.88

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答／不明

< 質問別回答内訳と得点 >

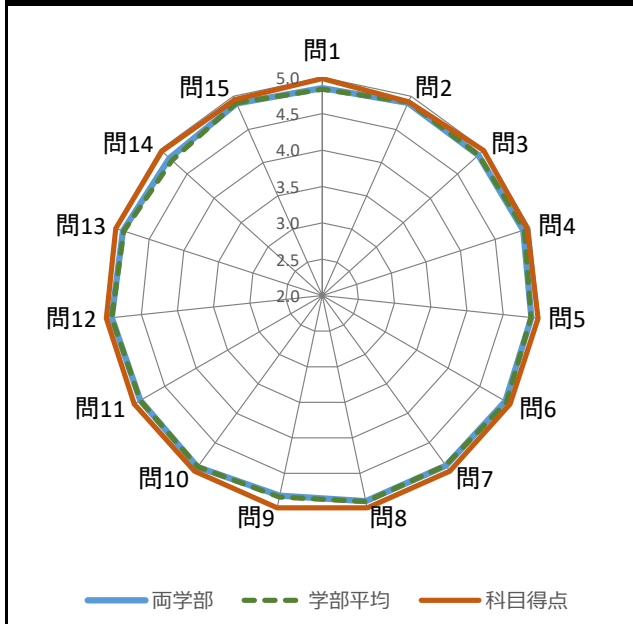
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護技術論Ⅱ①	[1J0202]	履修者数	69	回答率	
教員名	鬼頭 幸子		回答紙	60	87.0%	87.0%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	59							4.98	4.84	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	56						3	4.92	4.91	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	59							4.98	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	58						2	4.97	4.92	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	59							4.98	4.88	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	59							4.98	4.93	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	59							4.98	4.89	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	59							4.98	4.89	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	59							4.98	4.83	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	59							4.98	4.91	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	59							4.98	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	59							4.98	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	59							4.98	4.87	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	58						2	4.97	4.78	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	57						3	4.95	4.90	4.89
問1～15全問平均								4.97	4.88	4.88	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

< 質問別回答内訳と得点 >

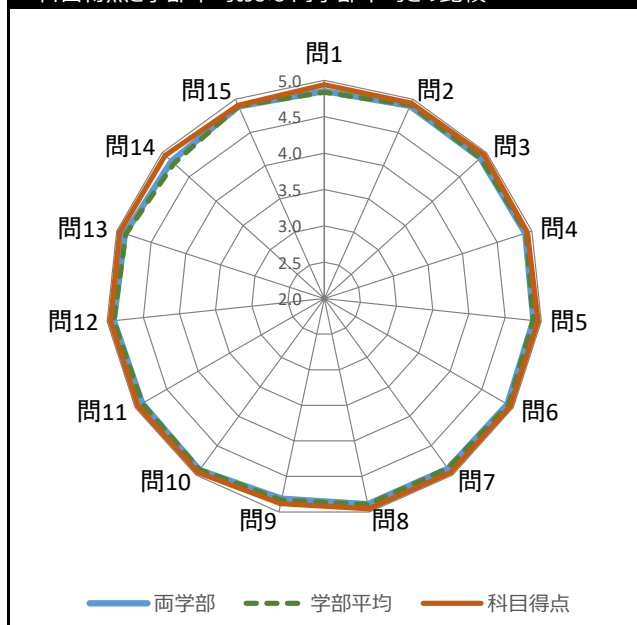
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護技術論Ⅲ②	[1J0501]	履修者数	68	回答率	
教員名	遠山 義人		回答紙	67	98.5%	98.5%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 63% '4' and 4% '5']						4	4.94	4.84	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 63% '4' and 4% '5']						4	4.94	4.91	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 64% '4' and 3% '5']						3	4.96	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 62% '4' and 4% '5']						4	4.94	4.92	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 64% '4' and 3% '5']						3	4.96	4.88	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 64% '4' and 3% '5']						3	4.96	4.93	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 64% '4' and 3% '5']						3	4.96	4.89	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 64% '4' and 3% '5']						3	4.96	4.89	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 61% '4' and 5% '5']						5	4.88	4.83	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 64% '4' and 3% '5']						3	4.96	4.91	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 64% '4' and 3% '5']						3	4.96	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 64% '4' and 3% '5']						3	4.96	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 64% '4' and 3% '5']						3	4.96	4.87	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 63% '4' and 4% '5']						4	4.94	4.78	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 61% '4' and 6% '5']						6	4.91	4.90	4.89
問1～15全問平均								4.94	4.88	4.88	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答／不明

< 質問別回答内訳と得点 >

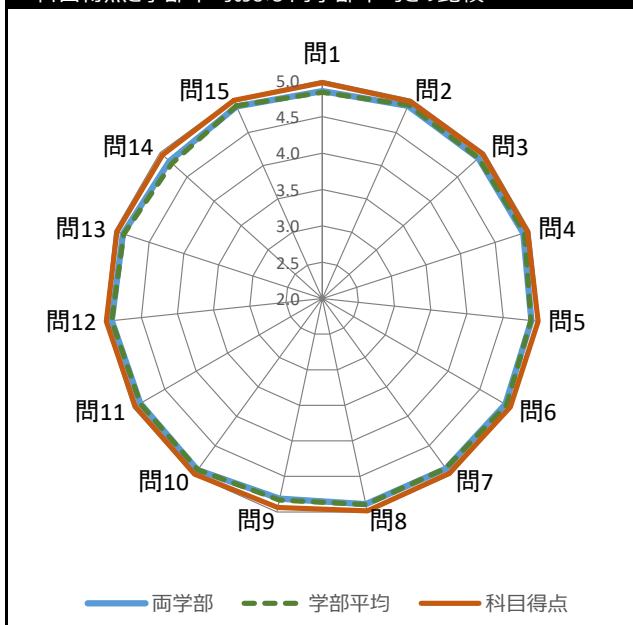
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護技術論Ⅲ②		[1J0502]	履修者数	68	回答率	
教員名	遠山 義人			回答数	紙	62	91.2%
学部	看護学部	授業形態	演習		WEB	0	0.0%
91.2%							

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 60% response]						2	4.97	4.84	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 60% response]						2	4.97	4.91	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 60% response]						2	4.97	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 60% response]						2	4.97	4.92	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 61% response]							4.98	4.88	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 61% response]							4.98	4.93	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 60% response]						2	4.97	4.89	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 61% response]							4.98	4.89	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 60% response]						2	4.94	4.83	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 61% response]							4.98	4.91	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 60% response]						2	4.97	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 61% response]							4.98	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 60% response]						2	4.97	4.87	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 59% response]						3	4.95	4.78	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 61% response]							4.98	4.90	4.89
問1～15全問平均								4.97	4.88	4.88	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答／不明

< 質問別回答内訳と得点 >

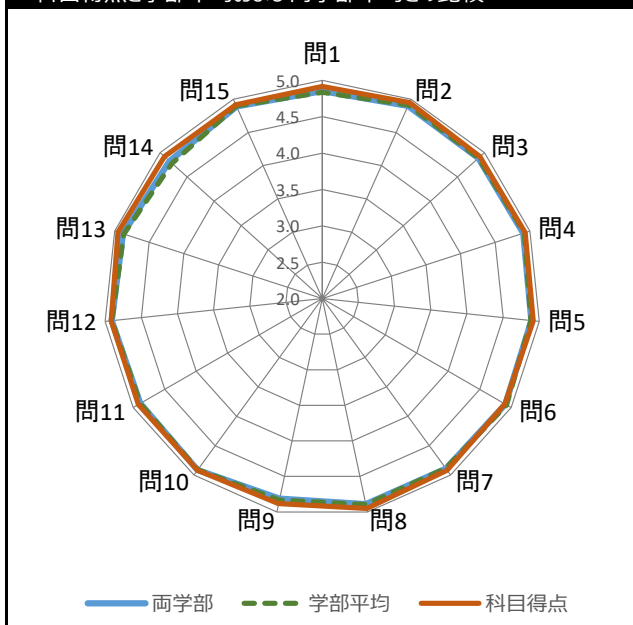
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	健康レベル別看護学演習 I		[1N0501]	履修者数	74	回答率	
教員名	河田 照絵			回答数	紙	60	81.1%
学部	看護学部	授業形態	演習		WEB	0	0.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 55% blue, 5% green]						5	4.92	4.84	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 57% blue, 3% green]						3	4.95	4.91	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 55% blue, 5% green]						5	4.92	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 56% blue, 4% green]						4	4.93	4.92	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 55% blue, 5% green]						5	4.92	4.88	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 55% blue, 4% green]						4	4.90	4.93	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 55% blue, 5% green]						5	4.92	4.89	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart: 57% blue, 3% green]						3	4.95	4.89	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 53% blue, 7% green]						7	4.88	4.83	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 55% blue, 5% green]						5	4.92	4.91	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 55% blue, 5% green]						5	4.92	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 55% blue, 5% green]						5	4.92	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 57% blue, 3% green]						3	4.95	4.87	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart: 55% blue, 5% green]						5	4.92	4.78	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 55% blue, 5% green]						5	4.92	4.90	4.89
問1～15全問平均								4.92	4.88	4.88	

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Dark Grey]	-	無回答／不明

< 質問別回答内訳と得点 >

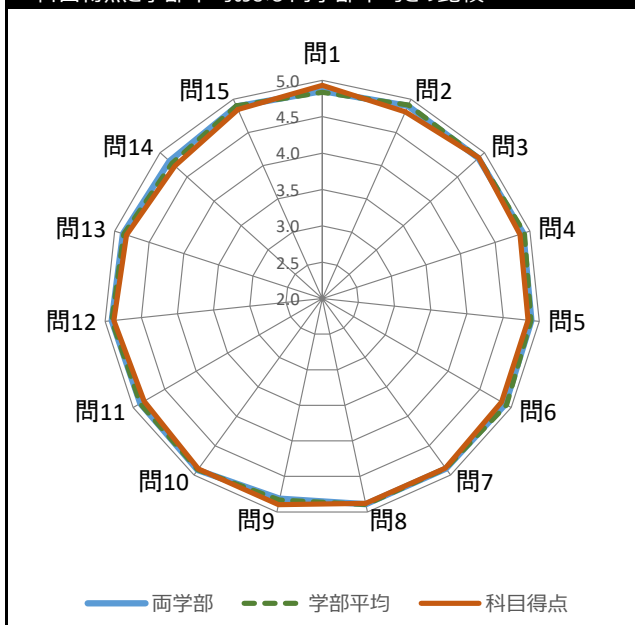
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	健康レベル別看護学演習 I		[1N0502]	履修者数	72	回答率	
教員名	河田 照絵			回答紙	58	80.6%	80.6%
学部	看護学部	授業形態	演習	回答数	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 54 responses for '4' and 4 for '5']						4.93	4.84	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 52 responses for '4' and 4 for '5']						4.81	4.91	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 53 responses for '4' and 4 for '5']						4.90	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 51 responses for '4' and 5 for '5']						4.86	4.92	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 51 responses for '4' and 6 for '5']						4.84	4.88	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 51 responses for '4' and 5 for '5']						4.84	4.93	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 51 responses for '4' and 7 for '5']						4.88	4.89	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 52 responses for '4' and 5 for '5']						4.88	4.89	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 52 responses for '4' and 6 for '5']						4.90	4.83	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 53 responses for '4' and 4 for '5']						4.90	4.91	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 49 responses for '4' and 6 for '5']						4.82	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 52 responses for '4' and 5 for '5']						4.88	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 51 responses for '4' and 4 for '5']						4.83	4.87	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 48 responses for '4' and 6 for '5']						4.72	4.78	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 50 responses for '4' and 7 for '5']						4.84	4.90	4.89
問1～15全問平均								4.86	4.88	4.88

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答／不明

< 質問別回答内訳と得点 >

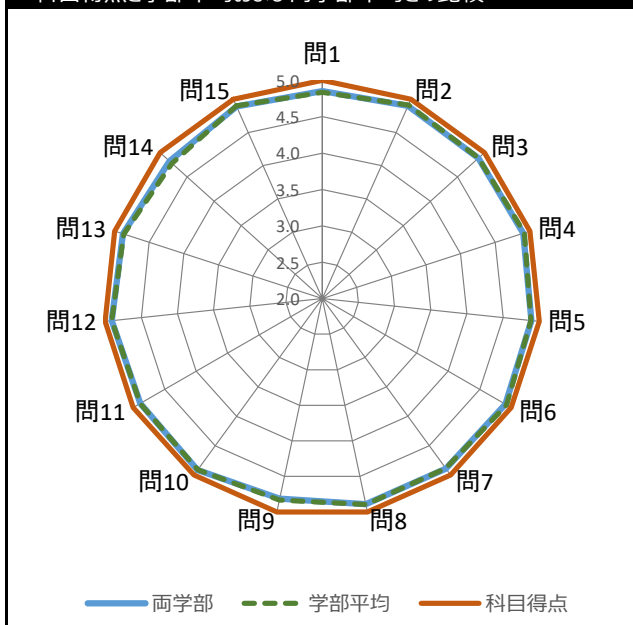
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	国際看護学演習		[1R0300]	履修者数	12	回答率	
教員名	織方 愛			回答数	紙	11	91.7%
学部	看護学部	授業形態	演習		WEB	0	0.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	11						5.00	4.84	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	11						5.00	4.91	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	11						5.00	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	11						5.00	4.92	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	11						5.00	4.88	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	11						5.00	4.93	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	11						5.00	4.89	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	11						5.00	4.89	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。	11						5.00	4.83	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。	11						5.00	4.91	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11						5.00	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11						5.00	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	11						5.00	4.87	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	11						5.00	4.78	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	11						5.00	4.90	4.89
問1～15全問平均								5.00	4.88	4.88

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

< 質問別回答内訳と得点 >

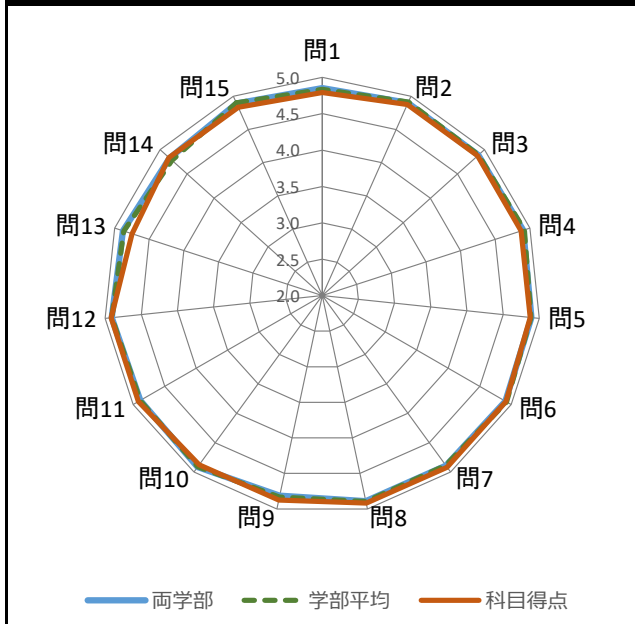
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	災害看護活動論Ⅱ		[1R0700]	履修者数	28	回答率	
教員名	橋爪 朋子			回答紙	24	85.7%	85.7%
学部	看護学部	授業形態	演習	回答数	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			19			5	4.79	4.84	4.85
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。			21			3	4.88	4.91	4.90
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。			21			3	4.88	4.89	4.89
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。			21			3	4.88	4.92	4.91
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。			21			3	4.88	4.88	4.89
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。			22			2	4.92	4.93	4.91
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。			22			2	4.92	4.89	4.89
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。			22			2	4.92	4.89	4.89
9	演習の時間配分は適切だった。			21			3	4.88	4.83	4.81
10	教員の熱意が伝わってきた。			21			3	4.88	4.91	4.91
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。			22			2	4.92	4.89	4.89
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。			22			2	4.92	4.91	4.91
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。			20		2	2	4.75	4.87	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。			21		2	1	4.83	4.78	4.82
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。			20			4	4.83	4.90	4.89
問1～15全問平均								4.87	4.88	4.88

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 （3%未満は非表示）
 ・科目得点アミガケは
 科目得点 ≤ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1I0200	看護学概論Ⅱ	吉田みつ子	4年生の総合実習を終えて、みなさんが看護について改めて考えを深め、ディカッションする機会となる授業になりました。私たち教員も、ともに考え、学ぶ機会になりましたことを感謝しています。グループワークの人数について、話し合いを進めたり資料を作成するには6名では多すぎる、4人くらいがよいというご意見をいただきました。今後に生かしていきたいと思います。
1I0200	看護学概論Ⅱ	吉田みつ子	4年生の総合実習を終えて、みなさんが看護について改めて考えを深め、ディカッションする機会となる授業になりました。私たち教員も、ともに考え、学ぶ機会になりましたことを感謝しています。グループワークの人数について、話し合いを進めたり資料を作成するには6名では多すぎる、4人くらいがよいというご意見をいただきました。今後に生かしていきたいと思います。
1J0201	看護技術論Ⅱ①	鬼頭幸子	授業改善アンケートに回答してくださいましてありがとうございました。皆さんが、楽しく学んでくださったことをとても嬉しく思います。フィジカルアセスメントの授業は、フィジカルイグザムの技術を修得することと、得られた情報をもとにアセスメントを考えることの両方が求められるため、難しさもあったと思いますが、とても熱心に学んでくださったと感じています。これからも皆さんが興味関心を持って学ぶことができる授業を目指して取り組んでまいります。
1J0202	看護技術論Ⅱ①	鬼頭幸子	授業改善アンケートに回答してくださいましてありがとうございました。皆さんが、楽しく学んでくださったことをとても嬉しく思います。フィジカルアセスメントの授業は、フィジカルイグザムの技術を修得することと、得られた情報をもとにアセスメントを考えることの両方が求められるため、難しさもあったと思いますが、とても熱心に学んでくださったと感じています。これからも皆さんが興味関心を持って学ぶことができる授業を目指して取り組んでまいります。
1J0501	看護技術論Ⅲ②	遠山義人	授業改善アンケートへご回答いただきありがとうございます。 皆さんが一所懸命にかつ楽しく取り組んでいただけたということが演習中の雰囲気、そしてアンケート結果より伝わり、担当教員一同とても嬉しく感じております。 授業時間内外での実技実施の時間についてももう少し確保できるとよいというご意見もいただいております。限られた演習時間の中で皆さんが実際に身体を動かし技術身につけることができるようプログラムを工夫していきたいと思います。合わせて、演習時間外でもオフィスアワー等で実際に練習ができる環境を整えていきたいと思います。 また、患者さんへの声かけのお手本を見たいというご意見もいただきました。学生さん自身で用いる言葉・関わり方を考え創っていくことも大切にしつつ、一つの例として教員のデモンストレーションの時間を確保することも今後検討してまいります。 本科目では、「技術を通して相手をケアするとはどういうことか」、という視点で一緒に走ってまいりました。皆さんにとって本演習が、方法を知ることだけでなく看護技術の大事な部分を感じ考える時間となっていると嬉しいです。これからも教員と一緒により良い看護を考えていきましょう。 この度はたくさんのご感想をありがとうございました。

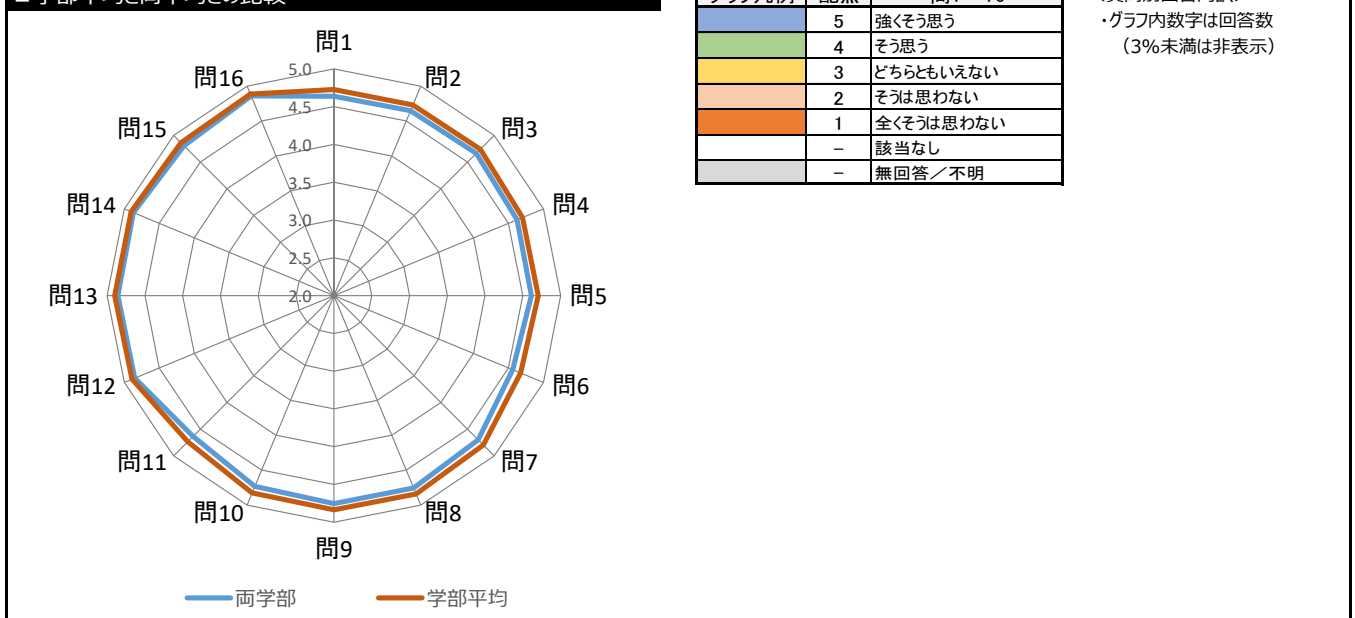
1J0502	看護技術論Ⅲ②	遠山義人	<p>授業改善アンケートへご回答いただきありがとうございました。</p> <p>皆さんが一所懸命にかつ楽しく取り組んでいただけたということが演習中の雰囲気、そしてアンケート結果より伝わり、担当教員一同とても嬉しく感じております。</p> <p>授業時間内外での実技実施の時間についてももう少し確保できるとよいというご意見もいただいております。限られた演習時間の中で皆さんが実際に身体を動かし技術身に着けることができるようプログラムを工夫していきたいと思います。合わせて、演習時間外でもオフィスアワー等で実際に練習ができる環境を整えていきたいと思います。</p> <p>また、リフレクションを無記名にした方が良いというご意見もいただきました。お互いのリフレクション内容を見ることでの学びもありますが、表現しにくいこともあったのだと思います。目的に合わせて検討していきたいと思います。</p> <p>本科目では、「技術を通して相手をケアするとはどういうことか」、という視点で一緒に走ってまいりました。皆さんにとって本演習が、方法を知ることだけでなく看護技術の大事な部分を感じ考える時間となっていると嬉しいです。</p> <p>この度はたくさんのご感想をありがとうございました。</p>
1N0501	健康レベル別看護学演習Ⅰ	河田照絵	<p>授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。</p> <p>みなさんが演習に意欲的・積極的に取り組んでいたと高く評価できていることがわかりました。講義・演習内容についても少人数制で学習することで相談、質問等がしやすく皆さんの積極的な参加につながったと思います。幅広く多くの内容を学ぶ演習科目でしたが、今後の実習や実践につながっていくことを期待しております。</p>
1N0502	健康レベル別看護学演習Ⅰ	河田照絵	<p>授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。</p> <p>みなさんが演習に意欲的・積極的に取り組んでいたと高く評価できていることがわかりました。講義・演習内容についても少人数制で学習することで相談、質問等がしやすく皆さんの積極的な参加につながったと思います。幅広く多くの内容を学ぶ演習科目でしたが、今後の実習や実践につながっていくことを期待しております。</p>
1R0300	国際看護学演習	織方 愛	<p>アンケートの回答を有難うございました。</p> <p>観光では体験できないことが、この演習を通して経験できたとのこと、良かったです。</p> <p>2018年3月以来、6年ぶりの渡航となり、良いプログラムとなるように進めてきましたが、良い経験ができた、楽しかったというコメントがあり教員一同大変うれしく思っております。</p> <p>今後もより良いプログラムになるようにします。</p>
1R0700	災害看護活動論Ⅱ	橋爪朋子	<p>授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。</p> <p>自由記載としてのコメントはありませんでしたが、皆さんにもっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をしてみたいです。</p>

学部名	看護学部			履修者数		1248	回答率	
				回答数	紙	803	64%	64%
					WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q1]						4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q2]						4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q3]						4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q4]						4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q5]						4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q6]						4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q7]						4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q8]						4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q9]						4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q10]						4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q11]						4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing distribution of responses for Q12]						4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q13]						4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing distribution of responses for Q14]						4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q15]						4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q16]						4.89	4.86
問1～16全問平均								4.80	4.72

■ 学部平均と両平均との比較

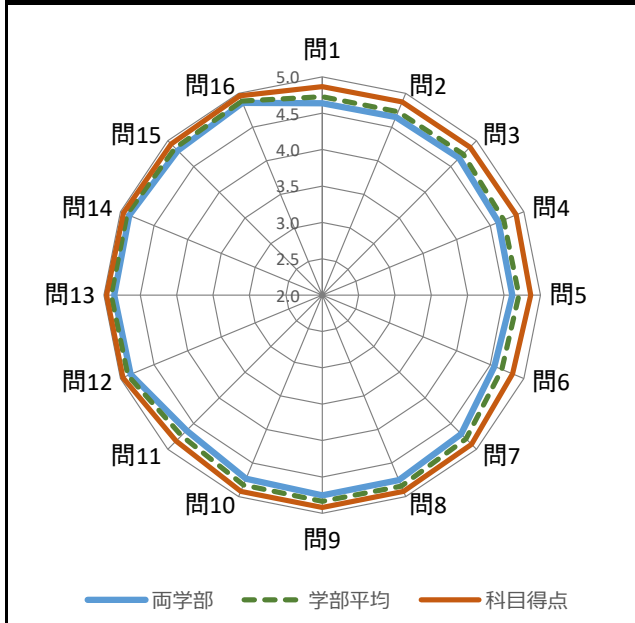


科目名	看護援助論実習[レベルⅠ]	[1S0100]	履修者数	134	回答率		
教員名	川原 由佳里		回答数	紙	112	84%	84%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 100% response]						10	4.87	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 101% response]						10	4.88	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 101% response]						9	4.88	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart showing 100% response]						11	4.88	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 100% response]						10	4.87	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 98% response]						11	4.83	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 103% response]						8	4.90	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 104% response]						7	4.92	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 104% response]						7	4.92	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart showing 104% response]						7	4.92	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 100% response]						8	4.84	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 108% response]						4	4.96	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 108% response]						4	4.96	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 108% response]						4	4.96	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing 105% response]						7	4.94	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 108% response]						4	4.96	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.91	4.80	4.72	

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

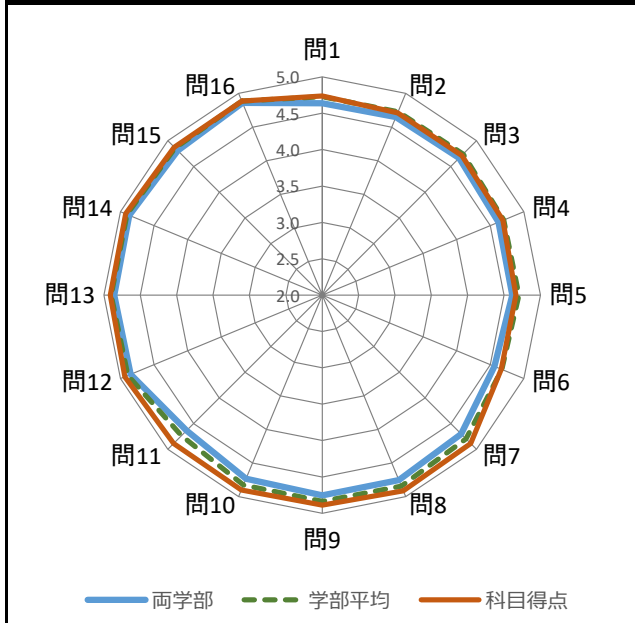
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕		[1S0300]	履修者数	136	回答率	
教員名	精神保健看護学			回答数	紙	80	59%
学部	看護学部	授業形態	実習		WEB	0	0%
59%							

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 68% blue, 6% green, 4% yellow, 4% orange]						4.74	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 66% blue, 8% green, 4% yellow, 4% orange]						4.71	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 67% blue, 8% green, 4% yellow, 4% orange]						4.71	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 67% blue, 6% green, 3% yellow, 3% orange]						4.69	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 66% blue, 8% green, 3% yellow, 3% orange]						4.66	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 64% blue, 8% green, 5% yellow, 3% orange]						4.66	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 73% blue, 6% green]						4.89	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 75% blue, 3% green]						4.91	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 72% blue, 7% green]						4.89	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 73% blue, 6% green]						4.90	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 72% blue, 7% green]						4.89	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 75% blue, 5% green]						4.94	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 75% blue, 4% green]						4.91	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 74% blue, 6% green]						4.93	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing 71% blue, 8% green]						4.88	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 72% blue, 5% green]						4.89	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.82	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

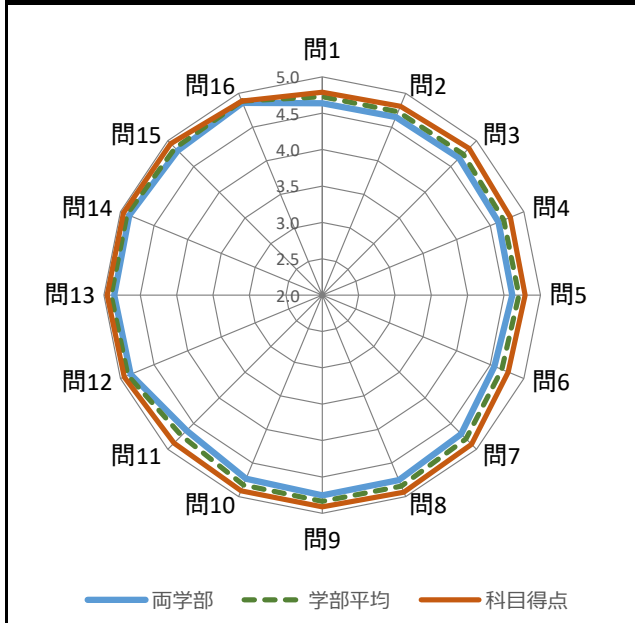
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学Ⅱ実習〔レベルⅢ〕		[1S0500]	履修者数	136	回答率	
教員名	江本 リナ			回答数	紙	90	66%
学部	看護学部	授業形態	実習		WEB	0	0%
66%							

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 76% blue, 11% green, 13% orange]						4.79	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 73% blue, 15% green, 12% orange]						4.81	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 77% blue, 11% green, 12% orange]						4.85	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart showing 77% blue, 9% green, 14% orange]						4.80	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 77% blue, 10% green, 13% orange]						4.79	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 72% blue, 15% green, 13% orange]						4.77	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 82% blue, 7% green, 11% orange]						4.90	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 84% blue, 6% green, 10% orange]						4.93	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 82% blue, 8% green, 10% orange]						4.91	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart showing 82% blue, 8% green, 10% orange]						4.91	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 80% blue, 9% green, 11% orange]						4.88	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 85% blue, 5% green, 10% orange]						4.94	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 86% blue, 4% green, 10% orange]						4.96	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 86% blue, 4% green, 10% orange]						4.96	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing 85% blue, 5% green, 10% orange]						4.94	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 82% blue, 7% green, 11% orange]						4.89	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.88	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

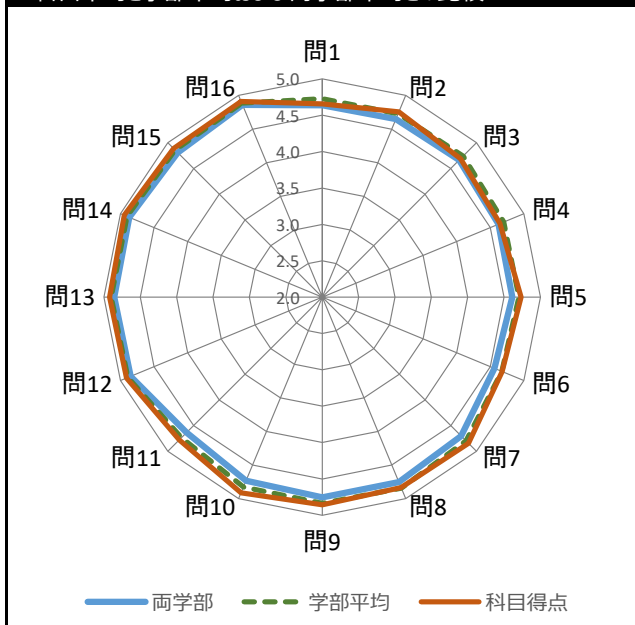
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	発達看護学Ⅲ実習〔レベルⅢ〕		[1S0600]	履修者数	135	回答率	
教員名	老年看護学			回答数	紙	90	67%
学部	看護学部	授業形態	実習		WEB	0	0%
67%							

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree', 6% 'Agree', 5% 'Disagree', 15% 'Strongly disagree']						4.66	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree', 8% 'Agree', 4% 'Disagree', 12% 'Strongly disagree']						4.76	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 73% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 4% 'Disagree', 13% 'Strongly disagree']						4.69	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 4% 'Disagree', 14% 'Strongly disagree']						4.64	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 75% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 1% 'Disagree', 14% 'Strongly disagree']						4.73	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 4% 'Disagree', 13% 'Strongly disagree']						4.68	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 78% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 1% 'Disagree', 11% 'Strongly disagree']						4.84	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 79% 'Strongly agree', 8% 'Agree', 1% 'Disagree', 12% 'Strongly disagree']						4.83	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 77% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 1% 'Disagree', 9% 'Strongly disagree']						4.86	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 82% 'Strongly agree', 8% 'Agree', 1% 'Disagree', 9% 'Strongly disagree']						4.91	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 4% 'Disagree', 10% 'Strongly disagree']						4.78	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 82% 'Strongly agree', 8% 'Agree', 1% 'Disagree', 9% 'Strongly disagree']						4.91	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 84% 'Strongly agree', 5% 'Agree', 1% 'Disagree', 10% 'Strongly disagree']						4.92	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 85% 'Strongly agree', 5% 'Agree', 1% 'Disagree', 9% 'Strongly disagree']						4.94	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing 80% 'Strongly agree', 10% 'Agree', 1% 'Disagree', 9% 'Strongly disagree']						4.89	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 82% 'Strongly agree', 8% 'Agree', 1% 'Disagree', 9% 'Strongly disagree']						4.91	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.81	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

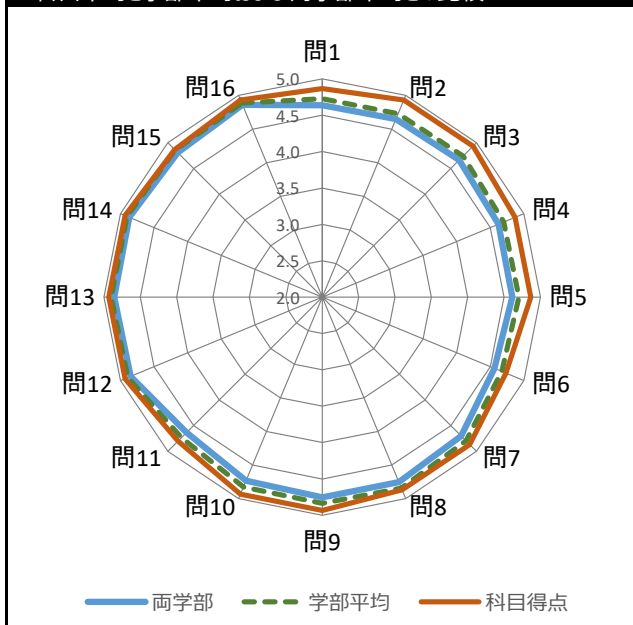
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1(精神)	[1S0801]	履修者数	34	回答率	
教員名	精神保健看護学		回 答 数	紙 15	44%	44%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 12 blue, 2 green, 1 orange]						4.73	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 12 blue, 3 green]						4.80	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.89	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

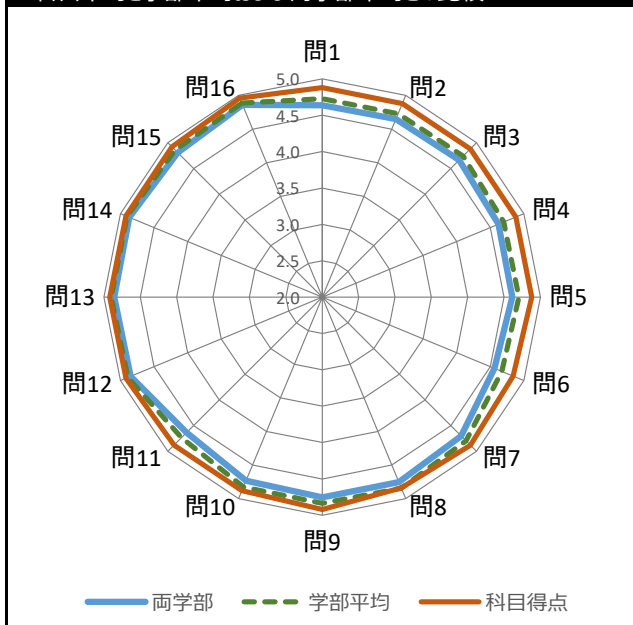
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1(母性)	[1S0802]	履修者数	33	回答率		
教員名	新田 真弓		回答紙	25	76%	76%	
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0%		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 21 blue, 4 green]						4.84	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 22 blue, 2 green, 1 orange]						4.84	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 23 blue, 2 green]						4.92	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 23 blue, 2 green]						4.92	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 23 blue, 2 green]						4.92	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 23 blue, 2 green]						4.92	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 23 blue, 2 green]						4.92	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 24 blue, 1 green]						4.96	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.89	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

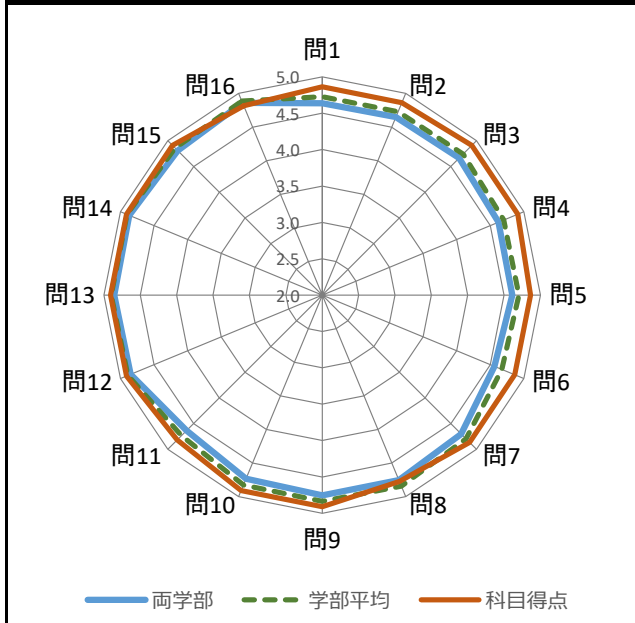
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1(小児)	[1S0803]	履修者数	34	回答率		
教員名	江本 リナ		回答数	紙	22	65%	65%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0% 20% 40% 60% 80% 100%			科目得点 学部平均 両学部		
		回答数	割合	配点	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	19	56%	3	4.86	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	19	56%	3	4.86	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	20	59%	2	4.91	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	20	59%	2	4.91	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	19	56%	3	4.86	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	19	56%	3	4.86	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	19	56%	3	4.86	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	18	53%	3	4.77	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	20	59%	2	4.91	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	20	59%	2	4.91	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	18	53%	4	4.82	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	20	59%	2	4.91	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	20	59%	2	4.91	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	20	59%	2	4.91	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	20	59%	2	4.91	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	19	56%	2	4.82	4.89	4.86
問1～16全問平均					4.88	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

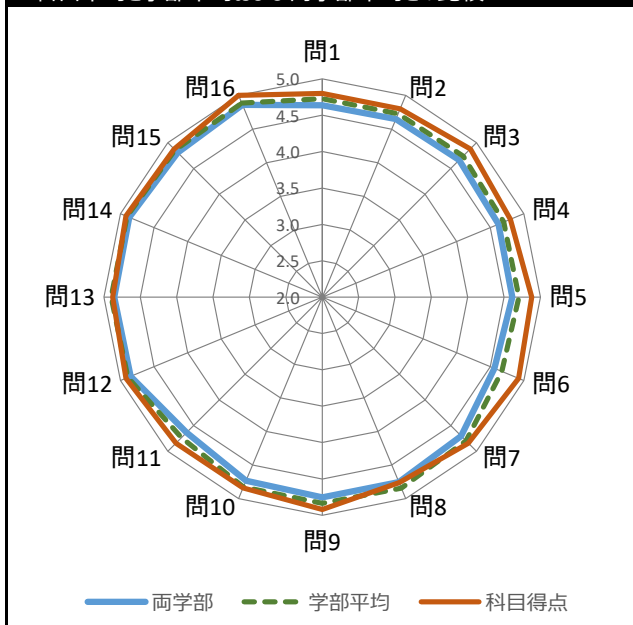
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1(老年)	[1S0804]	履修者数	34	回答率	
教員名	老年看護学		回 答 数	紙 25	74%	74%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 21 blue, 3 green, 1 yellow]						4.80	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 21 blue, 3 green, 1 yellow]						4.80	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 21 blue, 3 green, 1 yellow]						4.80	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 23 blue, 2 green]						4.92	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 22 blue, 2 green, 1 yellow]						4.84	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 21 blue, 2 green, 2 yellow]						4.76	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 23 blue, 2 green]						4.92	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 22 blue, 2 green, 1 yellow]						4.84	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 21 blue, 4 green]						4.84	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 23 blue, 2 green]						4.92	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 23 blue, 2 green]						4.92	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 22 blue, 3 green]						4.88	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 25 blue]						5.00	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.87	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

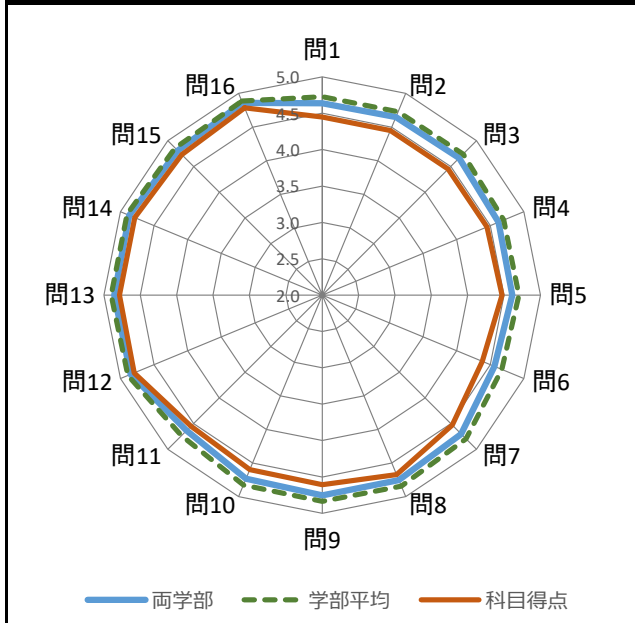
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]-2	[1S0900]	履修者数	142	回答率	
教員名	地域看護学		回答紙	89	63%	63%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 51% Blue, 28% Green, 9% Yellow]						4.45	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 50% Blue, 30% Green, 8% Yellow]						4.45	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 52% Blue, 25% Green, 12% Yellow]						4.45	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 53% Blue, 24% Green, 11% Yellow]						4.45	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 53% Blue, 27% Green, 7% Yellow]						4.47	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 51% Blue, 26% Green, 7% Yellow, 5% Orange]						4.38	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 59% Blue, 23% Green, 5% Yellow]						4.53	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 63% Blue, 22% Green, 3% Yellow, 2% Orange]						4.67	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 63% Blue, 20% Green, 4% Yellow, 3% Orange]						4.61	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 63% Blue, 20% Green, 3% Yellow, 3% Orange]						4.60	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 61% Blue, 22% Green, 4% Yellow, 3% Orange]						4.55	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 71% Blue, 18% Green]						4.80	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 72% Blue, 15% Green]						4.79	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 70% Blue, 19% Green]						4.79	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 68% Blue, 19% Green]						4.73	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 73% Blue, 14% Green]						4.79	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.59	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

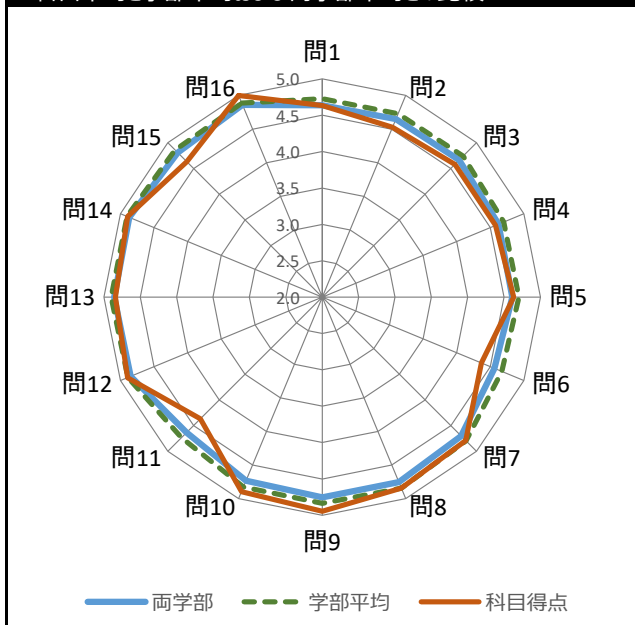
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(基礎・成人)[急性期・慢性期]日赤医療センター/武蔵野/大森/みなと [1S1001]		履修者数	49	回答率	
教員名	佐々木/本庄/河田/西田(朋)/田代(幸)/山崎/小川・三浦/山中/佐藤/渡邊・安部/鬼頭/守谷・川原/細野/桑原		回答数	紙 19	39%	39%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 15 blue, 2 green, 1 yellow, 1 orange]						4.63	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 15 blue, 3 yellow, 1 orange]						4.53	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 15 blue, 4 yellow]						4.58	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 14 blue, 2 green, 3 yellow]						4.58	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 14 blue, 4 green, 1 orange]						4.63	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 11 blue, 4 green, 4 yellow]						4.37	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 16 blue, 2 green, 1 orange]						4.79	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 17 blue, 1 green, 1 orange]						4.84	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 17 blue, 1 green, 1 orange]						4.94	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 17 blue, 2 green]						4.89	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 14 blue, 2 green, 1 yellow, 2 orange]						4.37	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 17 blue, 2 green]						4.89	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 16 blue, 3 green]						4.84	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 17 blue, 2 green]						4.89	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing 15 blue, 2 green, 1 yellow, 1 orange]						4.63	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 19 blue]						5.00	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.71	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

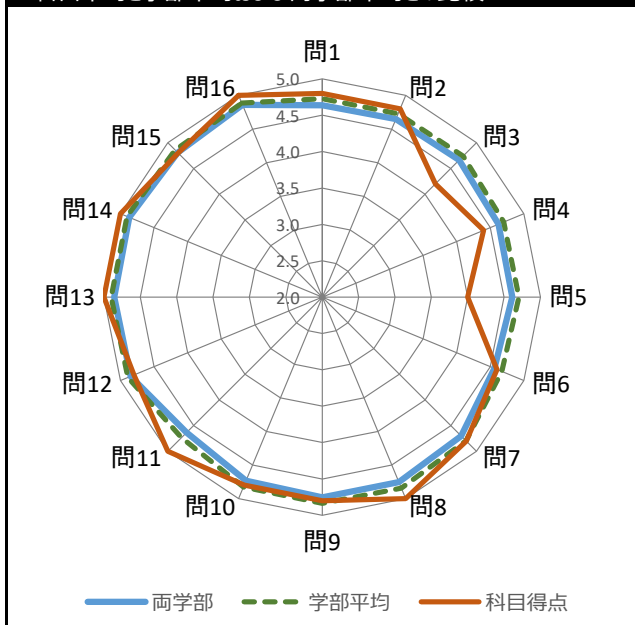
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(精神保健)	[1S1002]	履修者数	14	回答率	
教員名	精神保健看護学		回答数	紙 5	36%	36%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 4 blue, 1 green]						4.80	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 4 blue, 1 green]						4.80	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 2 blue, 2 green, 1 yellow]						4.20	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 3 blue, 1 green, 1 yellow]						4.40	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 3 blue, 1 yellow, 1 orange]						4.00	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 3 blue, 2 green]						4.60	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 4 blue, 1 green]						4.80	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 5 blue]						5.00	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 4 blue, 1 green]						4.80	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 4 blue, 1 green]						4.80	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 5 blue]						5.00	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 4 blue, 1 green]						4.80	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 5 blue]						5.00	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 5 blue]						5.00	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 4 blue, 1 green]						4.80	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 5 blue]						5.00	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.74	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

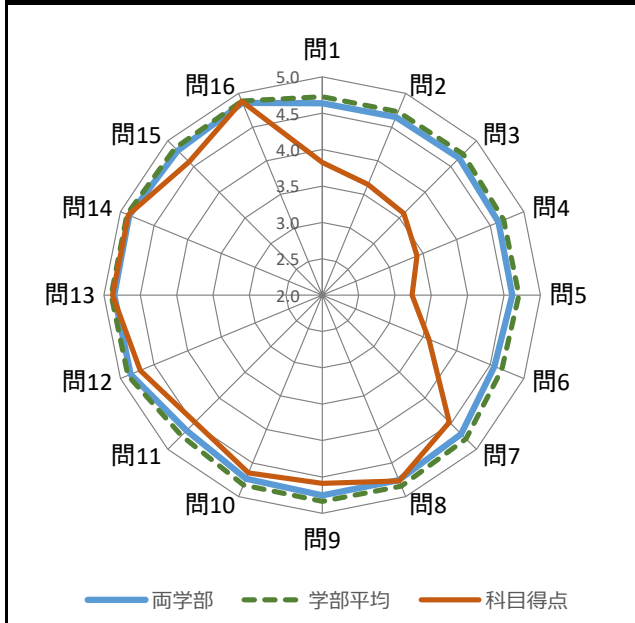
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(母性)[ハイリスク]/看護学総合実習(母性)[母子]		[1S1003]	履修者数	24	回答率	
教員名	新田 真弓			回答数	紙 17	71%	71%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	8	4	2	3			3.82	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	7	5	2	3			3.65	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	6	5	2	1	3		3.59	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	6	3	4	4			3.41	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	6	3	1	3	4		3.24	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	6	4	3	2	2		3.59	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	12	2	2	1			4.47	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	14	2	1				4.76	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	11	5	1				4.59	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	13	3	1				4.65	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	14	3					4.47	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	12	5					4.71	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	15	2					4.88	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	15	2					4.88	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	11	5	1				4.59	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	15	2					4.88	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.26	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	該当なし
Grey	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

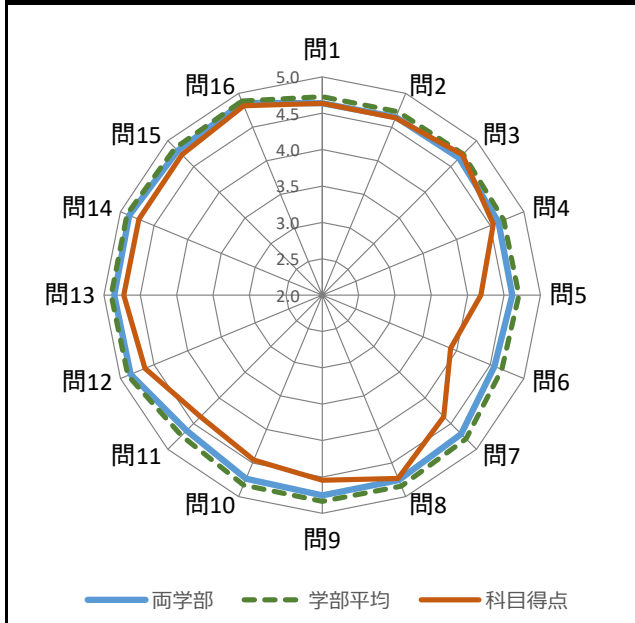
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(小児)	[1S1004]	履修者数	16	回答率	
教員名	小児看護学		回答紙	11	69%	69%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 7 blue, 4 green]						4.64	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 7 blue, 3 green, 1 yellow]						4.55	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 4 blue, 5 green, 2 yellow]						4.18	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 4 blue, 4 green, 1 yellow, 2 orange]						3.91	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 6 blue, 3 green, 2 yellow]						4.36	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 7 blue, 3 green, 1 yellow]						4.55	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 6 blue, 4 green, 1 yellow]						4.45	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 5 blue, 5 green, 1 yellow]						4.36	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 7 blue, 4 green]						4.64	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.55	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

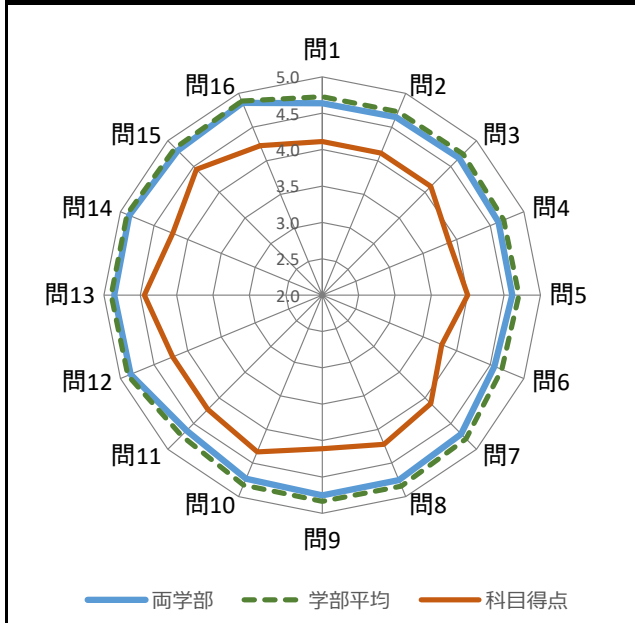
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(老年)	[1S1005]	履修者数	16	回答率	
教員名	老年看護学		回答数	紙	9	56%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0%
					56%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0% 20% 40% 60% 80% 100%				科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	3	4	2		4.11	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	3	4	2		4.11	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	3	4	2		4.11	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	1	6	2		3.89	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	3	4	1	1	4.00	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	1	6	1	1	3.78	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	3	4	2		4.11	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	3	5	1		4.22	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	3	4	2		4.11	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	4	4	1		4.33	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	3	5	1		4.22	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	4	3	2		4.22	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5	3	1		4.44	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	4	3	2		4.22	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5	3	1		4.44	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	4	3	2		4.22	4.89	4.86
問1～16全問平均						4.16	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

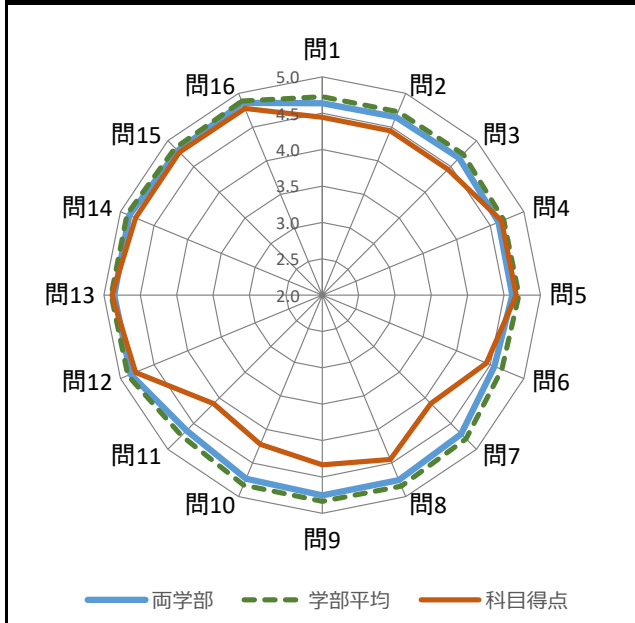
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(地域)	[1S1006]	履修者数	13	回答率		
教員名	地域看護学		回答紙	9	69%	69%	
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0%		

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 6 blue, 2 green, 1 orange]						4.44	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 6 blue, 2 green, 1 orange]						4.44	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 6 blue, 2 green, 1 orange]						4.44	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart showing 6 blue, 3 green]						4.67	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 7 blue, 1 green, 1 orange]						4.67	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 6 blue, 2 green, 1 orange]						4.44	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 5 blue, 2 green, 1 orange, 1 red]						4.11	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 6 blue, 2 green, 1 orange]						4.44	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 6 blue, 1 green, 1 orange, 1 red]						4.33	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart showing 5 blue, 3 green, 1 orange]						4.22	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 5 blue, 2 green, 1 orange, 1 red]						4.11	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 7 blue, 2 green]						4.78	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 8 blue, 1 green]						4.89	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 7 blue, 2 green]						4.78	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart showing 7 blue, 2 green]						4.78	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 7 blue, 2 green]						4.78	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.52	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

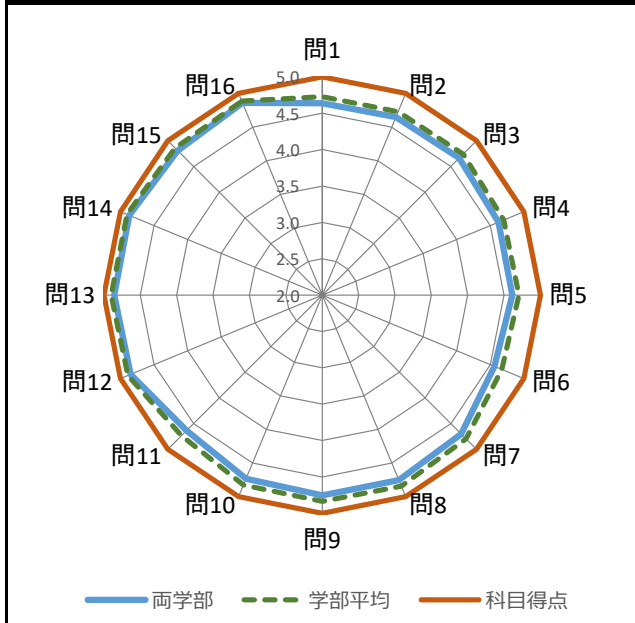
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(国際)	[1S1007]	履修者数	3	回答率	
教員名	織方 愛		回答数	紙 3	100%	100%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			3				5.00	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。			3				5.00	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			3				5.00	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。			3				5.00	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。			3				5.00	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。			3				5.00	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			3				5.00	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。			3				5.00	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			3				5.00	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。			3				5.00	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。			3				5.00	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。			3				5.00	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。			3				5.00	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。			3				5.00	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。			3				5.00	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。			3				5.00	4.89	4.86
問1～16全問平均								5.00	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	該当なし
■	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

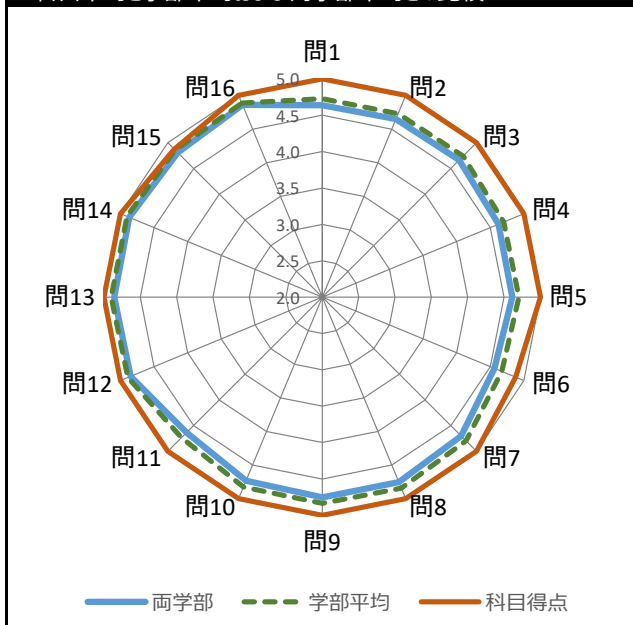
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(基礎・成人)[緩和ケア]	[1S1010]	履修者数	8	回答率	
教員名	遠山 義人		回答数	紙 8	100%	100%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	8							5.00	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	8							5.00	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	8							5.00	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	8							5.00	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	8							5.00	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	7					1		4.88	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	8							5.00	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	8							5.00	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	8							5.00	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	8							5.00	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	8							5.00	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	8							5.00	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	8							5.00	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	8							5.00	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	7					1		4.88	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	8							5.00	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.98	4.80	4.72	

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

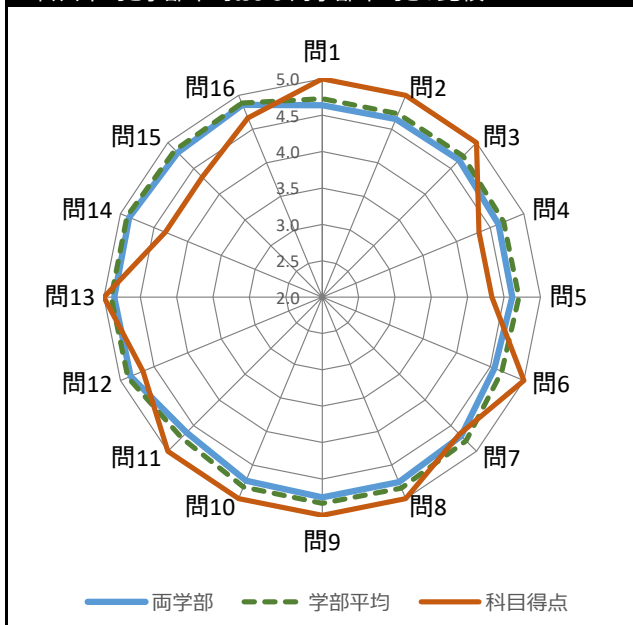
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(救急(災害))	[1S1011]	履修者数	6	回答率		
教員名	橋爪 朋子		回答数	紙	3	50%	50%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	3						5.00	4.73	4.64
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	3						5.00	4.73	4.65
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	3						5.00	4.74	4.66
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	2		1				4.33	4.70	4.62
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	2		1				4.33	4.70	4.61
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	3						5.00	4.67	4.56
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	2		1				4.67	4.79	4.70
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	2		1				5.00	4.84	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	3						5.00	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	3						5.00	4.83	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	3						5.00	4.73	4.64
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	2		1				4.67	4.89	4.85
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	3						5.00	4.90	4.86
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	2		1				4.33	4.90	4.87
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	2		1				4.33	4.86	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。	2		1				4.67	4.89	4.86
問1～16全問平均								4.77	4.80	4.72

■ 科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1S0100	看護援助論実習〔レベルⅠ〕	川原由佳里	患者さんを受けもつという経験を通じて、それぞれに大きく成長されたのではないかと思います。感想では、教員のサポートによって、不安が安心感に変わった、楽しむことができた、のびのびとやれた、学びになった、非常に勉強になった、有意義だった、などのコメントをいただいています。みなさんにとって実習が良い経験になったことをうれしく思います。
1S0200	看護援助論実習〔レベルⅡ〕	三浦英恵	実習改善アンケートへのご協力をありがとうございました。体調管理に努め、積極的に実習に臨んでくださったことや多くの学びを得たことがわかりました。今後も、教員や実習指導者からの具体的なアドバイスや助言、統一した対応、相談しやすい雰囲気をつくり、学生の皆様の状況に合わせた指導ができるようにしていきたいと思います。記録用紙に対する意見もいただきました。改善できる範囲で検討していきたいと思います。
1S0300	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕	鷹野朋実	精神保健看護学実習レベルⅢについて、貴重なフィードバックをいただき、ありがとうございます。皆様にいただいた意見は、次年度以降の実習運営にいかしていきたいと考えています。実習カンファレンスについては、集団の場で伝えることと学生個々に伝えること、内容にあわせた対応を心がけていきます。 なお、実習指導者の方々へのご意見・感想については、病院の実習指導担当者の方々にフィードバックさせていただきました。
1S0500	発達看護学Ⅱ実習〔レベルⅢ〕	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。 アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。 皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い実習にしていきます。
1S0600	発達看護学Ⅲ実習〔レベルⅢ〕	坂口千鶴	2023年度発達看護学Ⅲ実習（レベルⅢ）の改善アンケートに回答頂き、ありがとうございます。多くの貴重なコメントを頂き、感謝申し上げます 皆様から頂いたコメントの内容を、老年看護学の教員間で共有、検討し、2024年度実習の改善に活かしていきたいと思っております。 何か気づいたり、困ったりしたこと等がございましたら、いつでもお知らせください。どうぞよろしく願い致します。
1S0801	地域・在宅看護学実習レベルⅣ-1	鷹野朋実	アンケートによるフィードバックをありがとうございました。充実した実習となっていたようでうれしく思っております。 最終カンファレンスについては、学生同士の体験共有やディスカッションを主目的としているので、教員が介入しすぎないように留意するようにします。貴重な意見、ありがとうございました。
1S0803	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕-1（小児）	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。 アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。 皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い実習にしていきます。
1S0804	地域・在宅看護学実習（レベルⅣ）-1（老年）	坂口千鶴	2023年度の実習改善アンケートにご回答頂き、ありがとうございます。皆様から頂いたコメントの内容は、老年看護学の教員間で共有、検討させて頂き、2024年度の実習改善に反映させていきたいと思っています。
1S1001	看護学総合実習（基礎・成人）	佐々木幾美・本庄恵子・三浦英恵・安部陽子・川原由佳里他	業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。 実習要項の記載がわかりにくかったという意見がありました。記載の内容を見直すとともに、ガイダンス等で追加説明するようになっていきます。 半日実習への疑問が出されておりました。次年度は1日実習を展開するように変更したいと思っております。 その他、指導状況についての課題も教員間で共有して対応していきたいと考えております。

1S1002	看護学総合実習（精神保健）	鷹野朋実	アンケートの協力、ありがとうございました。 学生の主体的学習を重視した実習展開となっているため、教員と接する時間が短くなっています。このことが教員の助言の物足りなさにつながっているのではないかと推察しました。総合実習期間中の学内カンファレンスの機会を増やし、教員の助言を受けることができるように次年度以降、配慮していきます。
1S1004	看護学総合実習（小児）	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。 アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。 コメントいただいた実習施設による実習時間や記録量の違いについては、学修効果が最大になるよう調整しつつ、事前に十分なアナウンスを行うなど、学生が不公平に感じないような配慮を検討します。 皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い実習にしていきます。
1S1005	看護学総合実習（老年）	坂口千鶴	2023年度総合実習（老年）の実習改善アンケートに回答して頂き、ありがとうございました。皆様から頂いた評価、コメントは老年看護学の教員間で共有、検討して、2024年度総合実習に反映させていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。
1S1007	総合実習（国際看護）	織方 愛	全員の学生がアンケートに回答してくださりありがとうございます。 実りのある実習であったこと、質問しやすい雰囲気とディスカッションしやすい環境だったとのこと、それは皆さん方の積極的な参加の賜物です。 2021年から4年目となった国際看護の実習でしたが、皆さんの満足度も高く、レポートからも良い学びとなったことが伝わってきます。 より良いプログラムになるよう、実習施設の方々と相談しながら続けていきます。
1S1010	看護学総合実習（基礎・成人）[緩和ケア]	遠山義人	授業改善アンケートへご回答いただきありがとうございました。 皆さんが一所懸命実習に取り組んでいただけたということが実習中の雰囲気、そしてアンケート結果より伝わり、担当教員一同とても嬉しく感じております。一部の病院実習では指導者さんが急遽不在となり指導体制が不十分な状況の中実習に臨んでいただいた状況もあり、少し不安に感じられたかと思っております。教員・臨床現場の皆さんと連携を図りながら皆さんが学びやすい環境を整えていけるようにしてまいります。 座学で取り組んでいた“緩和ケア”の実際に触れるこの実習では、感情が揺さぶられることや、悩まれる時間も多かったと思います。その中でもグループメンバーそして教員や指導者と感情・思考を共有し、よりよい看護を常に考えることができた時間となったのではないかと思います。これからも一緒により良い看護を考えていけると嬉しいです。 この度はご感想をありがとうございました。
1S1011	看護学総合実習（救急（災害））	橋爪朋子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。 自由記載では、とても深い学びを得ることができたと感じの気持ちを記載していただきました。改善点としてのコメントはありませんでしたが、皆さんにとって学びやすい環境を整え、もっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をしております。 貴重な意見をありがとうございました。次年度に活かしてまいります。